

塩竈市国民健康保険  
第2期データヘルス計画  
第3期特定健康診査等実施計画

平成30年4月  
塩竈市

<b>第1章 計画策定について</b>		
1. 背景		5
2. 基本方針		6
3. 計画の位置づけ		7
4. 計画期間		7
<b>第2章 現状と課題把握</b>		
1. 保険者の特性把握		8
(1) 基本情報		8
(2) 医療費等の状況		11
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況		13
① 特定健康診査		13
② 特定保健指導		15
(4) 介護保険の状況		17
(5) 主たる死因の状況		23
2. 医療情報分析結果		26
(1) 基礎統計		26
(2) 高額レセプトの件数及び医療費		28
① 高額レセプトの件数及び割合		28
② 高額レセプト発生患者の疾病傾向		30
(3) 疾病別医療費		32
① 大分類による疾病別医療費統計		32
② 中分類による疾病別医療費統計		36
3. 保健事業実施に係る分析結果		46
(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析		46
(2) 特定健康診査に係る分析		47
(3) 特定保健指導に係る分析		49
(4) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析		51
(5) 受診行動適正化に係る分析		55
(6) ジェネリック医薬品普及率に係る分析		58
(7) 薬剤併用禁忌に係る分析		61
4. 分析結果に基づく健康課題の把握		63
(1) 分析結果		63
(2) 分析結果に基づく課題とその対策		67
<b>第3章 保健事業実施計画</b>		
<b>第1節 第2期データヘルス計画</b>		
1. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)		69
(1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況		69
(2) 第1期データヘルス計画の各事業実施内容		71
① 特定健康診査等未受診者対策事業		71
② 特定保健指導事業		72
③ がん検診事業(国保助成事業)		73

④人間ドック・脳ドック助成事業	75
⑤糖尿病性腎症重症化予防事業	76
⑥受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)	78
⑦薬剤併用禁忌防止事業	79
⑧ジェネリック医薬品差額通知事業	80
2. 第2期データヘルス計画の各事業目的と概要一覧	81
3. 全体スケジュール	83
4. 各事業の実施内容と評価方法	84
(1) 特定健康診査事業	84
(2) 特定保健指導事業	86
(3) 特定健康診査未受診者対策事業	88
(4) がん検診事業(国保助成事業)	90
(5) 人間ドック・脳ドック費用助成事業	93
(6) 糖尿病性腎症重症化予防事業	95
(7) 受診行動適正化指導・薬剤併用禁忌防止事業	97
(8) ジェネリック医薬品差額通知事業	99
<b>第2節 第3期特定健康診査等実施計画</b>	
1. 過去の取り組みの考察(第2期特定健康診査等実施計画の振り返り)	103
(1) 第2期特定健康診査等実施計画の達成状況	103
2. 目標	105
(1) 基本的指針における目標値(国)	105
(2) 本市の目標値	105
3. 対象者	106
(1) 特定健康診査の対象者	106
(2) 特定保健指導の対象者	106
(3) 特定健康診査・特定保健指導の対象者数及び実施予定者数	106
4. 実施方法	107
(1) 特定健康診査	107
①実施項目	107
②実施場所	109
③実施の基準とする期間	109
④委託基準	109
⑤被保険者負担額(自己負担額)	109
⑥周知や案内方法	109
(2) 特定保健指導	110
①対象者の選定と階層化	110
②特定保健指導の実施内容	111
③実施場所	111
④実施の基準とする期間	111
⑤委託基準	111
⑥被保険者負担額(自己負担額)	111

	⑦周知や案内方法	111
	(3) 特定健康診査・特定保健指導の年間スケジュール	112
<b>第4章 その他</b>		
	1. 計画の見直し	113
	(1) 評価	113
	(2) 評価時期	113
	2. 計画の公表・周知	113
	3. 関係機関との連携	114
	4. 個人情報の保護	114
<b>地区分析</b>		
	1. 大分類による疾病別医療費地区別統計	
	2. 中分類による疾病別医療費地区別統計	
<b>年度別 特定健康診査結果分析</b>		
	1. 有所見者割合	
	2. 質問別回答状況	
<b>特定健康診査未受診者理由分析</b>		
	1. 回答状況	
	2. 質問別回答状況	
<b>巻末資料</b>		
	1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	
	2. 用語解説集	
	3. 疾病分類表(2013年版)	



# 第1章 計画策定について

## 1. 背景

我が国では、国民皆保険制度を背景に全ての国民に一定水準の医療が確保されている。しかし近年、高齢化の急速な進展や生活様式の変化などに伴い、五大疾病とされる、がん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病、精神疾患等の生活習慣病が増加するとともに医療費が増大し、医療保険制度を圧迫している。また、薬剤費の増加も医療費をより増大させている。

そこで、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)に基づき、平成20年度から医療保険者に対し、生活習慣病発症の前段階であるメタボリックシンドロームに着目した「特定健康診査」及び「特定保健指導」の実施が義務付けられている。

また、「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取り組みを求めるとともに、市区町村国保が同様の取り組みを行うことを推進する。」とされた。そこで、保険者は健康・医療情報(特定健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康課題の把握、目標値の設定を行い、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施及び評価を行うことが必要となった。

さらに、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取り組みを強化する。」としている。

こうした背景を踏まえ、第1期データヘルス計画、第2期特定健康診査等実施計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画・第3期特定健康診査等実施計画を策定する。この計画に基づき、いつまでも健やかに暮らしていける地域づくりに貢献し、被保険者の健康づくりを支援するとともに、医療費の適正化を目指す。

## 2. 基本方針

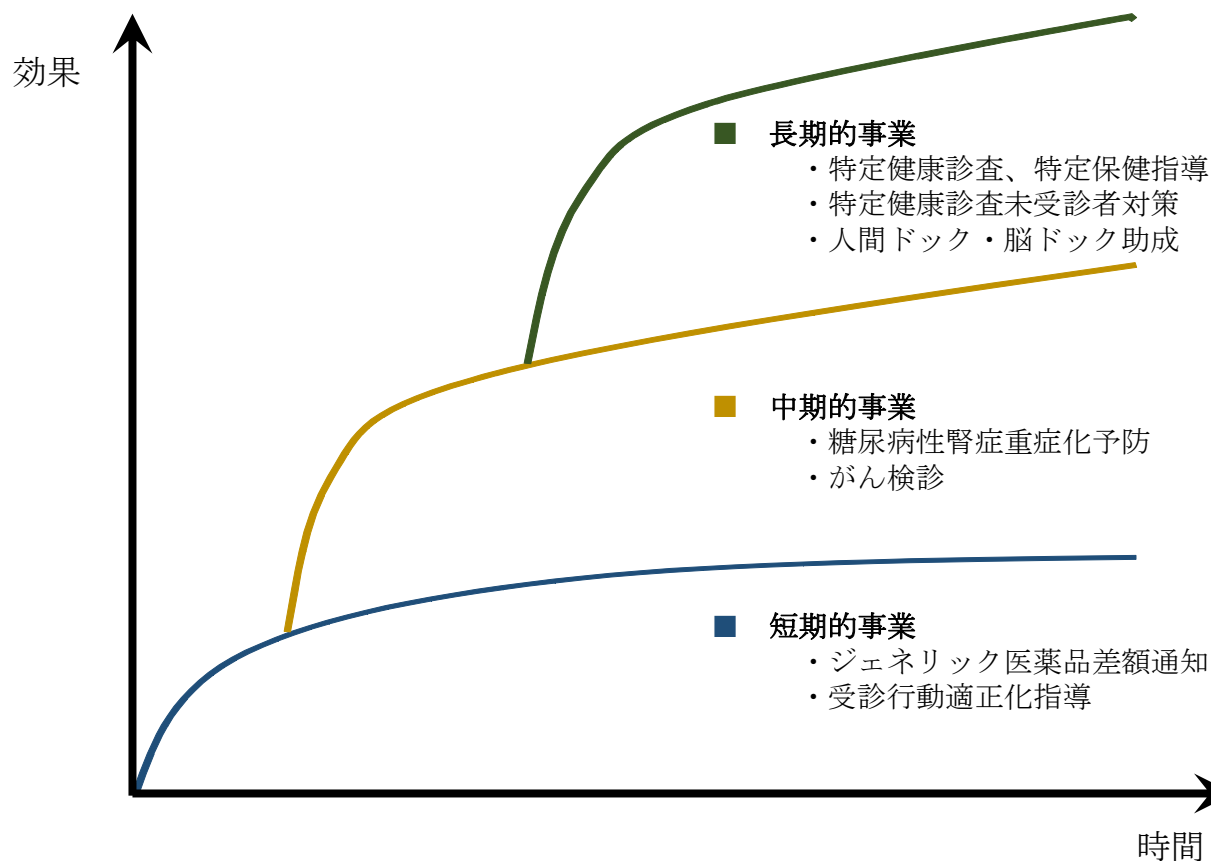
本計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針で本計画を策定する。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
3. 本計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業がある。

下図は代表的な保健事業の組み合わせである。これら事業を塩竈市国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施する。



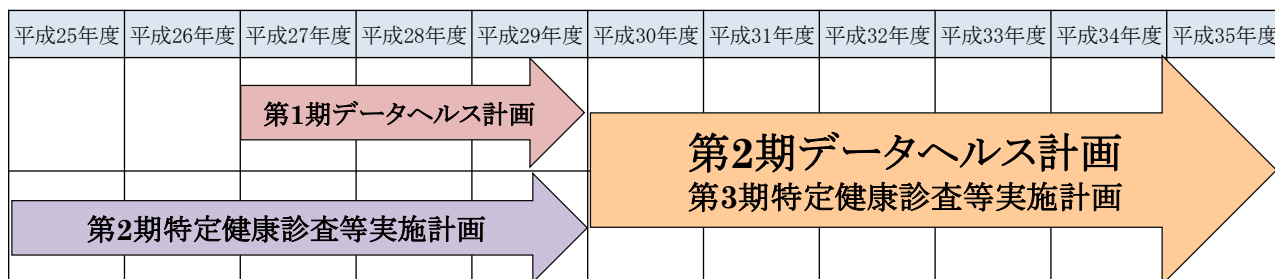
### 3. 計画の位置づけ

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「宮城県地域医療計画(第7次)」、「みやぎ21健康プラン(第2次)」及び「健康しおがま21プラン(第2期)」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る。

### 4. 計画期間

データヘルス計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第4の5において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされている。また、特定健康診査等実施計画の計画期間は、「高齢者の医療の確保に関する法」第19条1号において、計画期間を6年1期として策定することが定められている。よって計画期間は、平成30年度から平成35年度までの6年間とし、相互に関係性の深い両計画を一体的に策定する。

#### ■ 計画期間



#### ■ データ分析期間

- ・ 国保データベース(KDB)システムデータ  
平成25年度～平成28年度(4年分)
- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
  - 単年分析  
平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)
  - 年度分析  
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分(12か月分)  
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分(12か月分)  
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)
- ・ 健康診査データ
  - 単年分析  
平成28年4月～平成29年3月健診分(12か月分)
  - 年度分析  
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分(12か月分)  
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分(12か月分)  
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12か月分)



## 第2章 現状と課題把握

### 1. 保険者の特性把握

#### (1) 基本情報

平成27年における、人口構成概要を以下に示す。本市の高齢化率(65歳以上)は31.3%であり、県との比較で約1.2倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は14,091人で、市の人口に占める国民健康保険加入率は26.0%であり、県との比較で約1.1倍となっている。

#### 人口構成概要(平成27年)

	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	出生率	死亡率
<b>塩竈市</b>	<b>54,187</b>	<b>31.3%</b>	<b>14,091</b>	<b>26.0%</b>	<b>4.8%</b>	<b>11.6%</b>
県	2,333,899	25.7%	557,813	23.9%	6.7%	8.0%
国	127,094,745	26.6%	35,499,943	27.9%	6.9%	8.5%

※「県」は宮城県を指す。以下すべての表において同様である。

出典:「人口、高齢化率、出生率、死亡率」平成27年国勢調査(総務省統計局HPより)

「国保被保険者数、加入率」国民健康保険事業月報(平成27年9月)

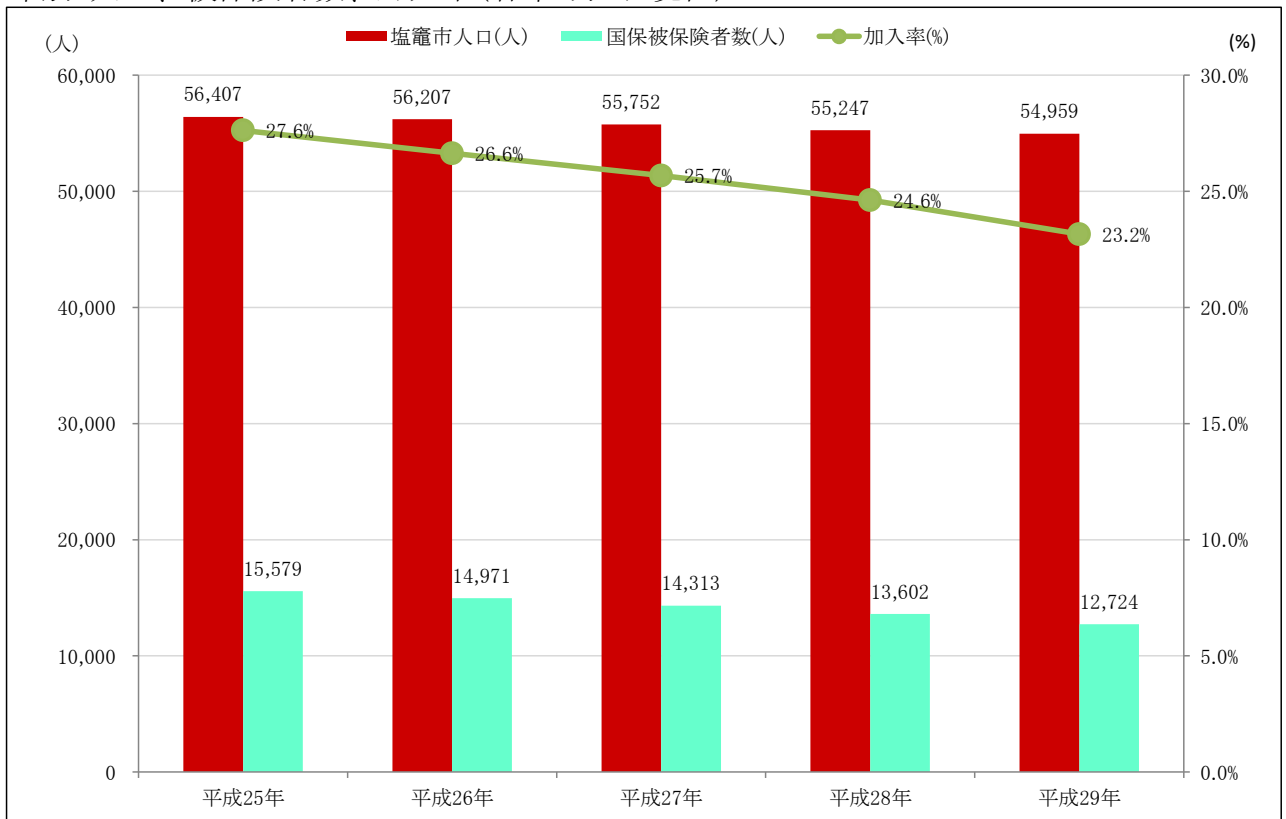
本市の平成25年4月1日から平成29年4月1日における、人口、国民健康保険被保険者数を示す。平成29年を平成25年と比較すると、国民健康保険被保険者数12,724人は平成25年15,579人より2,855人減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢53.7歳は平成25年51.0歳より2.7歳上昇している。

年別 人口、被保険者数、被保険者平均年齢(各年4月1日現在)

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
塩竈市人口(人)	56,407	56,207	55,752	55,247	54,959
国保被保険者数(人)	15,579	14,971	14,313	13,602	12,724
加入率(%)	27.6%	26.6%	25.7%	24.6%	23.2%
国保被保険者平均年齢(歳)	51.0	51.6	52.1	52.9	53.7

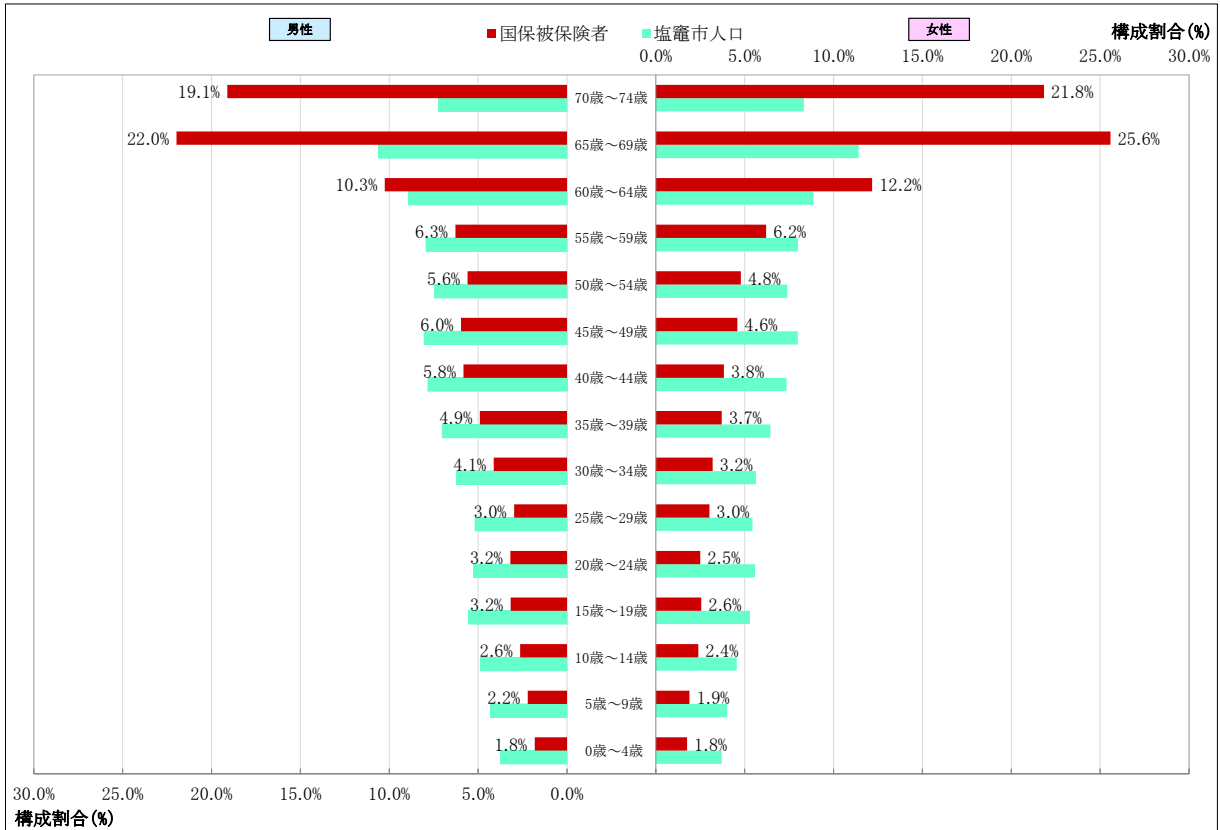
出典:塩竈市住民基本台帳  
国民健康保険事業月報

年別 人口、被保険者数、加入率(各年4月1日現在)



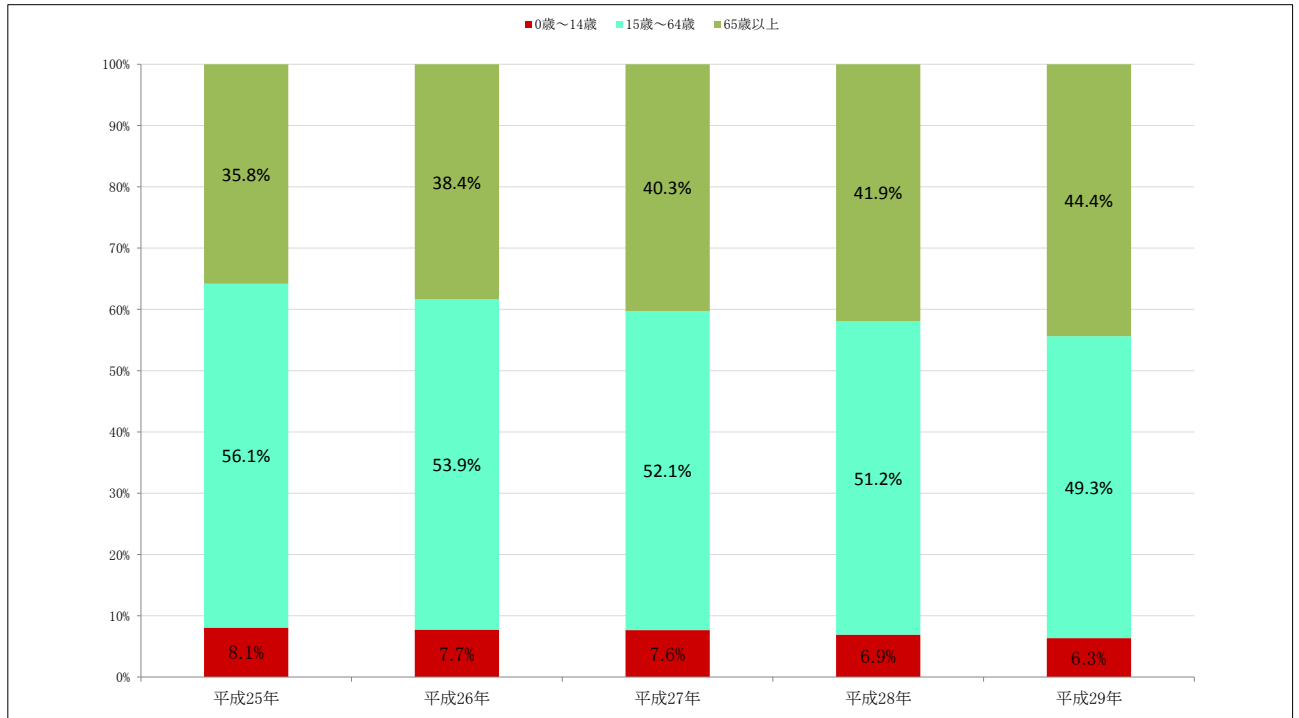
出典:塩竈市住民基本台帳  
国民健康保険事業月報

# 男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成29年4月1日)



出典: 塩竈市住民基本台帳  
国民健康保険事業月報

## 年別 被保険者人口割合(各年4月1日現在)



出典: 国民健康保険事業月報

## (2) 医療費等の状況

本市の平成28年度における、医療基礎情報を以下に示す。

### 医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	塩竈市	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.3	0.3	0.3	0.3
診療所数	3.2	3.0	2.8	3.0
病床数	69.0	45.9	50.3	46.8
医師数	11.1	9.8	7.5	9.2
外来患者数	766.3	807.0	688.2	668.1
入院患者数	22.5	18.7	19.8	18.2
受診率	788.7	726.6	708.0	686.3
一件当たり医療費(円)	37,930	34,760	36,130	35,330
一般(円)	36,930	34,720	36,080	35,270
退職(円)	72,080	36,590	37,660	37,860
後期(円)	0	0	0	0
外来				
外来費用の割合	60.4%	61.6%	59.3%	60.1%
外来受診率	766.3	708.0	688.2	668.1
一件当たり医療費(円)	23,600	21,980	22,060	21,820
一人当たり医療費(円)	18,080	15,560	15,180	14,580
一日当たり医療費(円)	15,880	14,770	14,130	13,910
一件当たり受診回数	1.5	1.5	1.6	1.6
入院				
入院費用の割合	39.6%	38.4%	40.7%	39.9%
入院率	22.5	18.7	19.8	18.2
一件当たり医療費(円)	527,020	519,770	524,900	531,780
一人当たり医療費(円)	11,830	9,700	10,400	9,670
一日当たり医療費(円)	33,180	33,810	32,470	34,030
一件当たり在院日数	15.9	15.4	16.2	15.6
歯科				
受診率	149.6	146.9	145.5	145.3
一件当たり医療費(円)	12,010	12,210	12,900	12,980
一人当たり医療費(円)	1,800	1,790	1,880	1,890
一日当たり医療費(円)	6,850	6,680	6,780	6,850
一件当たり受診回数	1.8	1.8	1.9	1.9

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

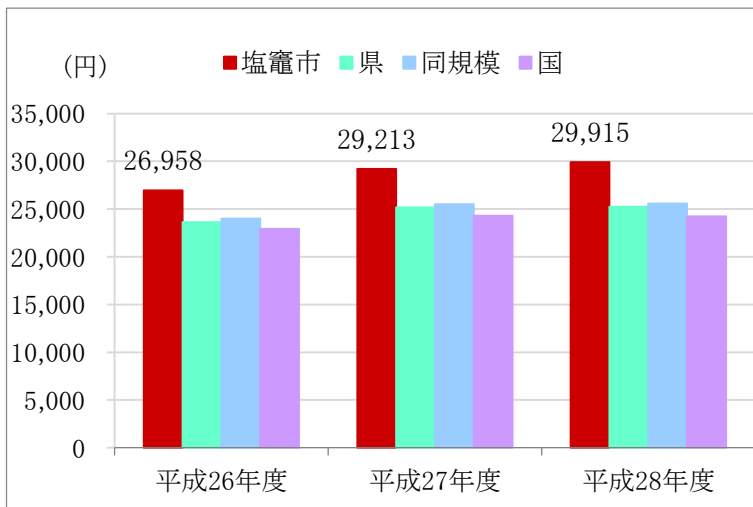
本市の平成26年度から平成28年度における、医科と歯科の一人当たり医療費の医療費推移を以下に示す。

### 【医科】

年度別 一人当たり医療費(月平均)

	一人当たり医療費(円)		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<b>塩竈市</b>	<b>26,958</b>	<b>29,213</b>	<b>29,915</b>
県	23,636	25,182	25,258
同規模	24,002	25,523	25,581
国	22,922	24,295	24,245

年度別 一人当たり医療費(月平均)



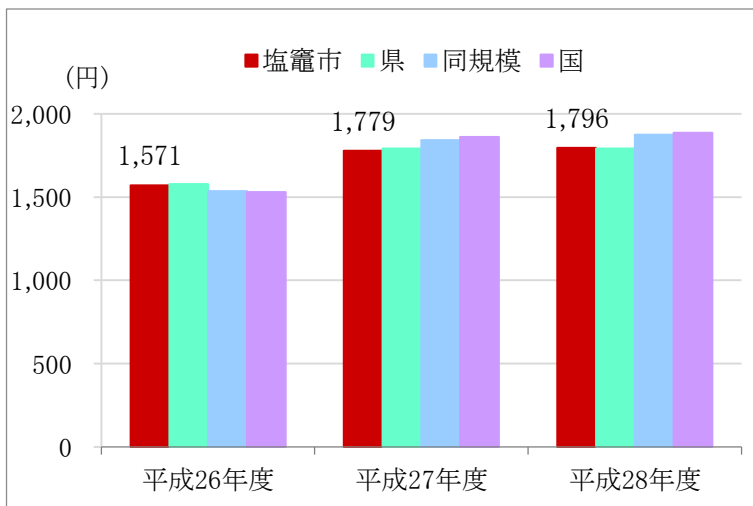
出典: 国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

### 【歯科】

年度別 一人当たり医療費(月平均)

	一人当たり医療費(円)		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<b>塩竈市</b>	<b>1,571</b>	<b>1,779</b>	<b>1,796</b>
県	1,578	1,793	1,793
同規模	1,537	1,843	1,876
国	1,531	1,862	1,886

年度別 一人当たり医療費(月平均)



出典: 国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

### (3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

#### ① 特定健康診査

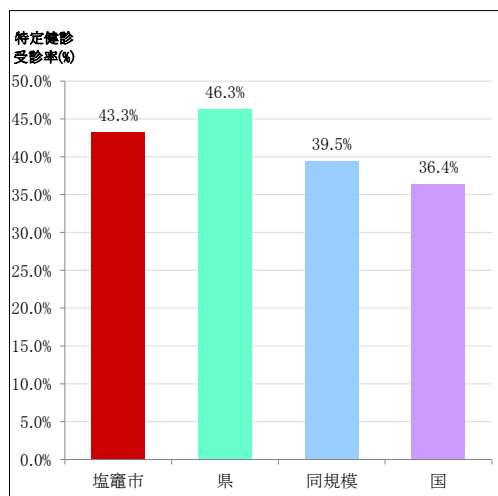
本市の平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。

#### 特定健康診査受診率(平成28年度)

	特定健診受診率
<b>塩竈市</b>	<b>43.3%</b>
県	46.3%
同規模	39.5%
国	36.4%

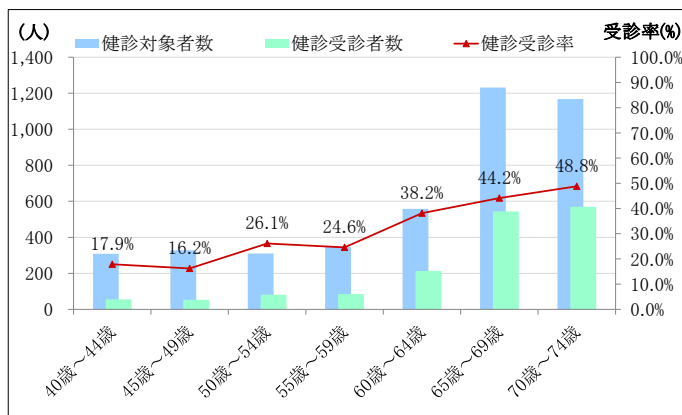
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

#### 特定健康診査受診率(平成28年度)

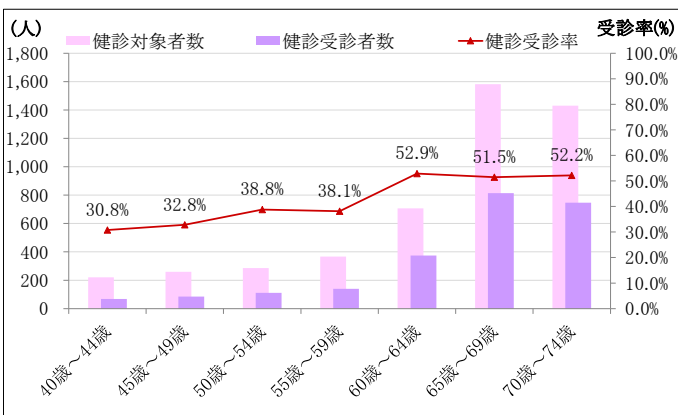


出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

#### (男性)年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



#### (女性)年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

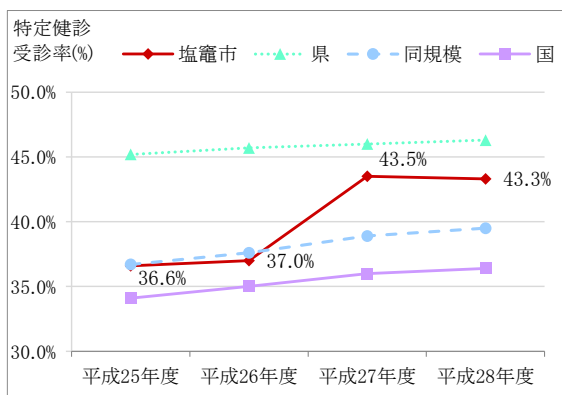
本市の平成25年度から平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。平成28年度の特定健康診査受診率43.3%は平成25年度36.6%より6.7ポイント上昇している。

### 年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<b>塩竈市</b>	<b>36.6%</b>	<b>37.0%</b>	<b>43.5%</b>	<b>43.3%</b>
県	45.2%	45.7%	46.0%	46.3%
同規模	36.7%	37.6%	38.9%	39.5%
国	34.1%	35.0%	36.0%	36.4%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

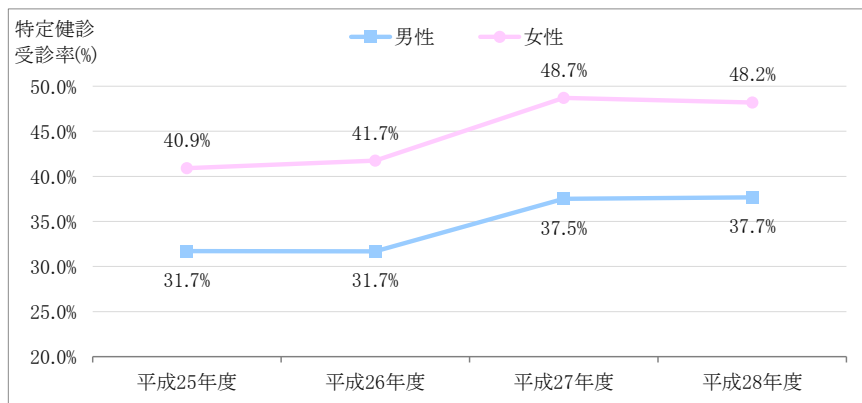
### 年度別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成28年度受診率37.7%は平成25年度31.7%より6.0ポイント上昇し、女性の平成28年度受診率48.2%は平成25年度40.9%より7.3ポイント上昇している。

### 年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

## ②特定保健指導

本市の平成28年度における、特定保健指導の実施状況を以下に示す。

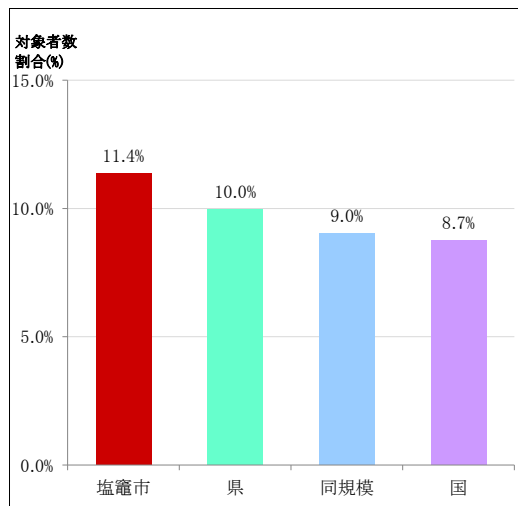
### 特定保健指導実施状況(平成28年度)

	動機付け支援 対象者数割合	積極的支援 対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導 実施率
<b>塩竈市</b>	<b>11.4%</b>	<b>3.9%</b>	<b>15.2%</b>	<b>10.0%</b>
県	10.0%	4.0%	14.0%	17.9%
同規模	9.0%	2.9%	11.9%	30.2%
国	8.7%	3.2%	12.0%	21.0%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

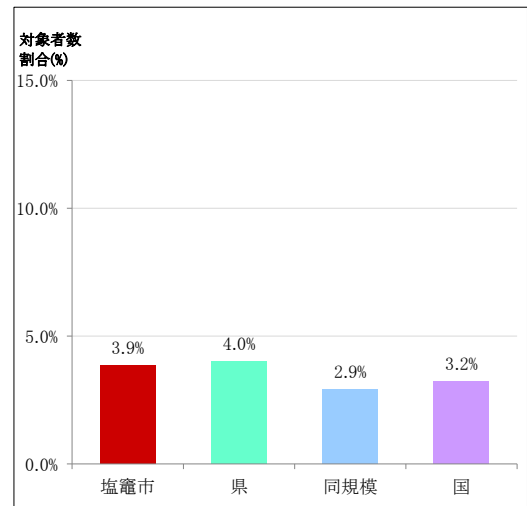
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 動機付け支援対象者数割合(平成28年度)



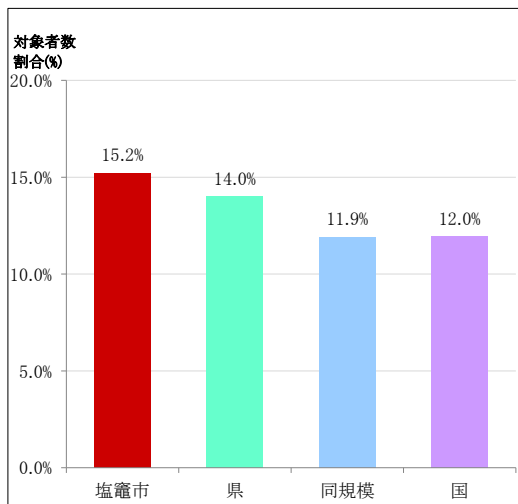
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 積極的支援対象者数割合(平成28年度)



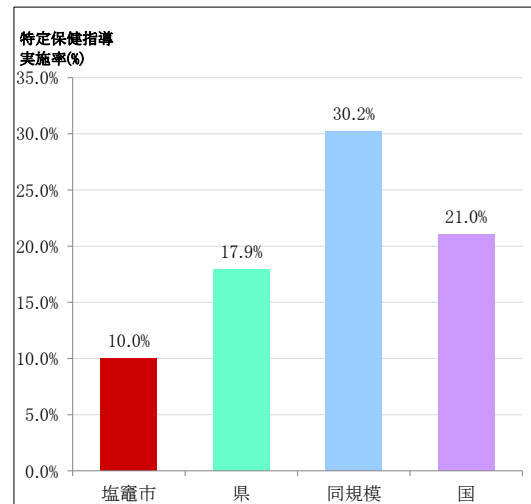
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 支援対象者数割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 特定保健指導実施率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」



本市の平成25年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。  
平成28年度の特定保健指導実施率10.0%は平成25年度12.4%より2.4ポイント低下している。

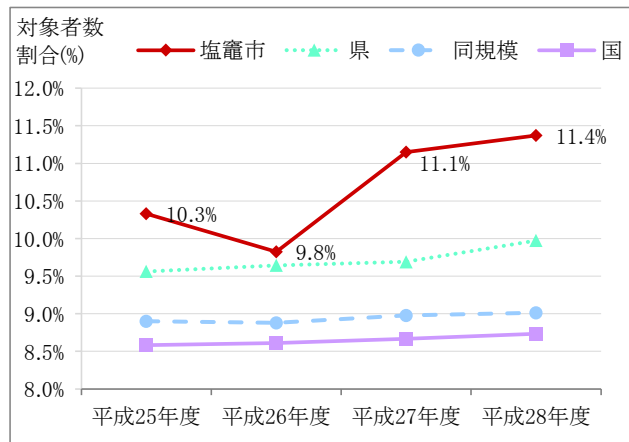
### 年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援対象者数割合				積極的支援対象者数割合				支援対象者数割合				特定保健指導実施率			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
塩竈市	10.3%	9.8%	11.1%	11.4%	3.8%	3.9%	4.0%	3.9%	14.1%	13.7%	15.1%	15.2%	12.4%	11.8%	9.6%	10.0%
県	9.6%	9.6%	9.7%	10.0%	4.6%	4.3%	4.1%	4.0%	14.2%	13.9%	13.8%	14.0%	16.3%	16.5%	16.9%	17.9%
同規模	8.9%	8.9%	9.0%	9.0%	3.4%	3.2%	3.0%	2.9%	12.3%	12.1%	12.0%	11.9%	27.0%	26.7%	28.3%	30.2%
国	8.6%	8.6%	8.7%	8.7%	3.5%	3.4%	3.3%	3.2%	12.1%	12.0%	12.0%	12.0%	21.2%	19.9%	20.2%	21.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

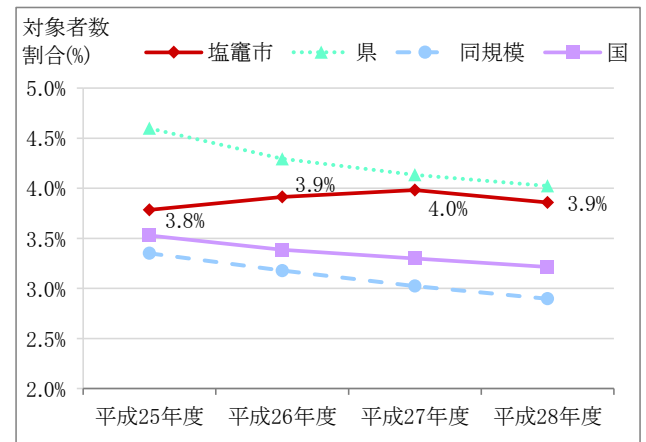
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 動機付け支援対象者数割合



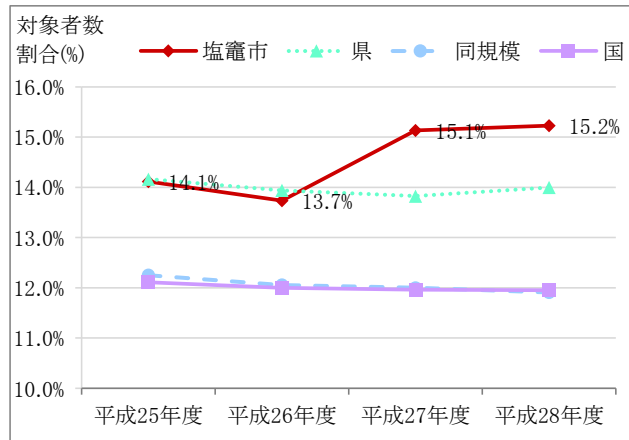
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 積極的支援対象者数割合



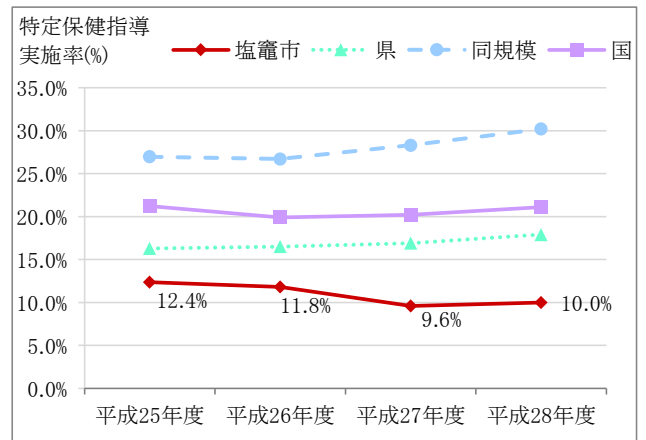
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 支援対象者数割合



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 特定保健指導実施率



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

#### (4) 介護保険の状況

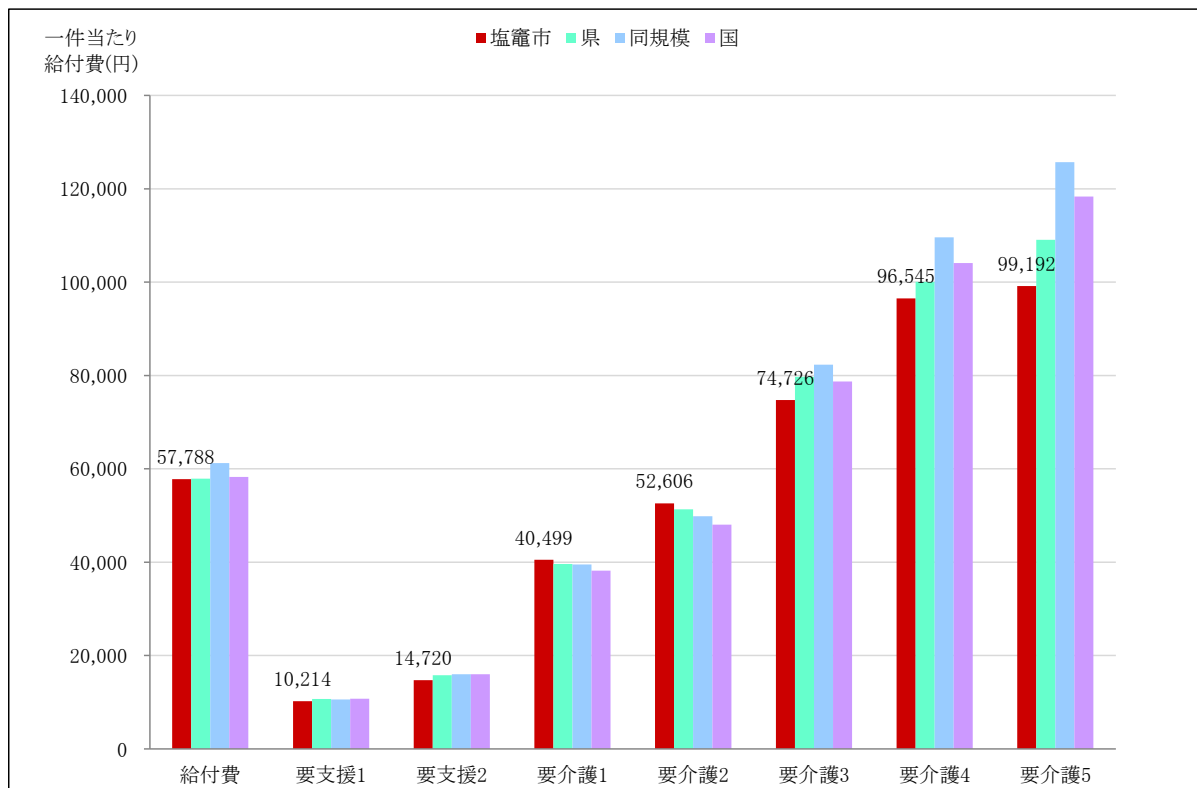
本市の平成28年度における、認定率及び介護保険給付費等の状況を以下に示す。

##### 認定率及び給付費等の状況(平成28年度)

区分	塩竈市	県	同規模	国
第1号(65歳以上)認定率	19.0%	21.1%	20.2%	21.2%
認定者数(人)	2,925	109,979	891,869	5,885,270
第2号(40~64歳)認定率	0.5%	0.4%	0.4%	0.4%
認定者数(人)	87	3,162	21,986	151,813
一件当たり給付費(円)				
給付費	57,788	57,881	61,245	58,284
要支援1	10,214	10,671	10,581	10,735
要支援2	14,720	15,784	15,951	15,996
要介護1	40,499	39,587	39,503	38,163
要介護2	52,606	51,297	49,853	48,013
要介護3	74,726	79,740	82,314	78,693
要介護4	96,545	100,093	109,614	104,104
要介護5	99,192	109,058	125,728	118,361

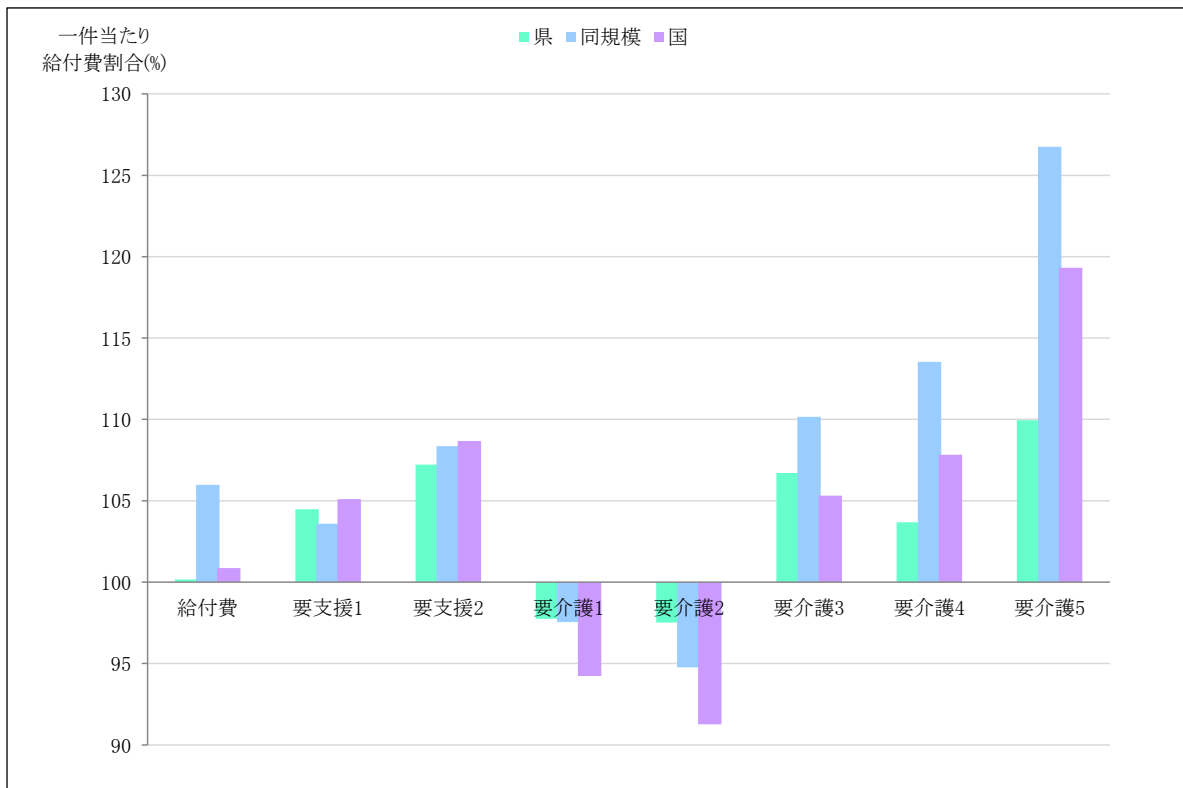
出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

##### 一件当たり要介護度別給付費(平成28年度)



出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

# 塩竈市を100とした一件当たり要介護度別給付費割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

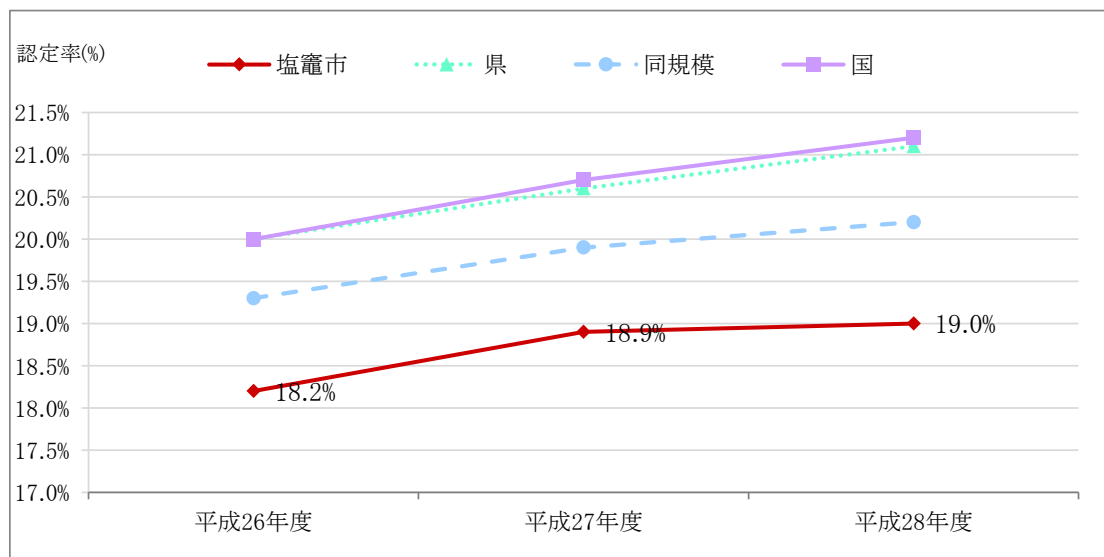
平成26年度から平成28年度における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成28年度第1号認定率19.0%は平成26年度18.2%より0.8ポイント上昇しており、平成28年度の第1号認定者数2,925人は平成26年度2,862人より63人増加している。

### 年度別 認定率及び認定者数

区分		第1号 (65歳以上)		第2号 (40歳～64歳)	
		認定率	認定者数(人)	認定率	認定者数(人)
塩竈市	平成26年度	18.2%	2,862	0.5%	89
	平成27年度	18.9%	2,963	0.5%	105
	平成28年度	19.0%	2,925	0.5%	87
県	平成26年度	20.0%	105,716	0.4%	3,395
	平成27年度	20.6%	108,016	0.4%	3,328
	平成28年度	21.1%	109,979	0.4%	3,162
同規模	平成26年度	19.3%	860,333	0.4%	23,356
	平成27年度	19.9%	885,519	0.4%	22,872
	平成28年度	20.2%	891,869	0.4%	21,986
国	平成26年度	20.0%	5,178,997	0.4%	145,883
	平成27年度	20.7%	5,602,383	0.4%	149,599
	平成28年度	21.2%	5,885,270	0.4%	151,813

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 第1号認定率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成28年度における、認定者の疾病別有病率を以下に示す。疾病別の有病者の実人数を合計すると8,901人となり、認定者は平均3疾病を有していることがわかる。

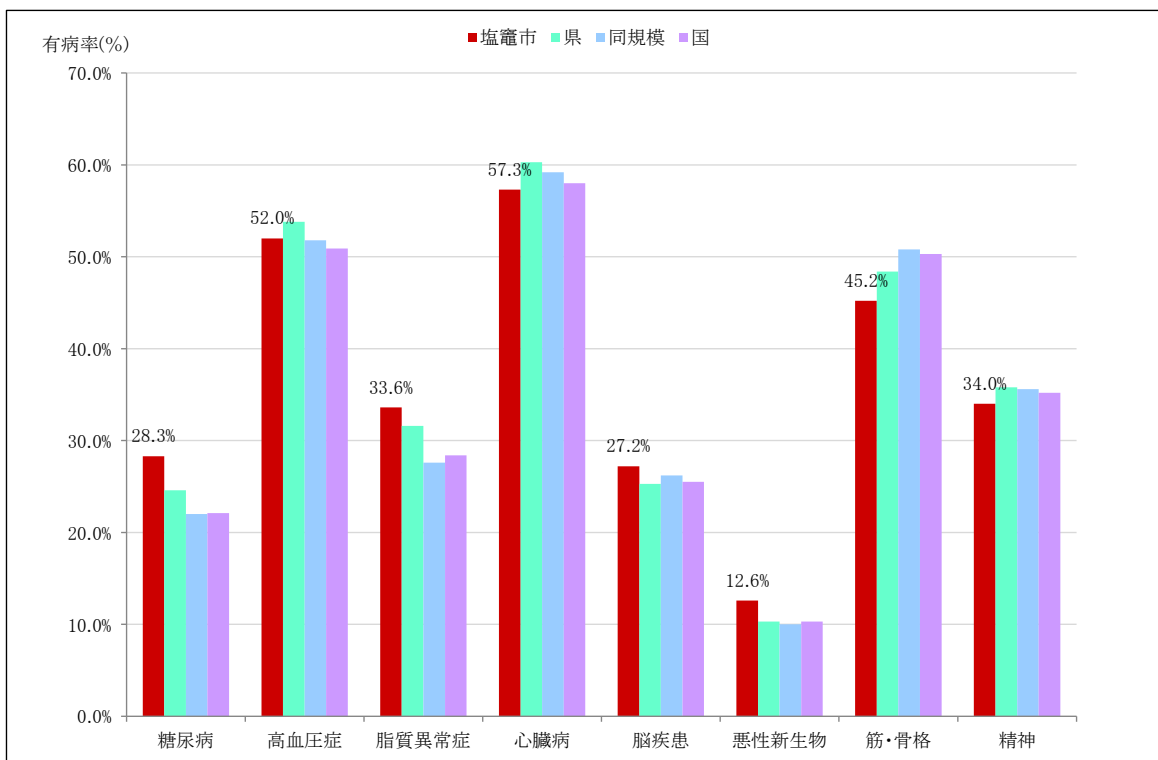
### 認定者の疾病別有病状況(平成28年度)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	塩竈市	順位	県	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)	3,012		113,141		913,855		6,037,083	
糖尿病	実人数(人)	860	28,451	7	203,882	7	1,350,152	7
	有病率	28.3%	24.6%		22.0%		22.1%	
高血圧症	実人数(人)	1,583	61,747	2	479,210	2	3,101,200	2
	有病率	52.0%	53.8%		51.8%		50.9%	
脂質異常症	実人数(人)	1,033	36,363	5	256,268	5	1,741,866	5
	有病率	33.6%	31.6%		27.6%		28.4%	
心臓病	実人数(人)	1,769	69,207	1	546,239	1	3,529,682	1
	有病率	57.3%	60.3%		59.2%		58.0%	
脳疾患	実人数(人)	838	28,738	6	239,587	6	1,538,683	6
	有病率	27.2%	25.3%		26.2%		25.5%	
悪性新生物	実人数(人)	391	12,014	8	93,015	8	631,950	8
	有病率	12.6%	10.3%		10.0%		10.3%	
筋・骨格	実人数(人)	1,376	55,634	3	469,492	3	3,067,196	3
	有病率	45.2%	48.4%		50.8%		50.3%	
精神	実人数(人)	1,051	41,284	4	331,335	4	2,154,214	4
	有病率	34.0%	35.8%		35.6%		35.2%	

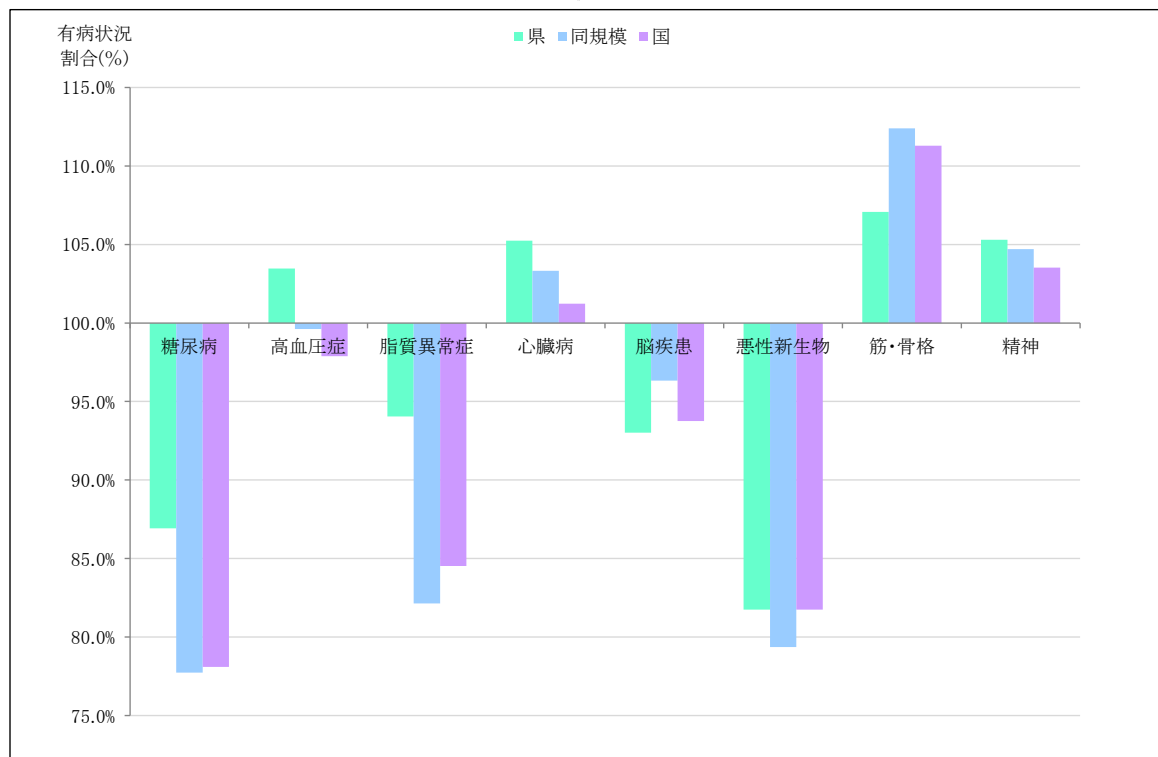
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 認定者の疾病別有病率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

# 塩竈市を100とした認定者の疾病別有病状況割合(平成28年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

本市の平成26年度から平成28年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。平成28年度の認定者が有している平均3疾病は、平成26年度からほぼ横ばいである。

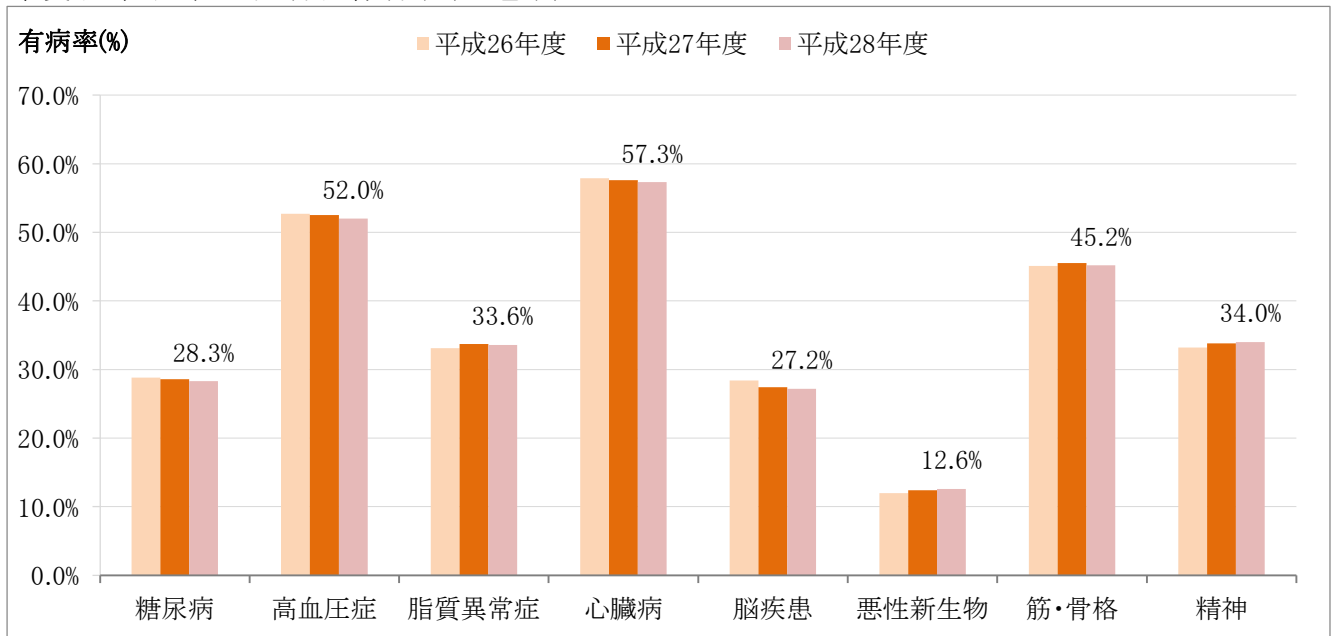
### 年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	塩竈市						県			同規模			国			
	平成26年度	順位	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
認定者数(人)	2,951		3,068		3,012		109,111	111,244	113,141	883,689	908,391	913,855	5,324,880	5,751,982	6,037,083	
糖尿病	実人数(人)	859	6	898	6	860	6	27,123	27,921	28,451	180,064	198,628	203,882	1,089,285	1,241,024	1,350,152
	有病率(%)	28.8%		28.6%		28.3%		24.5%	24.6%	24.6%	19.7%	21.5%	22.0%	20.3%	21.4%	22.1%
高血圧症	実人数(人)	1,577	2	1,617	2	1,583	2	58,891	60,483	61,747	429,786	468,849	479,210	2,551,660	2,865,466	3,101,200
	有病率(%)	52.7%		52.5%		52.0%		53.4%	53.7%	53.8%	47.3%	50.9%	51.8%	47.9%	49.7%	50.9%
脂質異常症	実人数(人)	1,007	5	1,058	4	1,033	5	33,988	35,620	36,363	224,805	249,089	256,268	1,386,541	1,586,963	1,741,866
	有病率(%)	33.1%		33.7%		33.6%		30.4%	31.2%	31.6%	24.5%	26.8%	27.6%	25.7%	27.3%	28.4%
心臓病	実人数(人)	1,724	1	1,771	1	1,769	1	66,100	67,734	69,207	491,660	534,422	546,239	2,914,608	3,261,576	3,529,682
	有病率(%)	57.9%		57.6%		57.3%		60.0%	60.2%	60.3%	54.3%	58.2%	59.2%	54.8%	56.7%	58.0%
脳疾患	実人数(人)	834	7	832	7	838	7	28,824	29,007	28,738	223,901	239,223	239,587	1,324,669	1,455,985	1,538,683
	有病率(%)	28.4%		27.4%		27.2%		26.5%	25.9%	25.3%	25.0%	26.2%	26.2%	25.2%	25.4%	25.5%
悪性新生物	実人数(人)	365	8	394	8	391	8	11,139	11,585	12,014	80,701	89,488	93,015	493,808	569,967	631,950
	有病率(%)	12.0%		12.4%		12.6%		9.9%	10.2%	10.3%	8.8%	9.7%	10.0%	9.2%	9.8%	10.3%
筋・骨格	実人数(人)	1,354	3	1,398	3	1,376	3	52,625	54,298	55,634	420,178	457,630	469,492	2,505,146	2,813,795	3,067,196
	有病率(%)	45.1%		45.5%		45.2%		47.5%	48.2%	48.4%	46.3%	49.8%	50.8%	47.1%	48.9%	50.3%
精神	実人数(人)	1,011	4	1,046	5	1,051	4	38,810	40,183	41,284	288,192	318,349	331,335	1,720,172	1,963,213	2,154,214
	有病率(%)	33.2%		33.8%		34.0%		35.0%	35.5%	35.8%	31.6%	34.4%	35.6%	32.2%	33.8%	35.2%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 認定者の疾病別有病率(塩竈市)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## (5) 主たる死因の状況

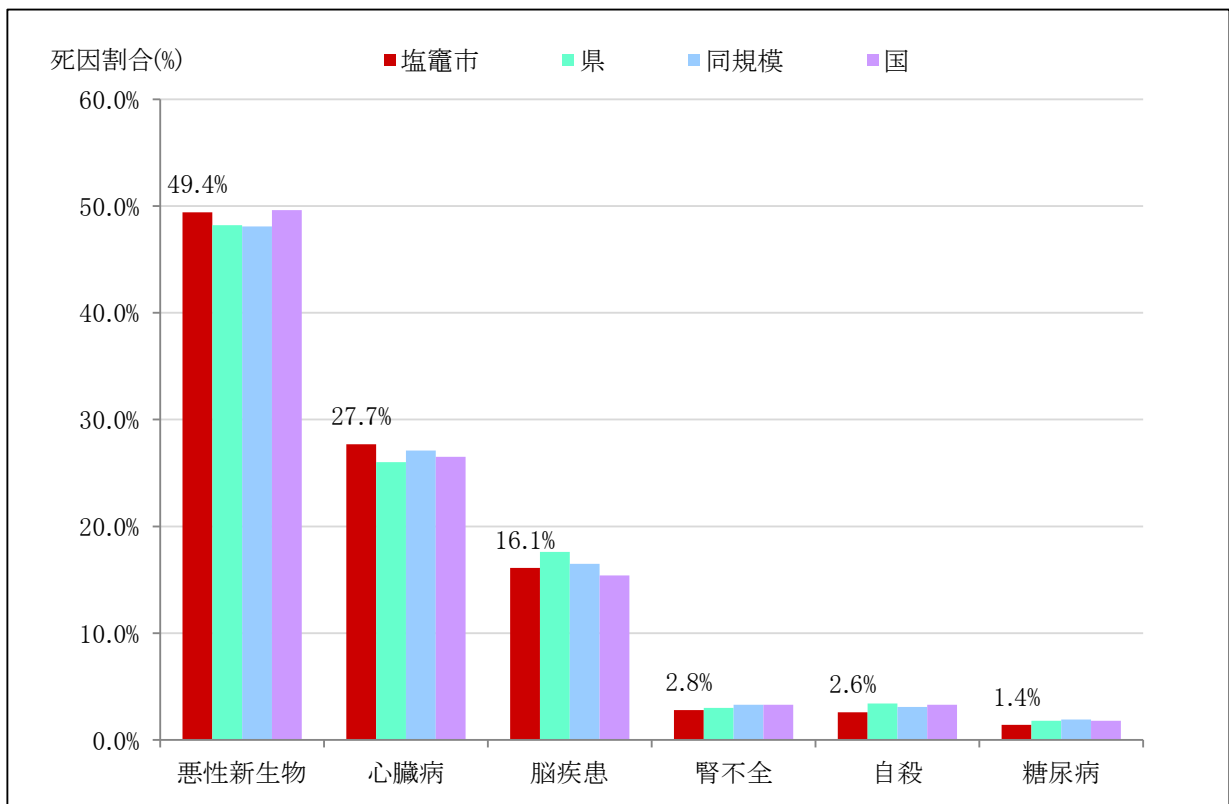
本市の平成28年度における、主たる死因の状況を以下に示す。

### 主たる死因の状況(平成28年度)

疾病項目	塩竈市		県	同規模	国
	人数(人)	割合(%)			
悪性新生物	212	49.4%	48.2%	48.1%	49.6%
心臓病	119	27.7%	26.0%	27.1%	26.5%
脳疾患	69	16.1%	17.6%	16.5%	15.4%
腎不全	12	2.8%	3.0%	3.3%	3.3%
自殺	11	2.6%	3.4%	3.1%	3.3%
糖尿病	6	1.4%	1.8%	1.9%	1.8%
合計	429				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

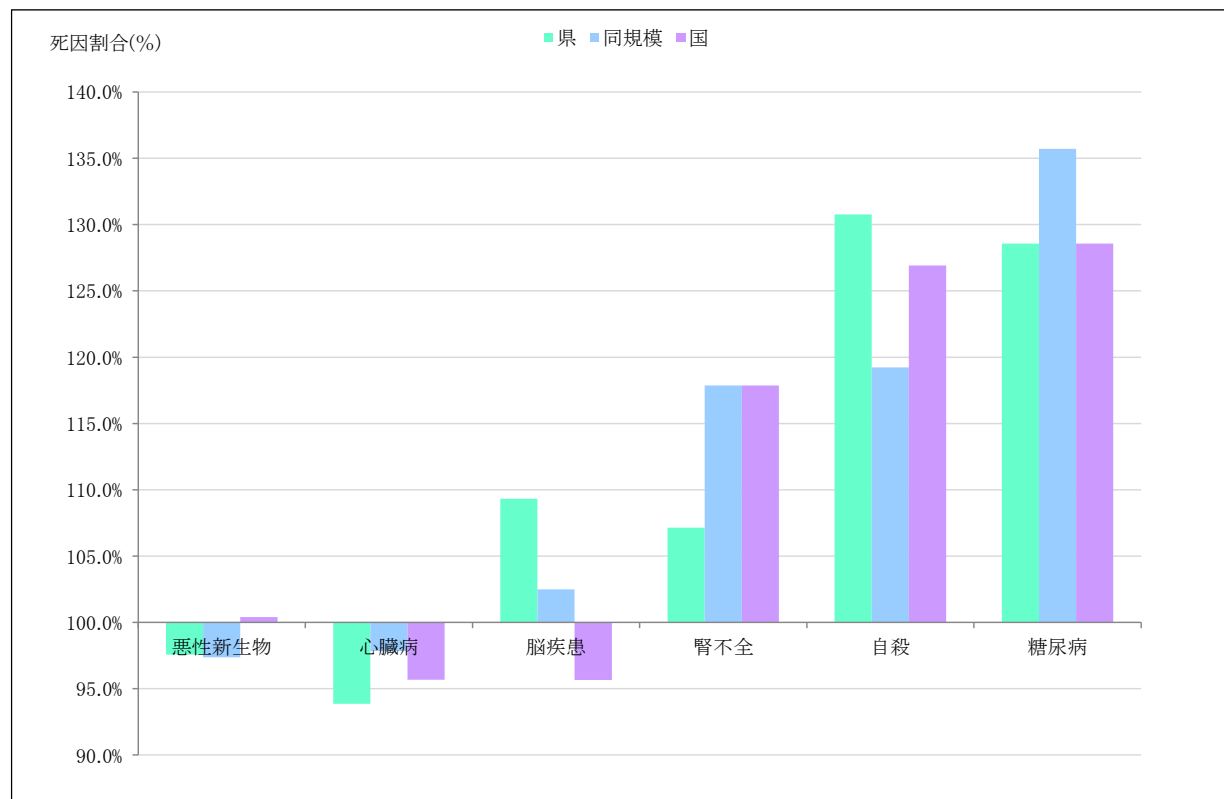
### 主たる死因の割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」



## 塩竈市を100とした主たる死因の割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

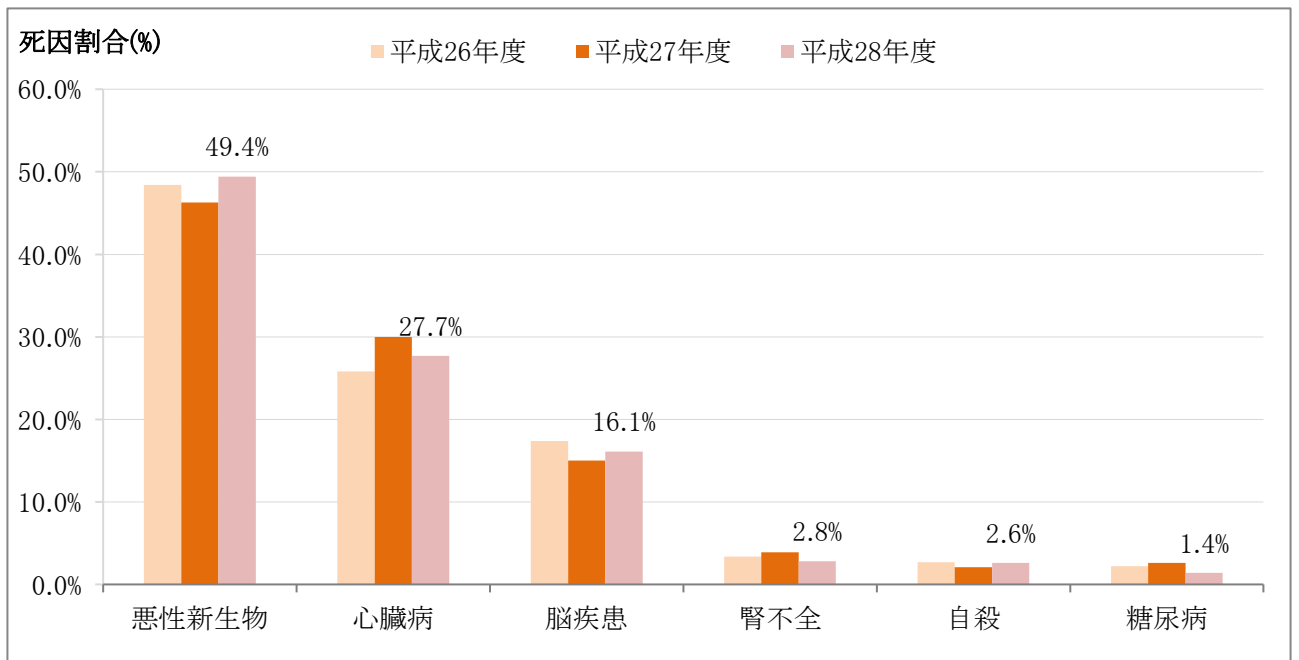
本市の平成26年度から平成28年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数212人は、平成26年度197人より15人増加しており、心臓病を死因とする人数119人は、平成26年度105人より14人増加している。また、脳疾患を死因とする人数69人は、平成26年度71人より2人減少している。

### 年度別 主たる死因の状況

疾病項目	塩竈市						県			同規模			国		
	人数(人)			割合(%)			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度									
悪性新生物	197	176	212	48.4%	46.3%	49.4%	48.0%	48.4%	48.2%	46.7%	47.5%	48.1%	48.3%	49.0%	49.6%
心臓病	105	114	119	25.8%	30.0%	27.7%	24.8%	24.8%	26.0%	27.2%	27.1%	27.1%	26.6%	26.4%	26.5%
脳疾患	71	57	69	17.4%	15.0%	16.1%	19.0%	18.4%	17.6%	17.2%	16.7%	16.5%	16.3%	15.9%	15.4%
腎不全	14	15	12	3.4%	3.9%	2.8%	3.1%	3.3%	3.0%	3.5%	3.4%	3.3%	3.4%	3.4%	3.3%
自殺	11	8	11	2.7%	2.1%	2.6%	3.2%	3.4%	3.4%	3.4%	3.4%	3.1%	3.5%	3.5%	3.3%
糖尿病	9	10	6	2.2%	2.6%	1.4%	1.9%	1.8%	1.8%	2.0%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	407	380	429												

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 主たる死因の割合(塩竈市)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 2. 医療情報分析結果

### (1) 基礎統計

当医療費統計は、塩竈市国民健康保険における、平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均13,397人、レセプト件数は平均17,518件、患者数は平均6,999人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均55,473円となった。

#### 基礎統計

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	
A	被保険者数(人)	14,024	13,795	13,756	13,627	13,537	13,429	13,393	
B	レセプト件数(件)	入院外	10,474	10,096	10,506	10,277	9,926	10,277	10,227
		入院	283	299	316	318	304	285	294
		調剤	7,355	7,063	7,355	7,198	6,914	7,032	7,136
		合計	18,112	17,458	18,177	17,793	17,144	17,594	17,657
C	医療費(円) ※	372,206,200	380,355,280	414,426,860	412,512,330	418,181,360	387,670,960	386,485,360	
D	患者数(人) ※	7,228	7,016	7,192	7,069	6,899	7,025	7,040	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	26,541	27,572	30,127	30,272	30,892	28,868	28,857	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	20,550	21,787	22,800	23,184	24,392	22,034	21,889	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	51,495	54,213	57,623	58,355	60,615	55,184	54,898	
B/A	受診率(%)	129.2%	126.6%	132.1%	130.6%	126.6%	131.0%	131.8%	
D/A	有病率(%)	51.5%	50.9%	52.3%	51.9%	51.0%	52.3%	52.6%	

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	13,197	13,092	13,039	12,952	12,927	13,397		
B	レセプト件数(件)	入院外	10,219	10,258	9,600	9,527	10,119	10,126	121,506
		入院	306	291	281	293	276	296	3,546
		調剤	7,114	7,220	6,805	6,728	7,242	7,097	85,162
		合計	17,639	17,769	16,686	16,548	17,637	17,518	210,214
C	医療費(円) ※	381,682,630	377,950,890	372,135,620	359,316,970	395,841,160	388,230,468	4,658,765,620	
D	患者数(人) ※	7,045	7,062	6,732	6,739	6,935	6,999	83,982	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	28,922	28,869	28,540	27,742	30,621	28,978		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	21,639	21,270	22,302	21,714	22,444	22,162		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	54,178	53,519	55,279	53,319	57,079	55,473		
B/A	受診率(%)	133.7%	135.7%	128.0%	127.8%	136.4%	130.8%		
D/A	有病率(%)	53.4%	53.9%	51.6%	52.0%	53.6%	52.2%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の人に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

平成26年度から平成28年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし、年度別に分析する。平成28年度を平成26年度と比較すると、一か月平均の被保険者数13,397人は、平成26年度15,035人より1,638人減少しており、医療費46億5,877万円は、平成26年度47億8,876万円より1億2,999万円減少している。また、一か月平均の患者数6,999人は、平成26年度7,550人より551人減少している。

## 年度別 基礎統計

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
A	一か月平均の被保険者数(人)	15,035	14,336	13,397	
B	レセプト件数(件)	入院外	130,132	128,218	121,506
		入院	3,930	3,888	3,546
		調剤	90,851	89,918	85,162
		合計	224,913	222,024	210,214
C	医療費(円) ※	4,788,763,400	4,967,435,770	4,658,765,620	
D	一か月平均の患者数(人) ※	7,550	7,357	6,999	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	318,511	346,507	347,738	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	21,292	22,373	22,162	
D/A	有病率(%)	50.2%	51.3%	52.2%	

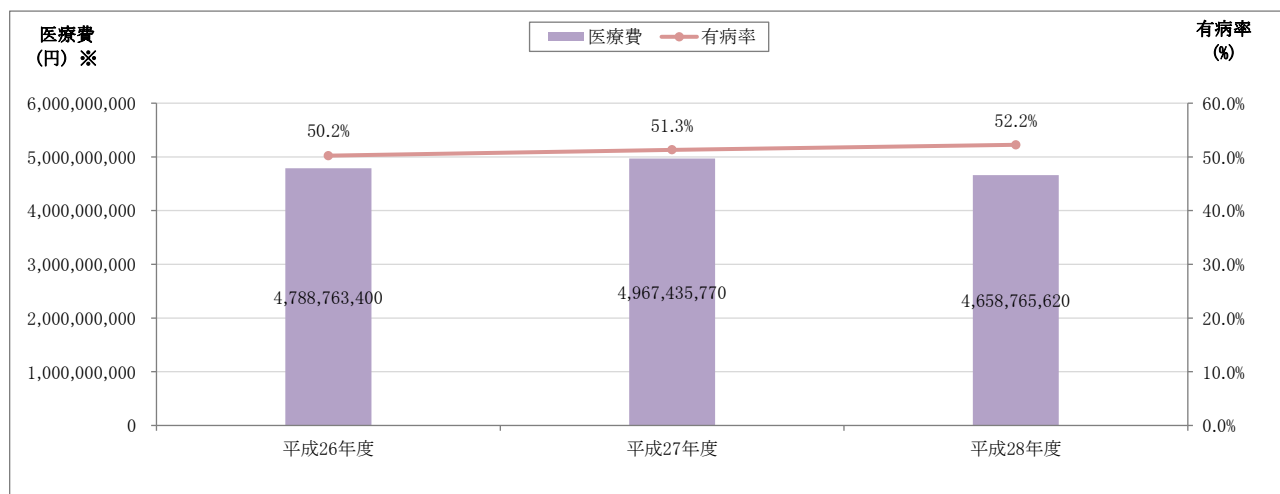
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一か月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の人に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

## 年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

## (2) 高額レセプトの件数及び医療費

### ① 高額レセプトの件数及び割合

平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)のレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは1,412件発生しており、レセプト件数全体の0.7%を占める。高額レセプトの医療費は14億6,778万円となり、医療費全体の31.5%を占める。

### 高額レセプトの件数及び医療費

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月
A	レセプト件数(件)	18,112	17,458	18,177	17,793	17,144	17,594	17,657
B	高額レセプト件数(件)	100	113	136	132	138	125	107
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.6%	0.7%	0.7%	0.8%	0.7%	0.6%
C	医療費(円) ※	372,206,200	380,355,280	414,426,860	412,512,330	418,181,360	387,670,960	386,485,360
D	高額レセプトの医療費(円) ※	97,811,580	116,404,940	143,118,090	140,140,380	152,388,790	126,099,110	112,022,170
E	その他レセプトの医療費(円) ※	274,394,620	263,950,340	271,308,770	272,371,950	265,792,570	261,571,850	274,463,190
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	26.3%	30.6%	34.5%	34.0%	36.4%	32.5%	29.0%

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	17,639	17,769	16,686	16,548	17,637	17,518	210,214
B	高額レセプト件数(件)	124	103	118	106	110	118	1,412
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%	0.6%	0.7%	0.6%	0.6%	0.7%	
C	医療費(円) ※	381,682,630	377,950,890	372,135,620	359,316,970	395,841,160	388,230,468	4,658,765,620
D	高額レセプトの医療費(円) ※	118,513,060	106,813,950	123,661,570	107,967,640	122,840,460	122,315,145	1,467,781,740
E	その他レセプトの医療費(円) ※	263,169,570	271,136,940	248,474,050	251,349,330	273,000,700	265,915,323	3,190,983,880
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	31.1%	28.3%	33.2%	30.0%	31.0%	31.5%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

平成26年度から平成28年度の高額レセプトの集計結果を年度別に示す。平成28年度高額レセプト件数1,412件は、平成26年度1,475件より63件減少しており、平成28年度高額レセプトの医療費14億6,778万円は、平成26年度13億9,541万円より7,237万円増加している。

### 年度別 高額レセプトの件数及び医療費

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
A	レセプト件数(件)	224,913	222,024	210,214
B	高額レセプト件数(件)	1,475	1,571	1,412
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%	0.7%	0.7%
C	医療費(円) ※	4,788,763,400	4,967,435,770	4,658,765,620
D	高額レセプトの医療費(円) ※	1,395,408,920	1,587,079,360	1,467,781,740
E	その他レセプトの医療費(円) ※	3,393,354,480	3,380,356,410	3,190,983,880
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	29.1%	31.9%	31.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

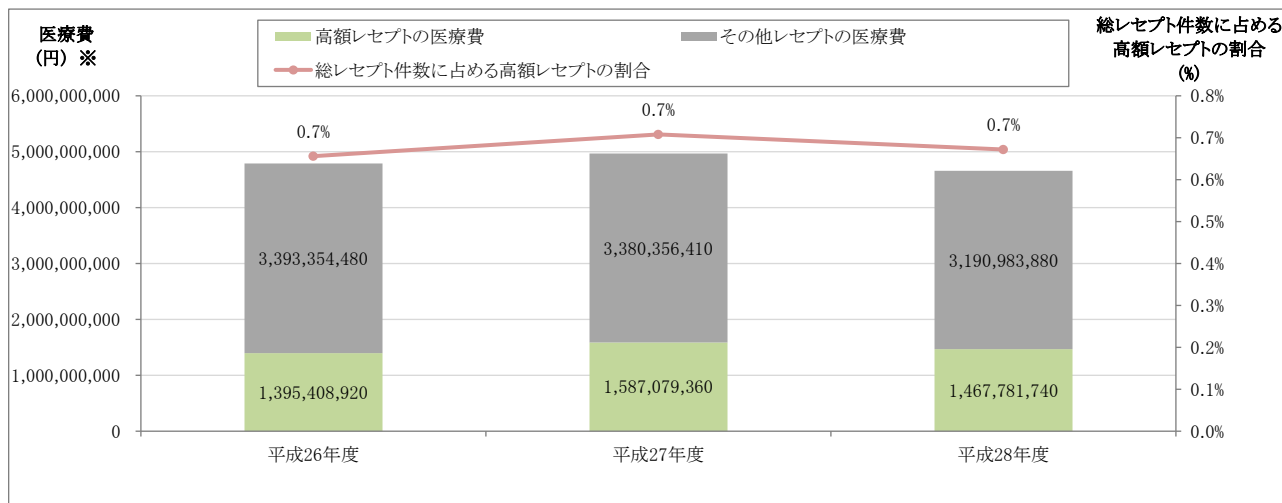
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

### 年度別 高額レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

## ②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)のレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を患者数順に示す。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分析後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。患者数が多い疾病は、「その他の悪性新生物<腫瘍>」「その他の心疾患」「その他の消化器系の疾患」となった。

### 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 多発性骨髄腫	67	141,052,860	86,137,090	227,189,950	3,390,895
2	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全, 発作性心房細動, 洞不全症候群	37	99,560,940	21,389,010	120,949,950	3,268,918
3	1113	その他の消化器系の疾患	鼠径ヘルニア, クロウン病, 急性虫垂炎	32	38,586,220	16,627,760	55,213,980	1,725,437
4	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 肺癌	30	71,117,330	63,676,780	134,794,110	4,493,137
5	1901	骨折	大腿骨頸部骨折, 腰椎圧迫骨折, 上腕骨頸部骨折	28	53,124,460	9,496,960	62,621,420	2,236,479
6	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	卵巣のう腫, 漿膜下子宮平滑筋腫, 子宮筋腫	26	30,906,830	8,738,820	39,645,650	1,524,833
6	1402	腎不全	慢性腎不全, 慢性腎臓病ステージG5, 慢性腎臓病ステージG4	26	43,847,670	105,371,150	149,218,820	5,739,185
8	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 胃癌, 胃前庭部癌	21	40,918,310	22,485,800	63,404,110	3,019,243
8	0906	脳梗塞	アテローム血栓性脳梗塞, 脳梗塞, 心原性脳塞栓症	21	40,675,070	4,580,410	45,255,480	2,155,023
10	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌, 乳房上外側部乳癌, 乳房上内側部乳癌	20	23,824,330	30,460,600	54,284,930	2,714,247
10	0902	虚血性心疾患	急性下壁心筋梗塞, 不安定狭心症, 労作性狭心症	20	43,732,310	6,221,690	49,954,000	2,497,700
12	1302	関節症	変形性股関節症, 両側性原発性膝関節症, 両側性続発性膝関節症	19	40,684,670	8,004,160	48,688,830	2,562,570
13	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎, B型慢性肝炎	16	14,142,980	54,022,510	68,165,490	4,260,343
13	0402	糖尿病	2型糖尿病・糖尿病性合併症なし, 糖尿病, 2型糖尿病・多発糖尿病性合併症あり	16	13,910,600	41,191,890	55,102,490	3,443,906
13	1111	胆石症及び胆のう炎	総胆管結石性胆管炎, 胆石性急性胆のう炎, 急性胆のう炎	16	16,444,870	5,893,430	22,338,300	1,396,144
16	0905	脳内出血	視床出血, 被殻出血, 脳出血後遺症	14	40,368,540	2,170,550	42,539,090	3,038,506
17	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	上行結腸癌, S状結腸癌, 横行結腸癌	13	27,998,260	17,585,360	45,583,620	3,506,432
17	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌, 直腸癌術後再発, 直腸S状部結腸癌	13	44,591,220	18,631,790	63,223,010	4,863,308
17	0606	その他の神経系の疾患	筋萎縮性側索硬化症, 脊髄小脳変性症, デュシェンヌ型筋ジストロフィー	13	44,893,960	6,406,130	51,300,090	3,946,161
20	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 統合失調感情障害	11	25,834,220	8,300,710	34,134,930	3,103,175

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者数上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成26年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 卵巣癌	52	2,957,662
	2	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 発作性心房細動, 発作性上室頻拍	37	3,098,918
	3	1402 腎不全	慢性腎不全, 急性腎不全	34	5,535,515
	4	0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫, 卵巣腫瘍, 耳下腺腫瘍	30	1,874,863
	4	1113 その他の消化器系の疾患	癒着性イレウス, 急性虫垂炎, 麻痺性イレウス	30	1,451,916
平成27年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 卵巣癌, 膵頭部癌	70	3,359,535
	2	1901 骨折	膝蓋骨骨折, 大腿骨頸部骨折, 腰椎圧迫骨折	39	1,992,353
	3	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 急性腎不全	38	5,720,516
	4	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌, 乳房上外側部乳癌, 乳房下内側部乳癌	30	2,772,957
	5	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 感染性心内膜炎, 発作性心房細動	26	4,273,054
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 多発性骨髄腫	67	3,390,895
	2	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 発作性心房細動, 洞不全症候群	37	3,268,918
	3	1113 その他の消化器系の疾患	膵径ヘルニア, クロウン病, 急性虫垂炎	32	1,725,437
	4	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 肺癌	30	4,493,137
	5	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 腰椎圧迫骨折, 上腕骨頸部骨折	28	2,236,479

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。



### (3) 疾病別医療費

#### ①大分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)のレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「循環器系の疾患」は医療費合計の15.4%、「新生物<腫瘍>」は医療費合計の14.4%と、高い割合を占めている。

#### 大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	145,551,651	3.1%	11	13,148	13	3,522	9	41,326	15
II. 新生物<腫瘍>	666,394,276	14.4%	2	15,708	12	3,339	10	199,579	4
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	44,822,067	1.0%	15	4,929	16	1,087	15	41,235	16
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	530,617,044	11.4%	3	73,731	2	6,093	2	87,086	7
V. 精神及び行動の障害	428,330,495	9.2%	4	21,145	8	1,684	14	254,353	2
VI. 神経系の疾患	216,331,435	4.7%	10	33,138	7	2,989	11	72,376	8
VII. 眼及び付属器の疾患	216,400,744	4.7%	9	35,305	6	4,692	6	46,121	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	18,427,672	0.4%	16	3,062	17	845	17	21,808	19
IX. 循環器系の疾患	715,481,941	15.4%	1	76,865	1	5,966	4	119,927	5
X. 呼吸器系の疾患	272,032,639	5.9%	8	40,110	4	6,381	1	42,632	14
X I. 消化器系の疾患 ※	327,531,045	7.1%	5	55,743	3	6,013	3	54,470	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	88,272,003	1.9%	14	17,281	10	3,780	7	23,352	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	326,030,938	7.0%	6	39,733	5	4,748	5	68,667	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	323,618,998	7.0%	7	16,673	11	2,806	12	115,331	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	15,957,417	0.3%	17	202	20	72	20	221,631	3
X VI. 周産期に発生した病態 ※	11,872,092	0.3%	18	54	21	24	21	494,671	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	11,547,325	0.2%	19	482	19	176	18	65,610	11
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	137,505,534	3.0%	12	17,562	9	3,621	8	37,974	17
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	130,847,598	2.8%	13	6,689	15	1,957	13	66,861	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	10,408,762	0.2%	20	7,506	14	869	16	11,978	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	1,122,664	0.0%	21	861	18	140	19	8,019	21
合計	4,639,104,340			208,414		11,926		388,991	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

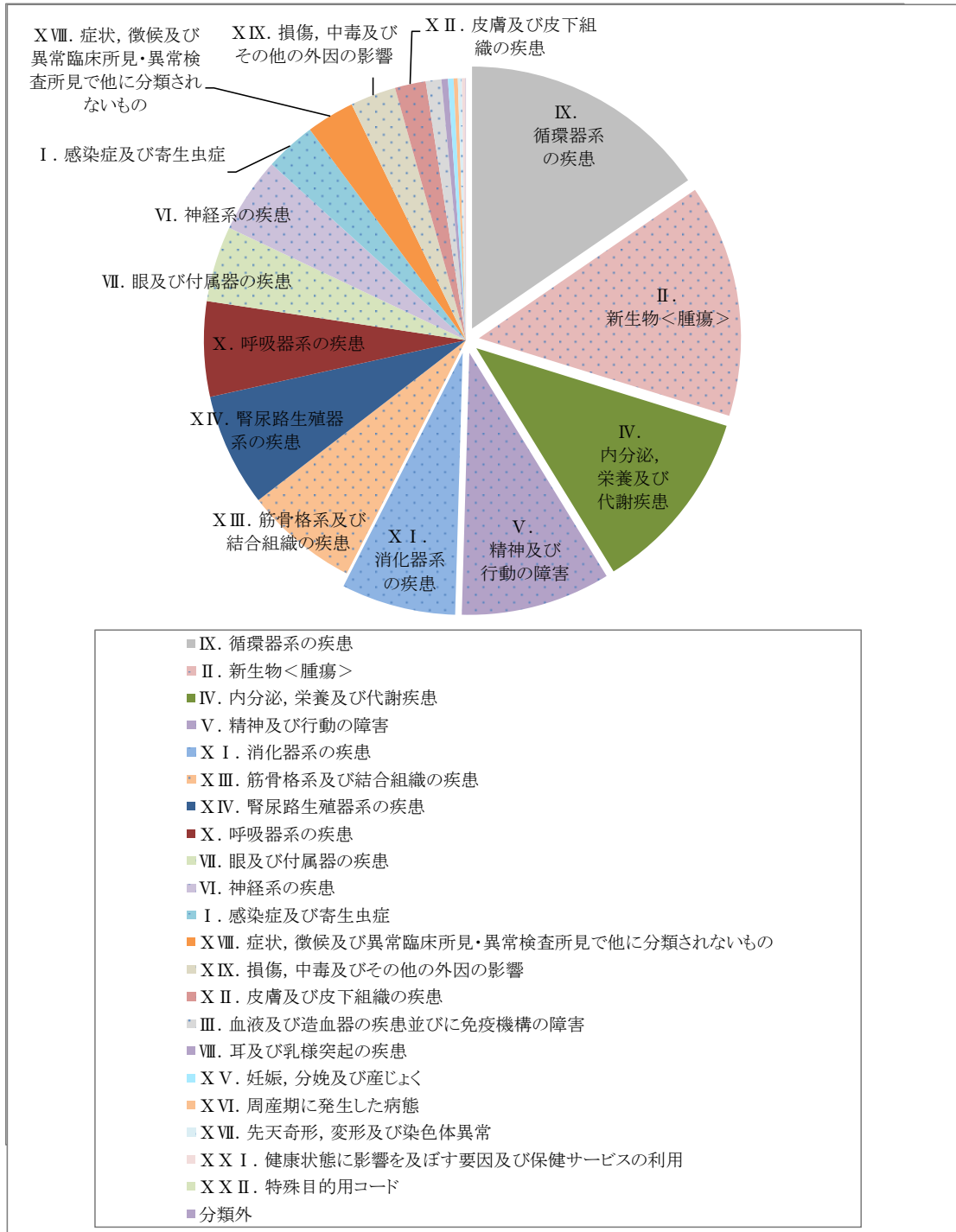
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「精神及び行動の障害」「消化器系の疾患」の医療費で過半数を占める。

## 疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

平成26年度から平成28年度のレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示す。

年度別 大分類による疾病別医療費統計 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	118,873,989	2.5%	12	165,314,725	3.3%	11	145,551,651	3.1%	11
II. 新生物<腫瘍>	677,540,039	14.2%	2	686,030,983	13.9%	2	666,394,276	14.4%	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	34,971,995	0.7%	15	59,879,831	1.2%	15	44,822,067	1.0%	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	494,751,606	10.4%	3	504,379,884	10.2%	3	530,617,044	11.4%	3
V. 精神及び行動の障害	440,459,807	9.3%	4	464,676,700	9.4%	4	428,330,495	9.2%	4
VI. 神経系の疾患	217,671,240	4.6%	10	244,147,720	4.9%	9	216,331,435	4.7%	10
VII. 眼及び付属器の疾患	226,089,140	4.8%	9	240,580,745	4.9%	10	216,400,744	4.7%	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	18,231,478	0.4%	17	19,064,384	0.4%	16	18,427,672	0.4%	16
IX. 循環器系の疾患	844,466,058	17.7%	1	820,078,140	16.6%	1	715,481,941	15.4%	1
X. 呼吸器系の疾患	297,344,237	6.2%	7	321,901,262	6.5%	8	272,032,639	5.9%	8
X I. 消化器系の疾患 ※	369,183,592	7.8%	5	337,944,700	6.8%	6	327,531,045	7.1%	5
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	98,567,657	2.1%	13	96,619,275	2.0%	14	88,272,003	1.9%	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	345,589,895	7.3%	6	355,029,154	7.2%	5	326,030,938	7.0%	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	292,608,262	6.1%	8	326,327,566	6.6%	7	323,618,998	7.0%	7
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	12,554,146	0.3%	18	12,445,389	0.3%	17	15,957,417	0.3%	17
X VI. 周産期に発生した病態 ※	20,140,105	0.4%	16	9,339,613	0.2%	19	11,872,092	0.3%	18
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	4,049,418	0.1%	20	3,987,286	0.1%	21	11,547,325	0.2%	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	91,481,467	1.9%	14	107,512,210	2.2%	13	137,505,534	3.0%	12
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	139,783,745	2.9%	11	150,389,127	3.0%	12	130,847,598	2.8%	13
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	12,538,745	0.3%	19	12,114,688	0.2%	18	10,408,762	0.2%	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
分類外	1,310,679	0.0%	21	7,179,408	0.1%	20	1,122,664	0.0%	21
合計	4,758,207,300			4,944,942,790			4,639,104,340		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

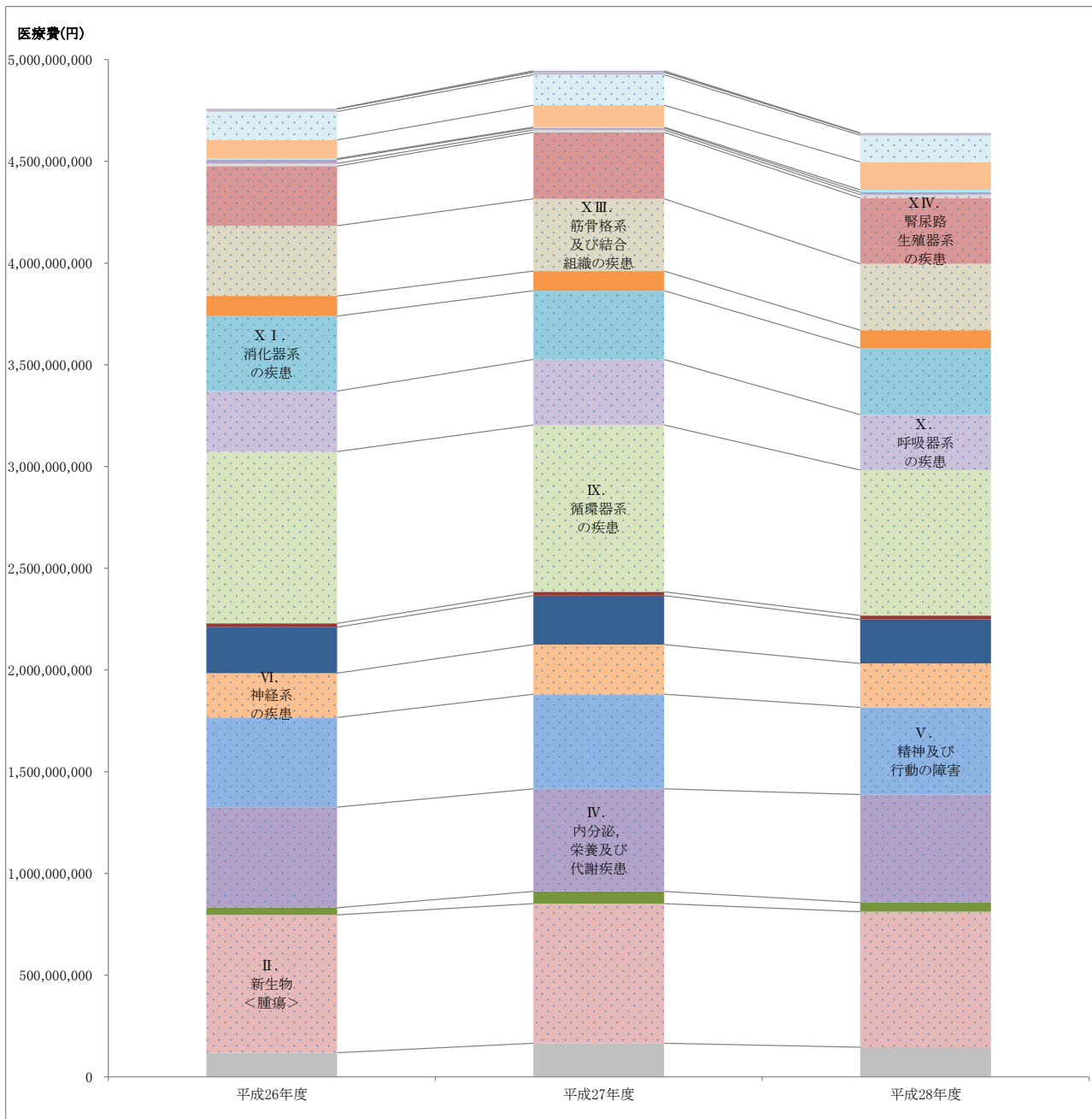
そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

# 年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

## ②中分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)のレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

### 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0402 糖尿病	261,729,290	5.6%	3,633
2	0901 高血圧性疾患	254,889,884	5.5%	4,576
3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	244,035,413	5.3%	1,415
4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	226,773,203	4.9%	344
5	1402 腎不全	219,877,706	4.7%	267
6	0903 その他の心疾患	196,180,032	4.2%	2,132
7	1113 その他の消化器系の疾患	178,825,371	3.9%	4,026
8	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	137,505,534	3.0%	3,621
9	0403 脂質異常症	129,599,099	2.8%	3,517
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	129,129,272	2.8%	3,483

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	254,889,884	4,576	38.4%
2	0703 屈折及び調節の障害	17,233,294	4,087	34.3%
3	1113 その他の消化器系の疾患	178,825,371	4,026	33.8%
4	0402 糖尿病	261,729,290	3,633	30.5%
5	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	137,505,534	3,621	30.4%
6	0403 脂質異常症	129,599,099	3,517	29.5%
7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	129,129,272	3,483	29.2%
8	1105 胃炎及び十二指腸炎	44,104,192	3,136	26.3%
9	1202 皮膚炎及び湿疹	40,945,276	2,839	23.8%
10	1006 アレルギー性鼻炎	38,815,079	2,732	22.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	9,574,823	11	870,438
2	1402 腎不全	219,877,706	267	823,512
3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	226,773,203	344	659,224
4	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	43,834,309	77	569,277
5	0209 白血病	10,268,936	25	410,757
6	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	70,642,486	224	315,368
7	1502 妊娠高血圧症候群	1,375,146	5	275,029
8	0602 アルツハイマー病	20,671,866	78	265,024
9	0507 その他の精神及び行動の障害	44,198,964	177	249,712
10	0208 悪性リンパ腫	16,992,238	70	242,746

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

平成26年度から平成28年度のレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	297,674,872	6.3%	4,820
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	262,328,633	5.5%	397
	3	0402 糖尿病	260,450,747	5.5%	3,600
	4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	207,234,824	4.4%	1,387
	5	1113 その他の消化器系の疾患	187,238,366	3.9%	4,227
	6	1402 腎不全	186,601,720	3.9%	291
	7	0903 その他の心疾患	180,449,051	3.8%	2,155
	8	0403 脂質異常症	142,619,049	3.0%	3,645
	9	0606 その他の神経系の疾患	129,699,753	2.7%	2,803
	10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	127,285,344	2.7%	3,693
平成27年度	1	0901 高血圧性疾患	273,810,740	5.5%	4,713
	2	0402 糖尿病	259,347,537	5.2%	3,725
	3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	243,951,284	4.9%	373
	4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	233,954,441	4.7%	1,469
	5	1402 腎不全	222,970,923	4.5%	296
	6	0903 その他の心疾患	188,618,284	3.8%	2,144
	7	1113 その他の消化器系の疾患	183,746,197	3.7%	4,159
	8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	144,560,102	2.9%	3,661
	9	0403 脂質異常症	140,576,060	2.8%	3,626
	10	0606 その他の神経系の疾患	138,530,311	2.8%	2,810
平成28年度	1	0402 糖尿病	261,729,290	5.6%	3,633
	2	0901 高血圧性疾患	254,889,884	5.5%	4,576
	3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	244,035,413	5.3%	1,415
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	226,773,203	4.9%	344
	5	1402 腎不全	219,877,706	4.7%	267
	6	0903 その他の心疾患	196,180,032	4.2%	2,132
	7	1113 その他の消化器系の疾患	178,825,371	3.9%	4,026
	8	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	137,505,534	3.0%	3,621
	9	0403 脂質異常症	129,599,099	2.8%	3,517
	10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	129,129,272	2.8%	3,483

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者数上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	297,674,872	4,820	37.0%
	2	0703 屈折及び調節の障害	20,648,343	4,430	34.0%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	187,238,366	4,227	32.5%
	4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	91,481,467	3,813	29.3%
	5	0704 その他の眼及び付属器の疾患	127,285,344	3,693	28.4%
	6	0403 脂質異常症	142,619,049	3,645	28.0%
	7	0402 糖尿病	260,450,747	3,600	27.7%
	8	1105 胃炎及び十二指腸炎	54,427,670	3,377	25.9%
	9	1202 皮膚炎及び湿疹	47,285,274	3,280	25.2%
	10	1003 その他の急性上気道感染症	22,309,323	3,047	23.4%
平成27年度	1	0901 高血圧性疾患	273,810,740	4,713	37.3%
	2	0703 屈折及び調節の障害	19,368,060	4,369	34.6%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	183,746,197	4,159	32.9%
	4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	107,512,210	3,850	30.5%
	5	0402 糖尿病	259,347,537	3,725	29.5%
	6	0704 その他の眼及び付属器の疾患	144,560,102	3,661	29.0%
	7	0403 脂質異常症	140,576,060	3,626	28.7%
	8	1105 胃炎及び十二指腸炎	48,389,219	3,400	26.9%
	9	1003 その他の急性上気道感染症	22,836,968	3,040	24.1%
	10	1202 皮膚炎及び湿疹	45,158,169	3,021	23.9%
平成28年度	1	0901 高血圧性疾患	254,889,884	4,576	38.4%
	2	0703 屈折及び調節の障害	17,233,294	4,087	34.3%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	178,825,371	4,026	33.8%
	4	0402 糖尿病	261,729,290	3,633	30.5%
	5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	137,505,534	3,621	30.4%
	6	0403 脂質異常症	129,599,099	3,517	29.5%
	7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	129,129,272	3,483	29.2%
	8	1105 胃炎及び十二指腸炎	44,104,192	3,136	26.3%
	9	1202 皮膚炎及び湿疹	40,945,276	2,839	23.8%
	10	1006 アレルギー性鼻炎	38,815,079	2,732	22.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。



患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
平成26年度	1	0209 白血病	26,098,892	20	1,304,945
	2	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	14,895,360	18	827,520
	3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	262,328,633	397	660,777
	4	1402 腎不全	186,601,720	291	641,243
	5	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	49,094,716	99	495,906
	6	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	86,002,392	209	411,495
	7	0904 くも膜下出血	18,799,131	47	399,982
	8	0507 その他の精神及び行動の障害	50,369,381	174	289,479
	9	0208 悪性リンパ腫	17,302,928	63	274,650
	10	0602 アルツハイマー病	24,661,958	95	259,600
平成27年度	1	0209 白血病	40,676,236	26	1,564,471
	2	1402 腎不全	222,970,923	296	753,280
	3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	243,951,284	373	654,025
	4	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	7,343,162	16	458,948
	5	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	89,360,620	223	400,720
	6	0208 悪性リンパ腫	24,605,252	76	323,753
	7	0507 その他の精神及び行動の障害	52,049,009	170	306,171
	8	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	30,341,624	100	303,416
	9	0905 脳内出血	48,421,268	170	284,831
	10	0602 アルツハイマー病	25,394,851	94	270,158
平成28年度	1	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	9,574,823	11	870,438
	2	1402 腎不全	219,877,706	267	823,512
	3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	226,773,203	344	659,224
	4	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	43,834,309	77	569,277
	5	0209 白血病	10,268,936	25	410,757
	6	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	70,642,486	224	315,368
	7	1502 妊娠高血圧症候群	1,375,146	5	275,029
	8	0602 アルツハイマー病	20,671,866	78	265,024
	9	0507 その他の精神及び行動の障害	44,198,964	177	249,712
	10	0208 悪性リンパ腫	16,992,238	70	242,746

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	4,639,104,340	208,414	11,926

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
<b>I. 感染症及び寄生虫症</b>	145,551,651	3.1%		13,148	6.3%		3,522	29.5%		41,326	
0101 腸管感染症	10,111,749	0.2%	74	2,670	1.3%	52	1,087	9.1%	34	9,302	107
0102 結核	1,668,633	0.0%	108	379	0.2%	94	117	1.0%	92	14,262	96
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	2,075,527	0.0%	106	311	0.1%	98	174	1.5%	82	11,928	103
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	8,809,348	0.2%	79	1,937	0.9%	63	628	5.3%	51	14,028	99
0105 ウイルス性肝炎	75,274,031	1.6%	18	2,443	1.2%	54	513	4.3%	58	146,733	19
0106 その他のウイルス性疾患	5,449,478	0.1%	90	272	0.1%	101	120	1.0%	89	45,412	48
0107 真菌症	20,531,140	0.4%	56	3,365	1.6%	46	973	8.2%	37	21,101	77
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	256,780	0.0%	118	305	0.1%	99	29	0.2%	111	8,854	108
0109 その他の感染症及び寄生虫症	21,374,965	0.5%	53	2,844	1.4%	50	984	8.3%	36	21,723	74
<b>II. 新生物&lt;腫瘍&gt;</b>	666,394,276	14.4%		15,708	7.5%		3,339	28.0%		199,579	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	57,276,627	1.2%	23	2,044	1.0%	60	605	5.1%	53	94,672	27
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	50,397,435	1.1%	28	2,437	1.2%	56	799	6.7%	45	63,076	32
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	43,834,309	0.9%	32	535	0.3%	91	77	0.6%	100	569,277	4
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	10,861,424	0.2%	69	706	0.3%	85	168	1.4%	83	64,651	31
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	109,381,617	2.4%	13	1,652	0.8%	69	462	3.9%	62	236,757	11
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	70,642,486	1.5%	19	1,744	0.8%	65	224	1.9%	79	315,368	6
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	6,592,457	0.1%	84	404	0.2%	93	147	1.2%	85	44,847	49
0208 悪性リンパ腫	16,992,238	0.4%	61	378	0.2%	95	70	0.6%	102	242,746	10
0209 白血病	10,268,936	0.2%	72	151	0.1%	107	25	0.2%	112	410,757	5
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	244,035,413	5.3%	3	6,284	3.0%	33	1,415	11.9%	27	172,463	16
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	46,111,334	1.0%	29	3,117	1.5%	47	1,323	11.1%	30	34,854	61
<b>III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害</b>	44,822,067	1.0%		4,929	2.4%		1,087	9.1%		41,235	
0301 貧血	19,135,817	0.4%	57	3,682	1.8%	44	730	6.1%	46	26,213	68
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	25,686,250	0.6%	48	1,474	0.7%	72	495	4.2%	60	51,891	41
<b>IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患</b>	530,617,044	11.4%		73,731	35.4%		6,093	51.1%		87,086	
0401 甲状腺障害	26,018,563	0.6%	46	5,649	2.7%	34	1,216	10.2%	33	21,397	75
0402 糖尿病	261,729,290	5.6%	1	34,594	16.6%	4	3,633	30.5%	4	72,042	30
0403 脂質異常症	129,599,099	2.8%	9	46,447	22.3%	2	3,517	29.5%	6	36,849	60
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	113,270,092	2.4%	12	13,869	6.7%	14	1,852	15.5%	19	61,161	34
<b>V. 精神及び行動の障害</b>	428,330,495	9.2%		21,145	10.1%		1,684	14.1%		254,353	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	3,200,022	0.1%	98	142	0.1%	109	36	0.3%	109	88,890	29
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	16,791,531	0.4%	62	689	0.3%	86	78	0.7%	98	215,276	13
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	226,773,203	4.9%	4	5,255	2.5%	36	344	2.9%	66	659,224	3

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	4,639,104,340	208,414	11,926

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	102,013,770	2.2%	14	9,281	4.5%	23	672	5.6%	49	151,806	18
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	30,841,021	0.7%	41	10,408	5.0%	20	926	7.8%	40	33,306	63
0506	知的障害<精神遅滞>	4,511,984	0.1%	92	144	0.1%	108	33	0.3%	110	136,727	20
0507	その他の精神及び行動の障害	44,198,964	1.0%	30	1,259	0.6%	76	177	1.5%	81	249,712	9
VI. 神経系の疾患		216,331,435	4.7%		33,138	15.9%		2,989	25.1%		72,376	
0601	パーキンソン病	24,706,524	0.5%	51	1,536	0.7%	70	117	1.0%	92	211,167	14
0602	アルツハイマー病	20,671,866	0.4%	55	834	0.4%	82	78	0.7%	98	265,024	8
0603	てんかん	34,435,777	0.7%	39	3,027	1.5%	48	270	2.3%	76	127,540	24
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	10,709,728	0.2%	70	322	0.2%	97	65	0.5%	104	164,765	17
0605	自律神経系の障害	3,362,151	0.1%	96	1,095	0.5%	78	118	1.0%	91	28,493	66
0606	その他の神経系の疾患	122,445,389	2.6%	11	28,820	13.8%	5	2,676	22.4%	12	45,757	46
VII. 眼及び付属器の疾患		216,400,744	4.7%		35,305	16.9%		4,692	39.3%		46,121	
0701	結膜炎	15,824,517	0.3%	65	12,060	5.8%	17	2,014	16.9%	16	7,857	111
0702	白内障	54,213,661	1.2%	25	21,421	10.3%	8	2,354	19.7%	14	23,030	72
0703	屈折及び調節の障害	17,233,294	0.4%	60	27,649	13.3%	7	4,087	34.3%	2	4,217	118
0704	その他の眼及び付属器の疾患	129,129,272	2.8%	10	28,678	13.8%	6	3,483	29.2%	7	37,074	59
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		18,427,672	0.4%		3,062	1.5%		845	7.1%		21,808	
0801	外耳炎	1,046,008	0.0%	112	720	0.3%	84	292	2.4%	72	3,582	120
0802	その他の外耳疾患	533,172	0.0%	115	297	0.1%	100	145	1.2%	86	3,677	119
0803	中耳炎	3,856,046	0.1%	94	821	0.4%	83	234	2.0%	78	16,479	88
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	1,640,319	0.0%	109	251	0.1%	103	92	0.8%	97	17,830	84
0805	メニエール病	2,451,369	0.1%	101	593	0.3%	90	102	0.9%	95	24,033	71
0806	その他の内耳疾患	2,808,708	0.1%	99	253	0.1%	102	110	0.9%	94	25,534	70
0807	その他の耳疾患	6,092,050	0.1%	86	1,271	0.6%	75	377	3.2%	65	16,159	89
IX. 循環器系の疾患		715,481,941	15.4%		76,865	36.9%		5,966	50.0%		119,927	
0901	高血圧性疾患	254,889,884	5.5%	2	66,315	31.8%	1	4,576	38.4%	1	55,701	38
0902	虚血性心疾患	86,635,365	1.9%	15	12,496	6.0%	15	1,473	12.4%	25	58,816	36
0903	その他の心疾患	196,180,032	4.2%	6	15,388	7.4%	11	2,132	17.9%	15	92,017	28
0904	くも膜下出血	6,393,427	0.1%	85	135	0.1%	111	48	0.4%	107	133,196	22
0905	脳内出血	33,095,002	0.7%	40	606	0.3%	89	184	1.5%	80	179,864	15
0906	脳梗塞	54,515,667	1.2%	24	7,271	3.5%	30	870	7.3%	41	62,662	33
0907	脳動脈硬化(症)	93,887	0.0%	119	15	0.0%	118	10	0.1%	118	9,389	106
0908	その他の脳血管疾患	25,729,413	0.6%	47	2,124	1.0%	59	685	5.7%	48	37,561	58
0909	動脈硬化(症)	16,288,832	0.4%	63	4,032	1.9%	43	1,010	8.5%	35	16,128	90
0911	低血圧(症)	570,690	0.0%	114	211	0.1%	105	45	0.4%	108	12,682	102
0912	その他の循環器系の疾患	41,089,742	0.9%	34	3,667	1.8%	45	808	6.8%	44	50,854	42
X. 呼吸器系の疾患		272,032,639	5.9%		40,110	19.2%		6,381	53.5%		42,632	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	2,384,683	0.1%	102	1,970	0.9%	61	818	6.9%	43	2,915	121
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	9,545,458	0.2%	77	4,596	2.2%	41	1,746	14.6%	21	5,467	117
1003	その他の急性上気道感染症	20,905,581	0.5%	54	9,191	4.4%	25	2,693	22.6%	11	7,763	112

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	4,639,104,340	208,414	11,926

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004	肺炎	24,933,864	0.5%	49	1,454	0.7%	73	601	5.0%	54	41,487	54
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	18,481,019	0.4%	58	7,624	3.7%	28	2,581	21.6%	13	7,160	113
1006	アレルギー性鼻炎	38,815,079	0.8%	36	15,176	7.3%	12	2,732	22.9%	10	14,208	97
1007	慢性副鼻腔炎	8,123,781	0.2%	82	2,455	1.2%	53	489	4.1%	61	16,613	87
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	2,533,933	0.1%	100	866	0.4%	80	296	2.5%	71	8,561	109
1009	慢性閉塞性肺疾患	24,845,422	0.5%	50	4,966	2.4%	38	628	5.3%	51	39,563	56
1010	喘息	78,094,376	1.7%	17	14,125	6.8%	13	1,764	14.8%	20	44,271	51
1011	その他の呼吸器系の疾患	43,369,443	0.9%	33	5,580	2.7%	35	1,895	15.9%	17	22,886	73
X I . 消化器系の疾患		327,531,045	7.1%		55,743	26.7%		6,013	50.4%		54,470	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	41,342	0.0%	121	6	0.0%	121	6	0.1%	120	6,890	115
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	50,562	0.0%	120	13	0.0%	119	8	0.1%	119	6,320	116
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	35,428,879	0.8%	38	11,527	5.5%	18	1,387	11.6%	28	25,544	69
1105	胃炎及び十二指腸炎	44,104,192	1.0%	31	20,508	9.8%	9	3,136	26.3%	8	14,064	98
1106	痔核	5,749,400	0.1%	88	1,710	0.8%	67	312	2.6%	70	18,428	83
1107	アルコール性肝疾患	3,243,963	0.1%	97	376	0.2%	96	71	0.6%	101	45,690	47
1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	5,544,012	0.1%	89	2,290	1.1%	57	329	2.8%	69	16,851	85
1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	3,625,334	0.1%	95	671	0.3%	87	129	1.1%	88	28,103	67
1110	その他の肝疾患	18,004,681	0.4%	59	4,823	2.3%	39	1,288	10.8%	32	13,979	100
1111	胆石症及び胆のう炎	26,936,769	0.6%	45	2,282	1.1%	58	577	4.8%	56	46,684	45
1112	膵疾患	5,976,540	0.1%	87	912	0.4%	79	282	2.4%	74	21,193	76
1113	その他の消化器系の疾患	178,825,371	3.9%	7	36,878	17.7%	3	4,026	33.8%	3	44,418	50
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		88,272,003	1.9%		17,281	8.3%		3,780	31.7%		23,352	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	8,759,403	0.2%	80	1,709	0.8%	68	596	5.0%	55	14,697	93
1202	皮膚炎及び湿疹	40,945,276	0.9%	35	12,102	5.8%	16	2,839	23.8%	9	14,422	95
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	38,567,324	0.8%	37	7,757	3.7%	27	1,895	15.9%	17	20,352	79
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		326,030,938	7.0%		39,733	19.1%		4,748	39.8%		68,667	
1301	炎症性多発性関節障害	50,405,337	1.1%	27	6,514	3.1%	31	952	8.0%	39	52,947	40
1302	関節症	79,193,716	1.7%	16	9,882	4.7%	21	1,323	11.1%	30	59,859	35
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	58,467,738	1.3%	21	9,545	4.6%	22	1,327	11.1%	29	44,060	53
1304	椎間板障害	9,883,746	0.2%	75	1,737	0.8%	66	339	2.8%	68	29,156	65
1305	頸腕症候群	5,008,118	0.1%	91	2,936	1.4%	49	436	3.7%	63	11,487	105
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	21,760,949	0.5%	52	10,601	5.1%	19	1,561	13.1%	23	13,940	101
1307	その他の脊柱障害	7,937,205	0.2%	83	1,853	0.9%	64	395	3.3%	64	20,094	80
1308	肩の傷害<損傷>	11,735,081	0.3%	68	4,773	2.3%	40	700	5.9%	47	16,764	86
1309	骨の密度及び構造の障害	50,847,148	1.1%	26	9,207	4.4%	24	959	8.0%	38	53,021	39
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	30,791,900	0.7%	42	7,811	3.7%	26	1,574	13.2%	22	19,563	81

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	4,639,104,340	208,414	11,926

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	323,618,998	7.0%		16,673	8.0%		2,806	23.5%		115,331	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	16,277,962	0.4%	64	1,956	0.9%	62	344	2.9%	66	47,320	44
1402 腎不全	219,877,706	4.7%	5	2,801	1.3%	51	267	2.2%	77	823,512	2
1403 尿路結石症	12,782,693	0.3%	67	1,232	0.6%	77	290	2.4%	73	44,078	52
1404 その他の腎尿路系の疾患	27,324,413	0.6%	44	6,401	3.1%	32	1,468	12.3%	26	18,613	82
1405 前立腺肥大(症)	30,686,320	0.7%	43	4,969	2.4%	37	643	5.4%	50	47,724	43
1406 その他の男性生殖器系の疾患	1,903,210	0.0%	107	661	0.3%	88	120	1.0%	89	15,860	91
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	4,277,364	0.1%	93	1,520	0.7%	71	278	2.3%	75	15,386	92
1408 乳房及びその他の女性生殖器系の疾患	10,489,330	0.2%	71	1,364	0.7%	74	500	4.2%	59	20,979	78
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	15,957,417	0.3%		202	0.1%		72	0.6%		221,631	
1501 流産	455,236	0.0%	116	28	0.0%	116	14	0.1%	116	32,517	64
1502 妊娠高血圧症候群	1,375,146	0.0%	110	9	0.0%	120	5	0.0%	121	275,029	7
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	14,127,035	0.3%	66	180	0.1%	106	65	0.5%	104	217,339	12
XVI. 周産期に発生した病態	11,872,092	0.3%		54	0.0%		24	0.2%		494,671	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	9,574,823	0.2%	76	27	0.0%	117	11	0.1%	117	870,438	1
1602 その他の周産期に発生した病態	2,297,269	0.0%	103	30	0.0%	115	17	0.1%	114	135,133	21
XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	11,547,325	0.2%		482	0.2%		176	1.5%		65,610	
1701 心臓の先天奇形	2,207,988	0.0%	104	58	0.0%	113	17	0.1%	114	129,882	23
1702 その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	9,339,337	0.2%	78	432	0.2%	92	162	1.4%	84	57,650	37
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	137,505,534	3.0%		17,562	8.4%		3,621	30.4%		37,974	
1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	137,505,534	3.0%	8	17,562	8.4%	10	3,621	30.4%	5	37,974	57
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	130,847,598	2.8%		6,689	3.2%		1,957	16.4%		66,861	
1901 骨折	57,920,166	1.2%	22	2,439	1.2%	55	542	4.5%	57	106,864	26
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	8,205,593	0.2%	81	119	0.1%	112	69	0.6%	103	118,922	25
1903 熱傷及び腐食	2,205,373	0.0%	105	142	0.1%	109	65	0.5%	104	33,929	62
1904 中毒	651,301	0.0%	113	248	0.1%	104	94	0.8%	96	6,929	114
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	61,865,165	1.3%	20	4,309	2.1%	42	1,540	12.9%	24	40,172	55
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	10,408,762	0.2%		7,506	3.6%		869	7.3%		11,978	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	276,434	0.0%	117	44	0.0%	114	19	0.2%	113	14,549	94
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	4,639,104,340	208,414	11,926

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを除外)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	10,132,328	0.2%	73	7,462	3.6%	29	851	7.1%	42	11,906	104
XXII. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		1,122,664	0.0%		861	0.4%		140	1.2%		8,019	
9999	分類外	1,122,664	0.0%	111	861	0.4%	81	140	1.2%	87	8,019	110

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

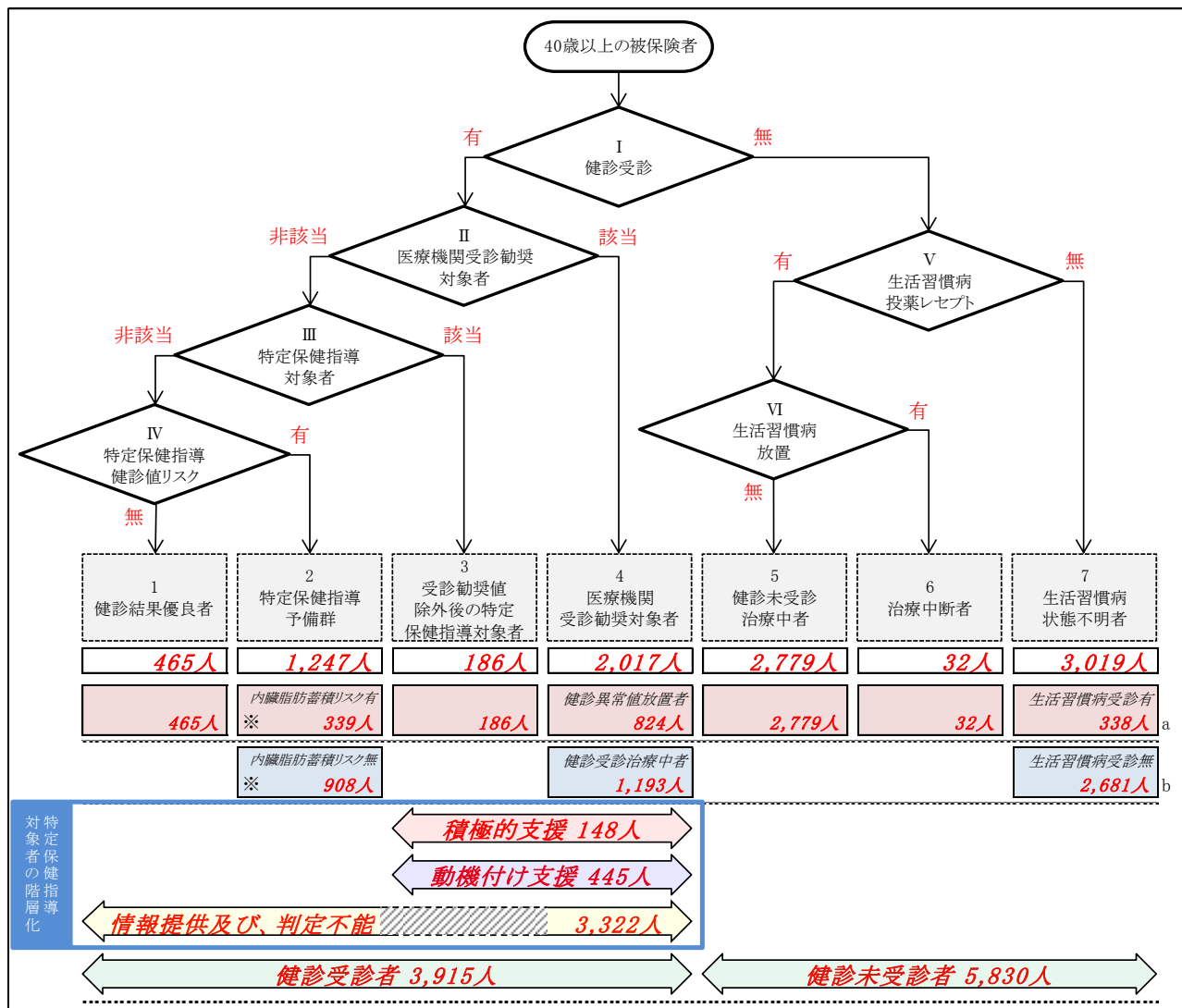
### 3. 保健事業実施に係る分析結果

#### (1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は、特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12か月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

各フローの詳細については巻末資料「1. 指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。

※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

## (2) 特定健康診査に係る分析

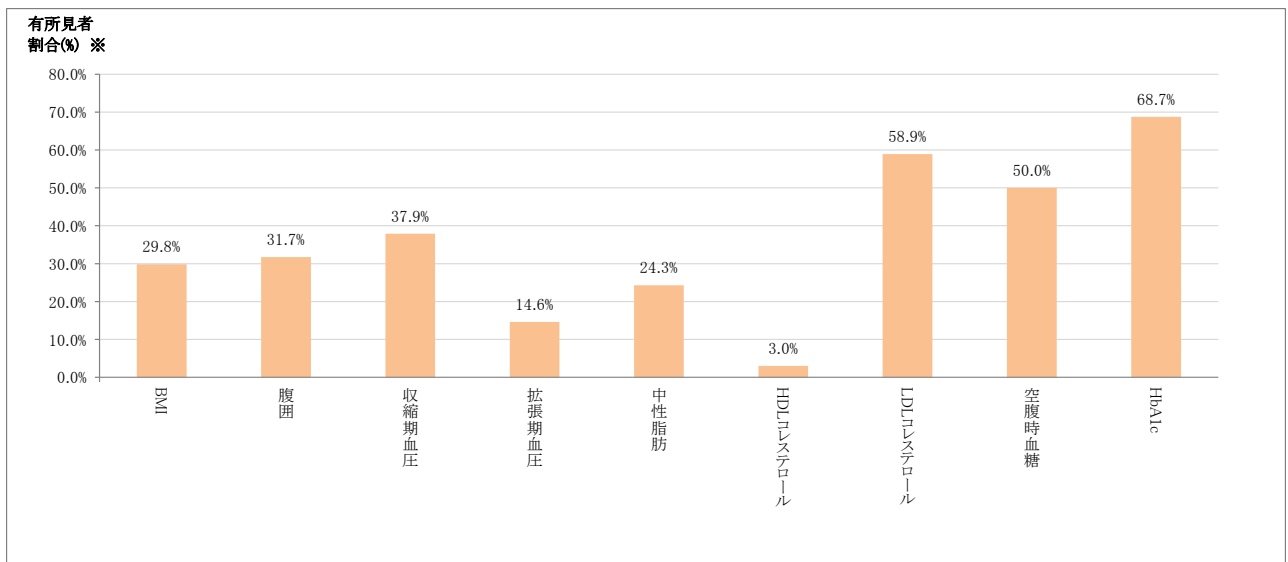
特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を以下に示す。

### 有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	3,914	3,915	3,915	3,915
有所見者数(人) ※	1,168	1,242	1,484	571
有所見者割合(%) ※	29.8%	31.7%	37.9%	14.6%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	3,915	3,915	3,915	8	3,910
有所見者数(人) ※	950	118	2,306	4	2,688
有所見者割合(%) ※	24.3%	3.0%	58.9%	50.0%	68.7%

### 有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12か月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、

空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

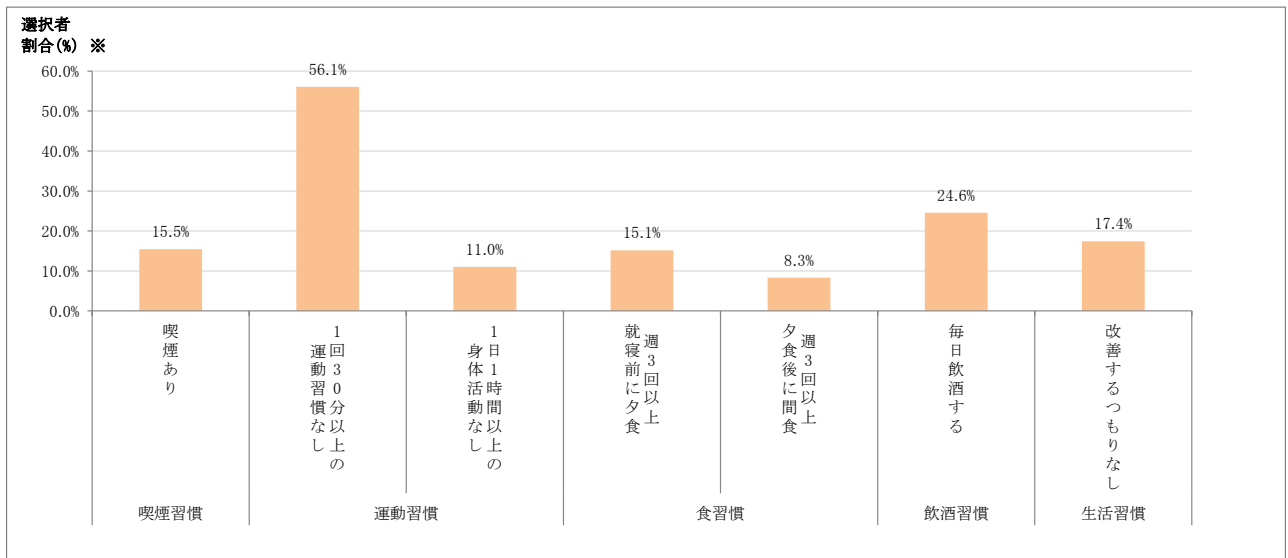


## 質問別回答状況

質問の選択肢	喫煙習慣	運動習慣	
	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	3,915	3,914	3,914
選択者数(人) ※	605	2,194	431
選択者割合(%) ※	15.5%	56.1%	11.0%

質問の選択肢	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	3,914	3,912	3,912	3,910
選択者数(人) ※	592	325	962	681
選択者割合(%) ※	15.1%	8.3%	24.6%	17.4%

## 質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12か月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

### 質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

### (3) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は593人である。このうち、積極的支援の対象者は148人、動機付け支援の対象者は445人である。

#### 特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			593人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	11人	148人 25%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	37人	
	●	●		●		血糖＋血圧＋喫煙	7人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	16人	
		●	●	●		血圧＋脂質＋喫煙	7人	
	●	●			因子数2	血糖＋血圧	19人	
	●		●			血糖＋脂質	21人	
	●			●		血圧＋脂質	5人	
		●		●		血糖＋喫煙	11人	
			●	●		血圧＋喫煙	4人	
	●			●	因子数1	脂質＋喫煙	10人	
		●				血糖	0人	
			●			血圧	0人	
			●	脂質	0人			
				喫煙	0人			
				因子数0	なし	0人		
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	21人	445人 75%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	33人	
	●	●		●		血糖＋血圧＋喫煙	8人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	13人	
		●	●	●		血圧＋脂質＋喫煙	1人	
	●	●			因子数2	血糖＋血圧	82人	
	●		●			血糖＋脂質	53人	
	●			●		血圧＋脂質	12人	
		●		●		血糖＋喫煙	15人	
			●	●		血圧＋喫煙	4人	
	●			●	因子数1	脂質＋喫煙	4人	
		●				血糖	129人	
			●			血圧	41人	
			●	脂質	29人			
				喫煙	0人			
				因子数0	なし	0人		

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12か月分)。

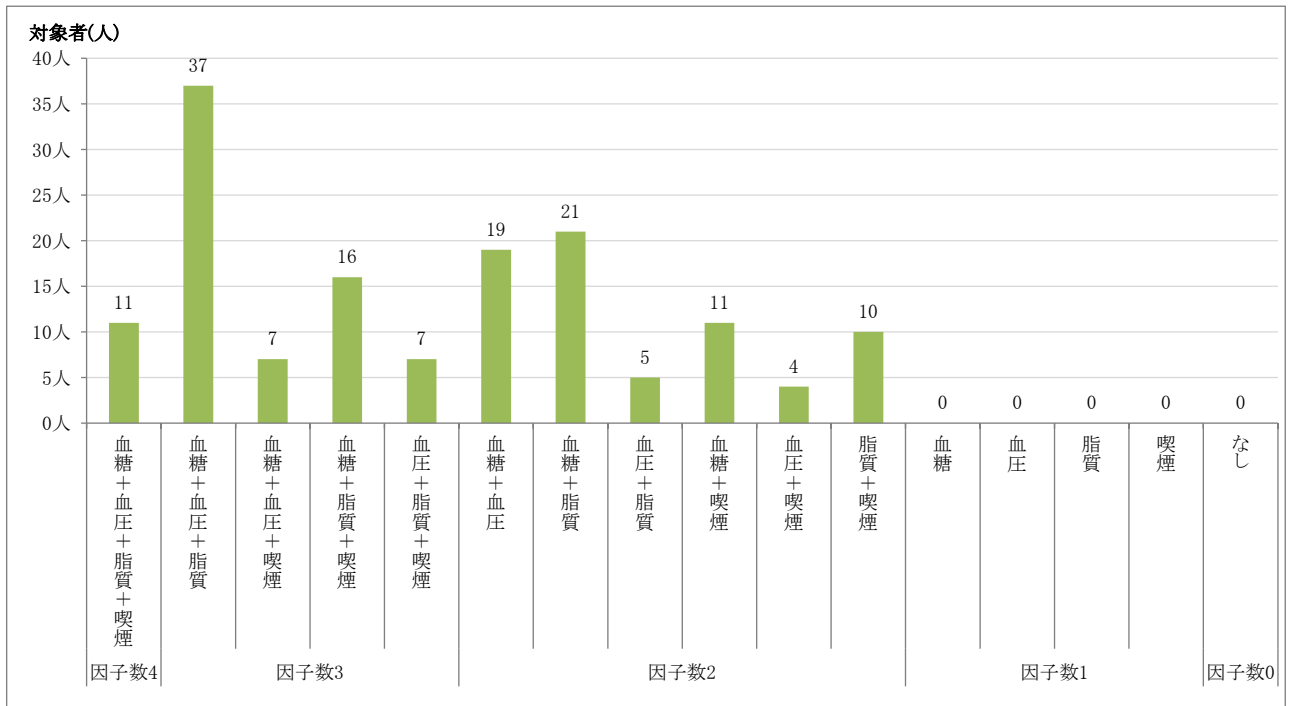
資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が特定保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

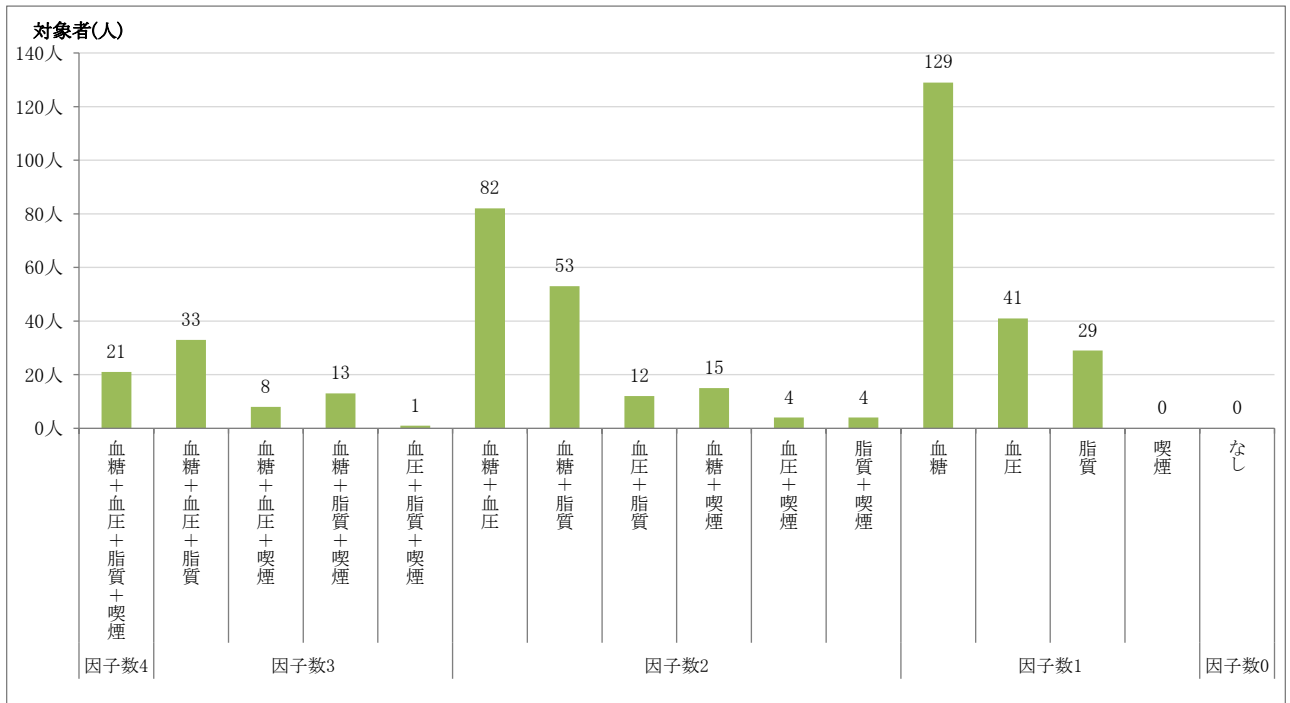
- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

## 積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12か月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

## 動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12か月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

#### (4) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、69.1%が生活習慣を起因とするものであり、また、糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

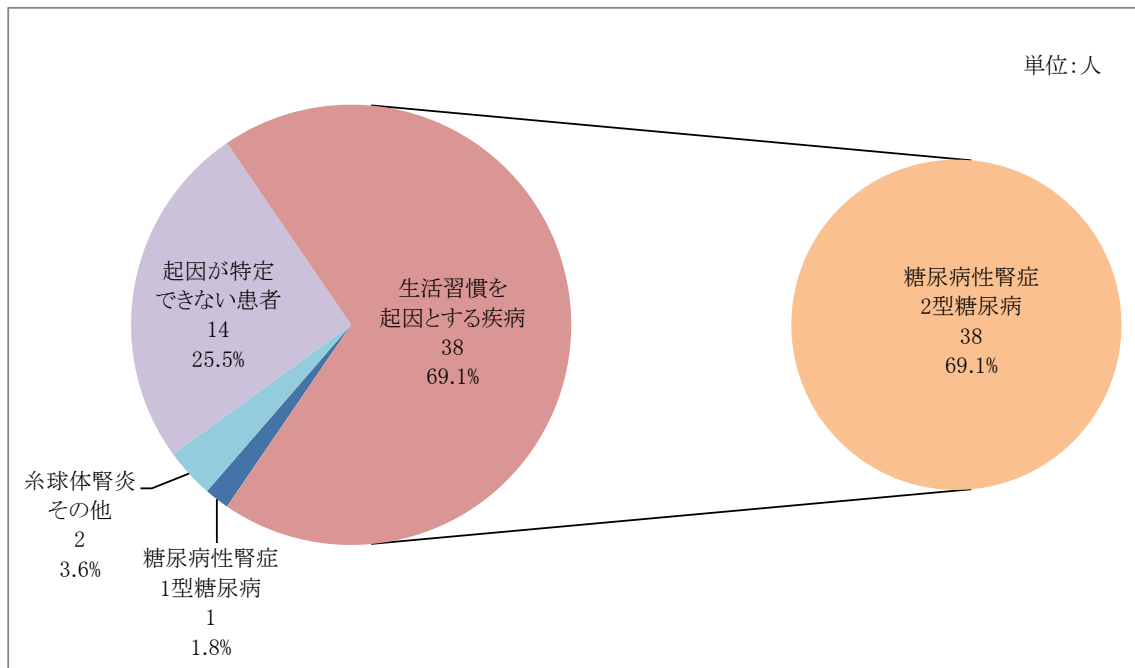
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	54
腹膜透析のみ	1
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	55

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

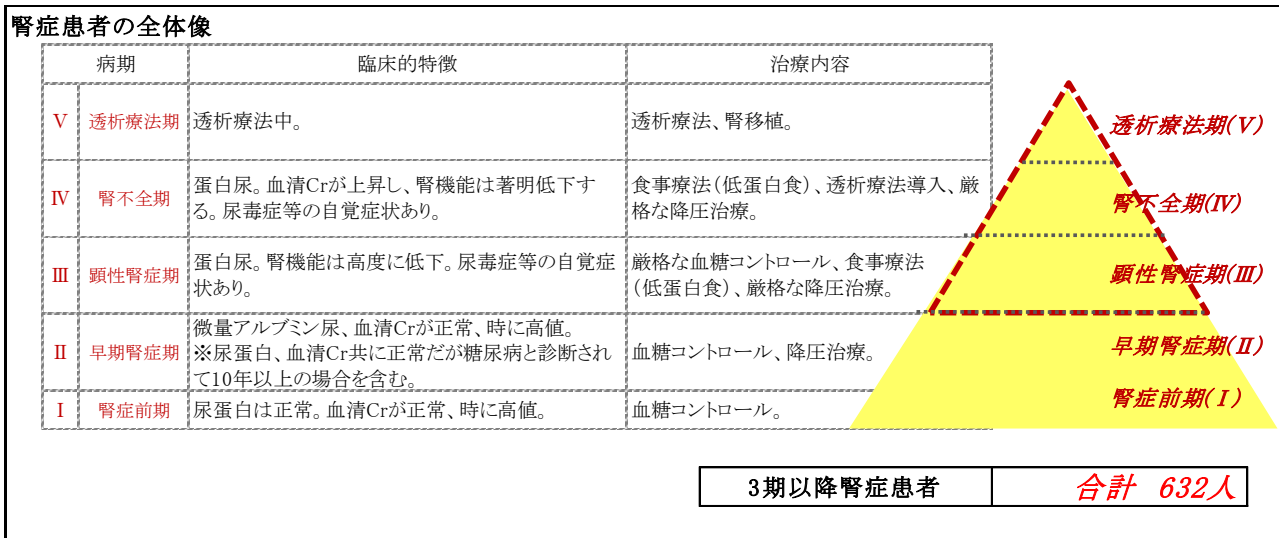
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析と指導対象者適合分析」「2型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者632人中136人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

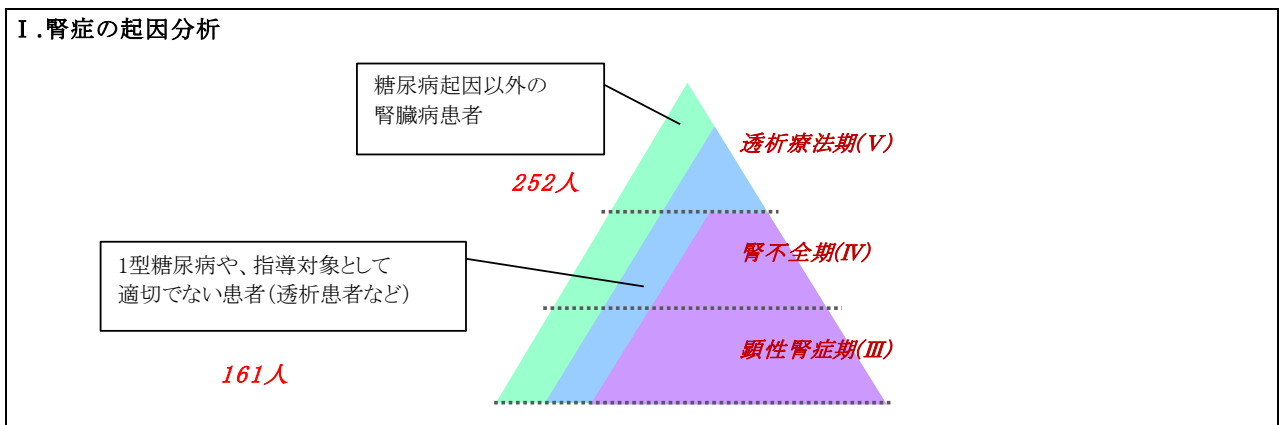
## 腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

「腎症の起因分析と指導対象者適合分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、252人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、161人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

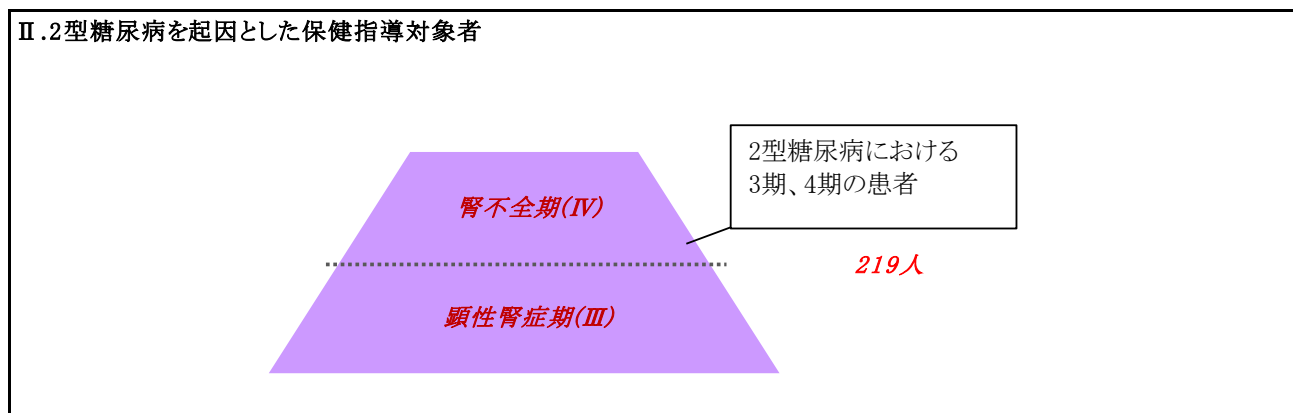
## 腎症の起因分析と指導対象者適合分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、「2型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は、合わせて219人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

## 2型糖尿病を起因とした保健指導対象者

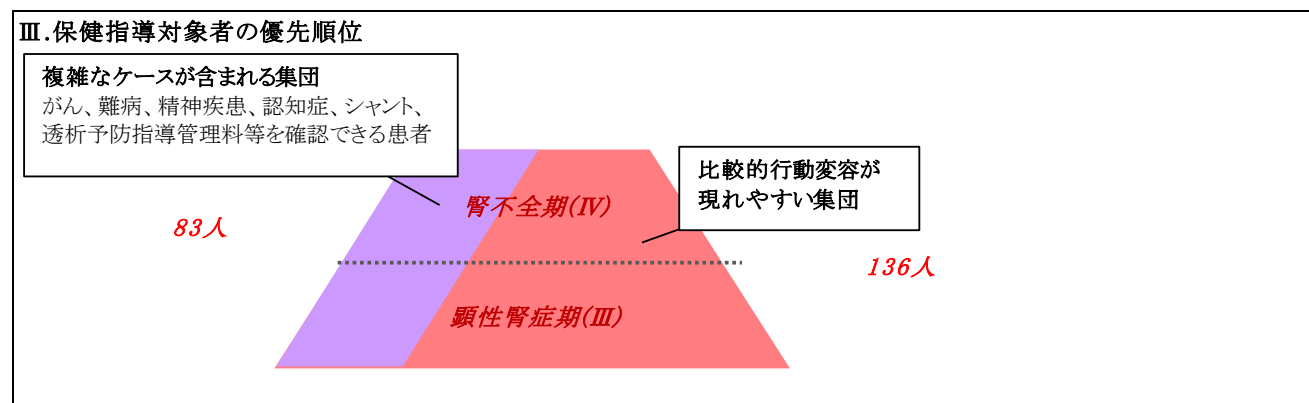


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。219人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、83人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、136人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

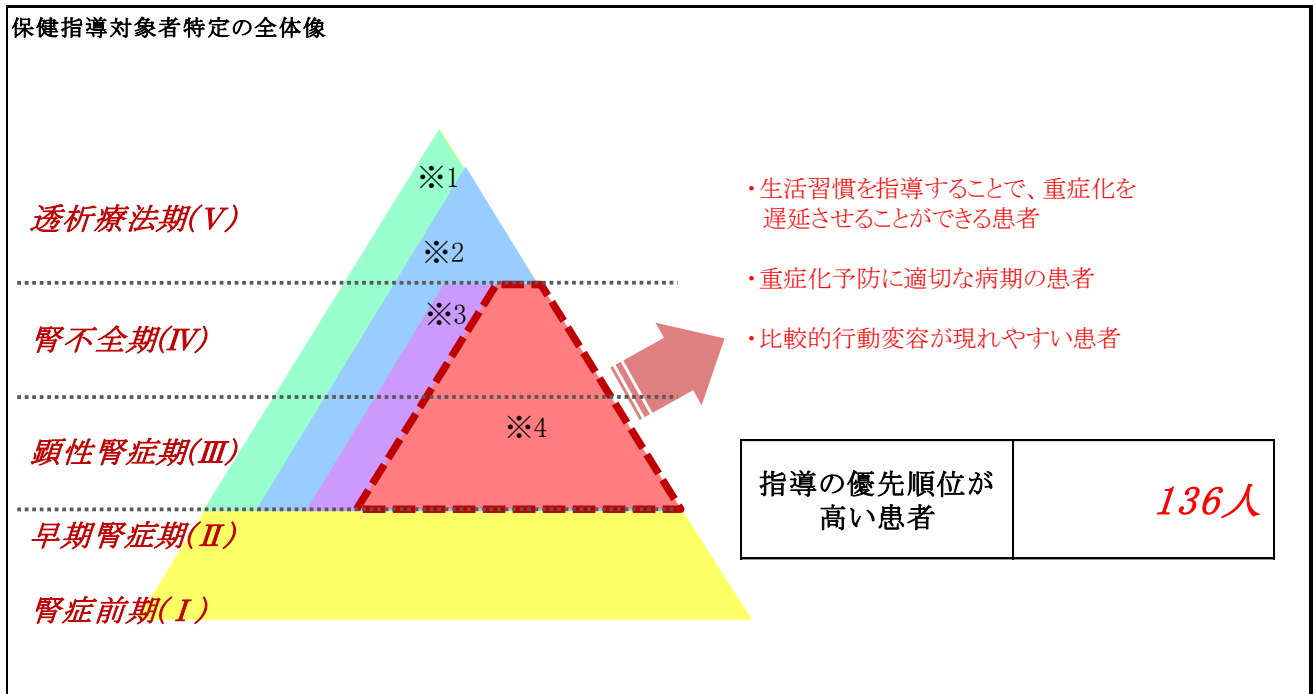
## 保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析と指導対象者適合分析」「2型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、136人となった。この分析の全体像を以下に示す。

### 保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…1型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

## (5) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。

平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)のレセプトデータを用いて分析した、指導対象者数の分析結果は以下の通りである。

「重複受診者」…1か月間に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している人。

「頻回受診者」…1か月間に同一の医療機関に一定回数以上受診している人。

「重複服薬者」…1か月間に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の人。

### 重複受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複受診者数(人) ※	13	10	12	7	10	10	12	14	9	11	5	8
12か月間の延べ人数											121	
12か月間の実人数											92	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複受診者数…1か月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

### 頻回受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
頻回受診者数(人) ※	50	45	57	56	44	45	48	46	48	36	43	46
12か月間の延べ人数											564	
12か月間の実人数											164	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※頻回受診者数…1か月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

### 重複服薬者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複服薬者数(人) ※	62	48	46	52	51	53	48	51	58	63	62	65
12か月間の延べ人数											659	
12か月間の実人数											315	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複服薬者数…1か月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。



分析結果より、12か月間で重複受診者は92人、頻回受診者は164人、重複服薬者は315人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため、前述の分析結果より患者数は減少する。

### 条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I.条件設定による指導対象者の特定	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・重複受診患者 …1か月間で同系の疾病を理由に<b>3医療機関以上</b>受診している患者</li> <li>・頻回受診患者 …1か月間で<b>同一医療機関に12回以上</b>受診している患者</li> <li>・重複服薬者 …1か月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、<b>同系医薬品の日数合計が60日を超える</b>患者</li> </ul>	
条件設定により候補者となった患者数	<b>526 人</b>

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

### 除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II.除外設定		除外理由別 人数	合計人数 (実人数)
除外①	最新被保険者データで資格喪失している患者	<b>0 人</b>	<b>383 人</b>
除外②	がん、難病等 ※	<b>383 人</b>	
除外患者を除き、候補者となった患者数		<b>143 人</b>	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。  
※疑い病名を含む。

次に、残る対象者143人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から、6か月間遡ったレセプトのうち、5～6か月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先する。結果、以下の通り、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは16人となった。

### 優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ. 優先順位				
↑ 高 効果 ↓ 低	最新6か月レセプトのうち 5～6か月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A  7人	候補者C  0人	候補者 と し な い  127人
	最新6か月レセプトのうち 3～4か月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B  5人	候補者D  1人	
	最新6か月レセプトのうち 2か月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2か月レセに該当)	候補者E  3人	候補者F  0人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			
		60歳以上	50～59歳	50歳未満
←良 効率 悪→				
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数			16人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

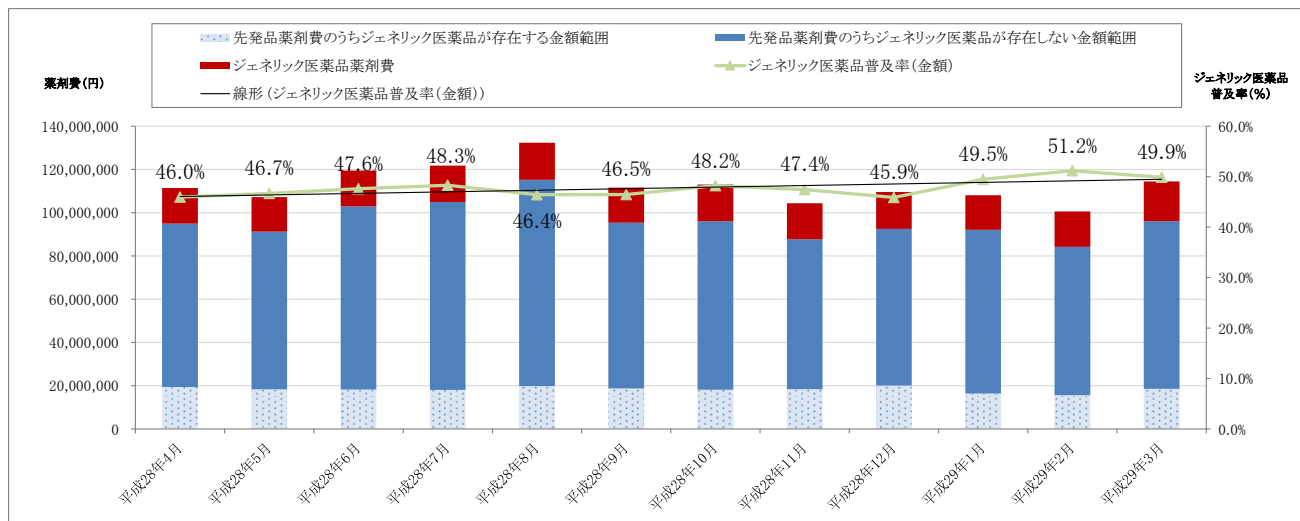
資格確認日…平成29年3月31日時点。

## (6) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し、薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは、複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下に平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。平成29年3月現在、ジェネリック医薬品普及率は49.9%(金額ベース)、74.5%(数量ベース)である。

### ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

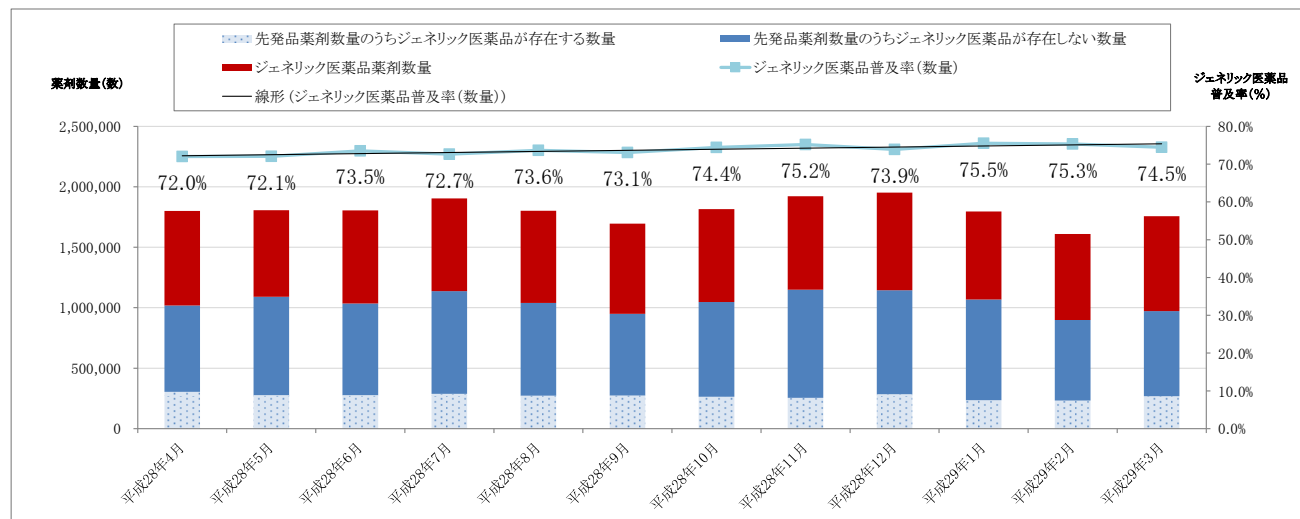


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

### ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



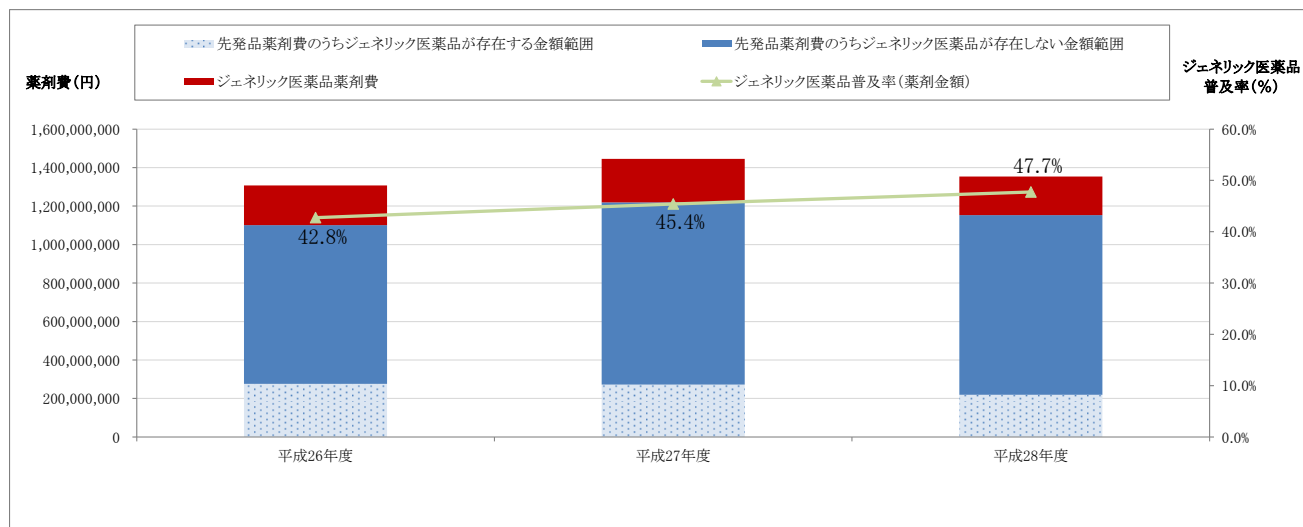
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

平成26年度から平成28年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示す。平成28年度ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)47.7%は、平成26年度42.8%より4.9ポイント上昇しており、平成28年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)73.8%は、平成26年度65.6%より8.2ポイント上昇している。

### 年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

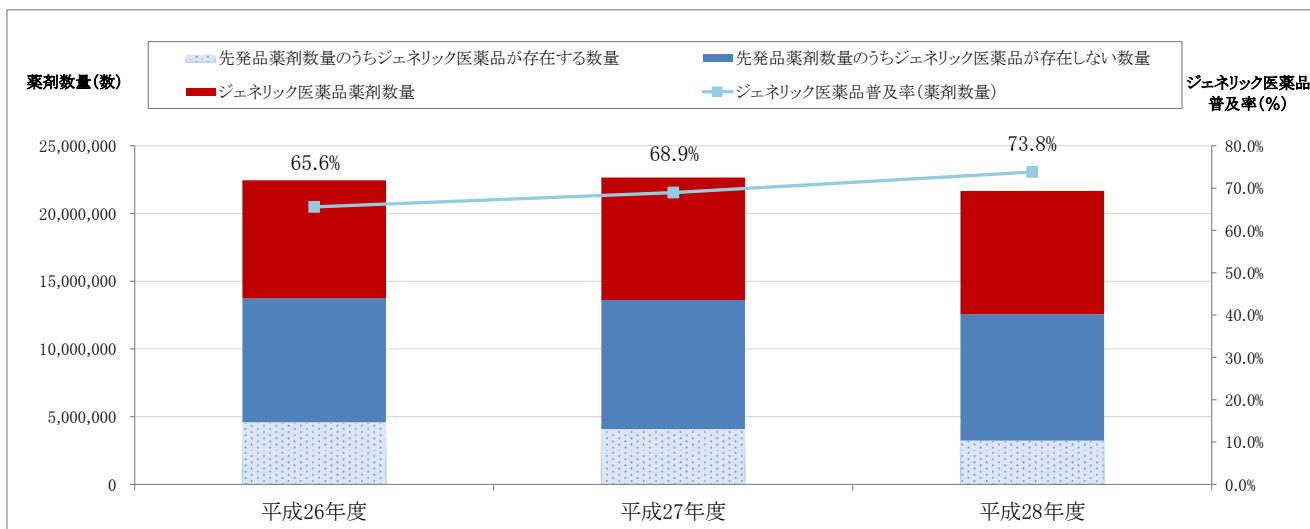


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

### 年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



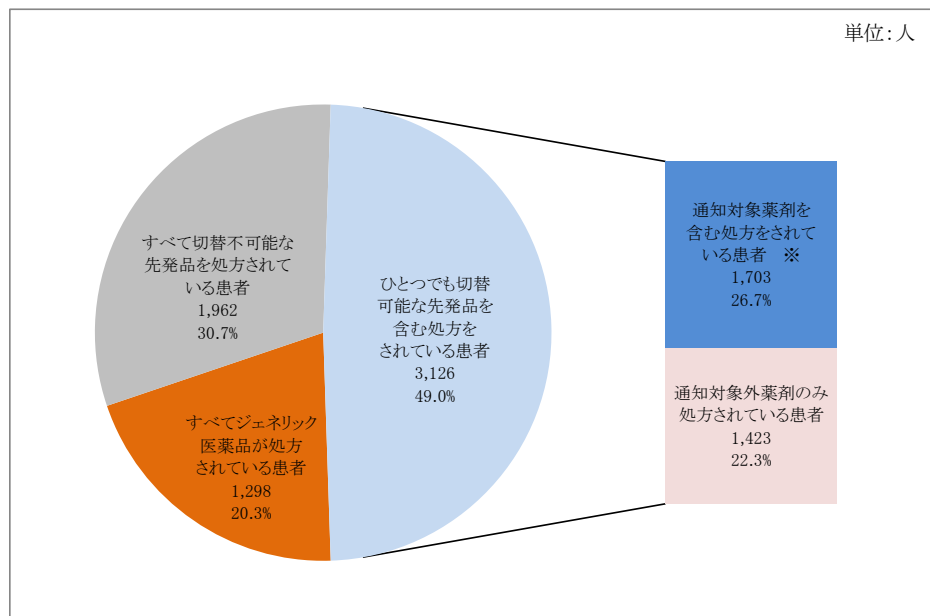
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、平成29年3月診療分のレセプトにおける、薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は6,386人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は3,126人で、患者数全体の49.0%を占める。さらにこのうち通知対象薬剤のみに絞り込むと、1,703人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、全体の26.7%となる。

## 薬剤処方状況別患者数



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月診療分(1か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方ものは含まない。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

## (7) 薬剤併用禁忌に係る分析

薬剤の相互作用は、効果の増強または減弱、副作用などを生じさせ、時に患者に重大な影響を与える可能性がある。通常、薬剤師がお薬手帳等で薬剤の相互作用等を確認するが、患者がお薬手帳を持たず、さらに、処方箋発行医療機関と処方する調剤薬局も異なる場合、すでに処方された薬剤と新たに処方される薬剤とで併用禁忌の状態になる可能性がある。

平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)の対象者延べ人数は505人、実人数は299人である。

### 薬剤併用禁忌対象者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
薬剤併用禁忌対象者数(人) ※	26	36	39	32	26	33	56	48	60	49	55	45
12か月間の延べ人数											505	
12か月間の実人数											299	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※薬剤併用禁忌対象者…1か月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

主な併用禁忌の組み合わせを以下に示す。

薬剤併用禁忌 医薬品リスト

実人数(人)	299
件数合計(件)	703

No.	(A) 剤型名	(A) 医薬品 コード	(A) 医薬品名	(B) 剤型名	(B) 医薬品 コード	(B) 医薬品名	件数
1	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	90
2	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	53
3	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	42
4	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	27
5	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620161001	マロキナ配合顆粒	24
6	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	20
7	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	621558101	SG配合顆粒	17
8	内服	611170064	オーラップ錠1mg	内服	610453151	レボトミン錠25mg	15
9	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	610453064	セレネース錠1.5mg	15
10	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	611170521	トロペロン錠3mg	15
11	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	610463222	レボトミン散50%	15
12	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	14
13	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	620005613	リスベリドン錠1mg「ヨシトミ」	13
14	外用	620518102	ボスマン外用液0.1%	外用	621950801	シムピコートタービュヘイラー60吸入	13
15	内服	622028301	インヴェガ錠6mg	内服	621975402	リスベリドン内用液1mg/mL「MEEK」0.1%	12
16	内服	620005364	エフビーOD錠2.5 2.5mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	12
17	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160701	セラピナ配合顆粒	10
18	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	9
19	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620160501	PL配合顆粒	9
20	内服	620006067	バルネチール細粒50%	内服	620002885	ロキシマイン錠150mg	9
21	外用	620518102	ボスマン外用液0.1%	外用	620004234	ソプロテロールテープ2mg「HMT」	9
22	外用	620518102	ボスマン外用液0.1%	外用	660421117	ホクナリンテープ2mg	9
23	外用	620518102	ボスマン外用液0.1%	外用	620004835	メプチン吸入液0.01%	9
24	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	8
25	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	7
26	内服	620006067	バルネチール細粒50%	内服	611170050	ウインダミン細粒(10%)	7
27	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	620005626	リスベリドン錠2mg「ヨシトミ」	7
28	外用	620518102	ボスマン外用液0.1%	外用	620004232	ソプロテロールテープ1mg「日医工」	7
29	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	621558101	SG配合顆粒	6
30	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160501	PL配合顆粒	6
31	内服	620006067	バルネチール細粒50%	内服	621805602	リスベリドン細粒1%「ファイザー」	6
32	外用	620518102	ボスマン外用液0.1%	外用	622375601	レルベア200エリプタ30吸入	6
33	内服	621522601	アセトアミノフェン錠200mg「テバ」	内服	620160501	PL配合顆粒	5
34	内服	620006771	アマージ錠2.5mg	内服	621499601	クリアミン配合錠A1.0	5
35	内服	622028401	インヴェガ錠9mg	内服	621975402	リスベリドン内用液1mg/mL「MEEK」0.1%	5
36	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	5
37	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	611170050	ウインダミン細粒(10%)	5
38	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	610453152	レボトミン錠50mg	5
39	外用	620518102	ボスマン外用液0.1%	外用	620008998	サルタノールインヘラー100μg 0.16%13.5mL	5
40	外用	620518102	ボスマン外用液0.1%	外用	620004237	ソプロテロールテープ2mg「日医工」	5
41	内服	621522601	アセトアミノフェン錠200mg「テバ」	内服	620160701	セラピナ配合顆粒	4
42	内服	620002038	コカール錠200mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	4
43	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	4
44	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	621975402	リスベリドン内用液1mg/mL「MEEK」0.1%	4
45	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	4
46	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	内服	622081101	トラムセット配合錠	4
47	外用	620518102	ボスマン外用液0.1%	外用	660421116	ホクナリンテープ1mg	4
48	内服	620002022	カロナール細粒20%	内服	620160501	PL配合顆粒	3
49	内服	620160601	サラザック配合顆粒	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	3
50	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	622494101	オランザピンOD錠10mg「ファイザー」	3

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リストは51件以上省略。

## 4. 分析結果に基づく健康課題の把握

### (1) 分析結果

平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)における分析結果を以下に示す。

#### 【疾病大分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	循環器系の疾患	715,481,941円
2位	新生物<腫瘍>	666,394,276円
3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	530,617,044円

患者数が多い疾病		患者数
1位	呼吸器系の疾患	6,381人
2位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	6,093人
3位	消化器系の疾患	6,013人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	周産期に発生した病態	494,671円
2位	精神及び行動の障害	254,353円
3位	妊娠, 分娩及び産じょく	221,631円

#### 【疾病中分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	糖尿病	261,729,290円
2位	高血圧性疾患	254,889,884円
3位	その他の悪性新生物<腫瘍>	244,035,413円

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	4,576人
2位	屈折及び調節の障害	4,087人
3位	その他の消化器系の疾患	4,026人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	妊娠及び胎児発育に関連する障害	870,438円
2位	腎不全	823,512円
3位	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	659,224円



### 【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	1,412件
高額レセプト件数割合	0.7%
高額レセプト医療費割合	31.5%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)		患者一人当たりの医療費
1位	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	16,363,343円
2位	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	6,784,880円
3位	慢性閉塞性肺疾患	6,489,010円

### 【糖尿病性腎症発症者の状況】

人工透析患者	55人
(2型糖尿病起因患者)	38人

### 【医療機関受診状況】

重複受診者	92人
頻回受診者	164人
重複服薬者	315人

※平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)期間中の実人数

### 【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

ジェネリック医薬品普及率	73.8%
--------------	-------

### 【薬剤併用禁忌の発生状況】

薬剤併用禁忌対象者	299人
-----------	------

平成26年度から平成28年度における疾病分類別の順位、高額レセプトの件数と割合等を年度別に示す。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病			医療費
平成26年度	1位	循環器系の疾患	844,466,058円
	2位	新生物<腫瘍>	677,540,039円
	3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	494,751,606円
平成27年度	1位	循環器系の疾患	820,078,140円
	2位	新生物<腫瘍>	686,030,983円
	3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	504,379,884円
平成28年度	1位	循環器系の疾患	715,481,941円
	2位	新生物<腫瘍>	666,394,276円
	3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	530,617,044円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病			医療費
平成26年度	1位	高血圧性疾患	297,674,872円
	2位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	262,328,633円
	3位	糖尿病	260,450,747円
平成27年度	1位	高血圧性疾患	273,810,740円
	2位	糖尿病	259,347,537円
	3位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	243,951,284円
平成28年度	1位	糖尿病	261,729,290円
	2位	高血圧性疾患	254,889,884円
	3位	その他の悪性新生物<腫瘍>	244,035,413円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

平成 26 年度	高額レセプト件数	1,475件
	高額レセプト件数割合	0.7%
	高額レセプト医療費割合	29.1%
平成 27 年度	高額レセプト件数	1,571件
	高額レセプト件数割合	0.7%
	高額レセプト医療費割合	31.9%
平成 28 年度	高額レセプト件数	1,412件
	高額レセプト件数割合	0.7%
	高額レセプト医療費割合	31.5%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者数順(中分類)			患者数	患者一人当たりの 医療費
平成 26 年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	52人	2,957,662円
	2位	その他の心疾患	37人	3,098,918円
	3位	腎不全	34人	5,535,515円
平成 27 年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	70人	3,359,535円
	2位	骨折	39人	1,992,353円
	3位	腎不全	38人	5,720,516円
平成 28 年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	67人	3,390,895円
	2位	その他の心疾患	37人	3,268,918円
	3位	その他の消化器系の疾患	32人	1,725,437円

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース(新指標)】

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
ジェネリック医薬品 普及率	65.6%	68.9%	73.8%

## (2) 分析結果に基づく課題とその対策

### 分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
<p>◆特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率            疾病の分類において生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額である。特定健康診査の受診率向上を図り、必要な人に対する特定保健指導の実施率を上げ、生活習慣病を予防する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査事業</li> <li>・特定健康診査未受診者対策事業</li> <li>・特定保健指導事業</li> <li>・人間ドック・脳ドック費用助成事業</li> </ul>
<p>◆悪性新生物            疾病の分類における医療費が高い疾病として、悪性新生物があげられる。各種がん検診を行い、がんの早期発見、早期治療を行うことにより悪化を防ぎ、医療費の抑制ができると考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種がん検診事業</li> <li>・人間ドック・脳ドック費用助成事業</li> </ul>
<p>◆糖尿病性腎症            人工透析患者のうち2型糖尿病起因の患者が存在する。糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になる。そこで、早期に保健指導を行い、生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることができると考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病性腎症重症化予防事業</li> </ul>
<p>◆重複・頻回受診者、重複服薬者            重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在し、それらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診行動適正化指導事業</li> </ul>
<p>◆ジェネリック医薬品の普及率            ジェネリック医薬品の普及率は年々上昇している。国が定める目標(平成32年9月までに80%以上)を達成するため、さらなる切り替え勧奨を行う必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェネリック医薬品差額通知事業</li> </ul>
<p>◆薬剤併用禁忌            多数の薬剤併用禁忌対象者が存在する。お薬手帳の活用を促し、併用禁忌となる薬剤の処方を防止する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤併用禁忌防止事業</li> </ul>



## 第1節 第2期データヘルス計画

### 1. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)

#### (1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況

第1期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況を以下に示す。

実施年度	事業名	事業目的	事業概要
平成27年度から平成29年度	特定健康診査未受診者対策事業	特定健康診査の受診率向上	特定健康診査(集団健診)を受診していないものを対象者とし、特定健康診査の受診を促す。
平成27年度から平成29年度	特定保健指導事業	生活習慣病該当者及び予備群の減少	特定健康診査、人間ドックの結果から対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように専門職より対象者に6か月間の面接指導と電話指導を行う。
平成27年度から平成29年度	がん検診事業(国保助成事業)	がん検診の受診率向上、二次予防の促進、がんに対する理解と検診の重要性についての普及啓発	がん検診未受診者への受診勧奨、各種がん検診の自己負担額の助成、二次予防促進のための精密検査受診の個別勧奨、がんに対する理解と検診の重要性についての普及啓発。
平成27年度から平成29年度	人間ドック・脳ドック助成事業	特定健康診査受診率の向上、異常の早期発見	40, 45, 50, 55, 60歳の人を対象とし、人間ドック・脳ドック費用の助成を行う。また、受診した人で要治療、要再検となった人に対し受診後アンケートを行う。
平成28年度から平成29年度	糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病性腎症患者の病期進行阻止	①特定健康診査の結果から糖尿病性腎症の可能性のある人を抽出する。そのうち、医療管理のない人に対し、医療機関への受診勧奨を行う。 ②特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6か月間の面接指導と電話指導を行う。
平成27年度から平成29年度	受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)	重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少	レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また、重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療の掛かり方についてパンフレットを送付し、改善されない場合、専門職による指導を行う。
平成27年度から平成29年度	薬剤併用禁忌防止事業	薬剤併用禁忌の発生件数減少	レセプトデータから、薬剤併用禁忌の発生状況を把握する。薬剤併用禁忌の対象者リストを作成し、医療機関へ情報提供を行う。
平成27年度から平成29年度	ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付し、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

5:目標達成  
 4:改善している  
 3:横ばい  
 2:悪化している  
 1:評価できない

実施内容	目標値(平成29年度末)	達成状況 (平成28年度時点)	評価
集団健診未受診者を対象とし、前年のレセプト分析をもとに作成した2種類のチラシを、未受診者の状況に合わせ申込書に同封し、受診勧奨を行うとともに、追加健診を実施した。	通知率 100%	通知率 100%	5
	受診率 60%	受診率 7.2%	2
指導対象者に対し、文書やハガキ、専門職による電話等で勧奨を行っている。	生活習慣改善率 50%	改善率 40.8%	3
	対象者数 10%減少	増減率 18.9%増	2
全世帯に申込書を送付するとともに、自己負担の助成を行った。さらに、胃がん検診を受診していない人に対し、再勧奨と追加検診を行った。また、リーフレットを送付し受診勧奨を行った。	各がん検診受診率 70%以上	最高受診率 54.3% (胃がん)	4
	精密検査受診率 100%	最高受診率 93.1% (肺がん)	4
	がん死亡率 全国平均以下	—	1
対象者に対し、助成案内通知を送付した。また、要治療、要再検となった人に対し、二次検査を受けたかアンケート行い、希望があれば個別に健康相談を行った。	人間ドック受診率 33.9%以上 (受診率H25年度比 5ポイント向上)	受診率 28.1%	2
	脳ドック助成事業の周知	周知率 100%	5
①医療機関未受診者に対し、文書や専門職による電話、訪問等で医療機関への受診勧奨を行った。 ②指導対象者に対し、適切な保健指導を行った。健診結果、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認した。	指導実施率 15%以上	指導実施率 6.4%	3
	重症化阻止率 75%以上	—	1
	人工透析患者数の減少	患者数 10人増	2
受診行動要注意者(入眠剤の重複処方等)に対し、パンフレットを送付した。また、その後も行動に改善が見られない人に対し、適切な保健指導を行い、指導後に医療機関への受診行動が適正化されているか確認した。	指導実施率 20%	実施率 20%	5
	受診行動適正化率 50%	適正化率 20%	3
	指導完了者の医療費削減率 50%	削減率 6.1%	3
	対象者数減少率 20%	減少率 0.7%	3
広報「国民健康保険・後期高齢者医療特集号」に、お薬手帳の活用について記載した。	薬剤併用禁忌割合減少率 10%	減少率 44.1%	5
	健康被害 0%	健康被害 0%	5
年6回、対象者に対し、通知を送付した。対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し継続を検討した。	通知率 100%	通知率 100%	5
	普及率(数量ベース) 65%	普及率 68.8%	5

## (2) 第1期データヘルス計画の各事業実施内容

第1期データヘルス計画等に基づき実施した事業の詳細は以下の通りである。

### ① 特定健康診査未受診者対策事業

【実施年度】 平成27年度から平成29年度

【事業目的】 特定健康診査の受診率向上

【事業概要】 特定健康診査(集団健診)を受診していないものを対象者とし、特定健康診査の受診を促す。

【実施内容】 対象者に対し、前年のレセプト分析をもとに作成した2種類のチラシを対象者の状況に合わせて申込書に同封し、受診勧奨を行うとともに、追加健診(個別健診)を実施した。

【目標値】 ※平成29年度末達成目標

- ・ 対象者への通知率 100%
- ・ 受診率 60%

※受診勧奨を実施することにより、通知後、医療機関へ受診した人数の割合。

### 【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
対象者への通知率(%)	100%	100%	100%
受診率(%)	9.0%	7.2%	—
治療中(対象者数)	9.5%(2,760人)	9.5%(2,760人)	—
治療中断者(対象者数)	6.3%(48人)	6.3%(48人)	—
未受診者(対象者数)	8.7%(3,699人)	8.7%(3,699人)	—

※「治療中」とは、生活習慣病の治療を行っている人。

【考察】 平成28年度の受診率は7.2%であり、目標値より大きく下回っている。そこで、平成29年度は、同封チラシの内容精査や追加健診実施期間等の見直しを行った。今後も引き続き実施内容の検討を重ね、受診率の向上を目指す。

また、未受診者のうち約3割が治療中の人である。追加健診(個別健診)では健診実施医療機関を選べるため、公益社団法人宮城県塩釜医師会協力のもと、医師への事業周知、医師からの受診勧奨により、治療中の人でも健診が必要であることの周知を行う。

さらに、特定健康診査の受診率向上だけでなく、特定健康診査の結果に対するフォローアップも重要であることから、健康相談等の周知・普及を行う。



## ②特定保健指導事業

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】生活習慣病該当者及び予備群の減少

【事業概要】特定健康診査の検査値から対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように専門職より対象者に6か月間の面接指導と電話指導を行う。

【実施内容】指導対象者に対し、文書やハガキ、専門職による電話等で勧奨を行った。

【目標値】 ※平成29年度末達成目標

- ・指導対象者の生活改善率 50% ※
- ・積極的支援及び動機付け支援対象者数 10%減少

※特定保健指導を実施することにより、指導前と指導後で生活習慣が改善された人数の割合

### 【達成状況】

		平成26年度 (参考)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
生活習慣改善率(%)		—	48.7%	40.8%	—
積極的支援及び動機 付け支援対象者数※	増減率(%) (平成26年度比)	—	24.5%	18.9%	—
	支援対象者数(人)	502人	625人	597人	—

※対象者数等は法定報告数値を使用。

【考察】平成27年度の生活習慣改善率は48.7%となっており、目標を1.3ポイント下回っている。生活習慣は改善されているが、腹囲や体重等の数値の改善率が低くなっている。平成28年度の生活習慣改善率は40.8%となっており目標を9.2ポイント下回っている。腹囲や体重等の数値の改善率が低いとともに、生活習慣である運動習慣の改善率も低くなっている。各年度で対象者が異なるため、その対象者に応じた個別性のある保健指導を行う。

平成28年度の支援対象者数は597人であり、平成26年度の支援対象者数から18.9%増加している。対象者数は特定健康診査の受診者数にも左右されるため、目標値の見直しを行うとともに、国保主管課と衛生部門との連携を図り、健康講座・健康づくり教室等の周知・普及を通して健康意識の向上に努め、支援対象数の減少を目指す。

### ③がん検診事業(国保助成事業)

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】がん検診の受診率向上、二次予防の促進、がんに対する理解と検診の重要性についての普及啓発

【事業概要】がん検診未受診者への受診勧奨、各種がん検診の自己負担額の助成、二次予防促進のための個別勧奨(通知・電話・訪問)、がんに対する理解と検診の重要性についての普及啓発。

【実施内容】がん検診を受診しやすいよう各種がん検診の申込書を全世帯に送付するとともに、自己負担額の助成を行った。胃がん検診を受診していない人に対し、再勧奨を行うとともに。追加検診を行った。がん検診の結果、精密検査となった人で再検査を受けていない人に対し、電話で受診勧奨を行った。普及啓発を行うために、受診票を送付する際、リーフレットを同封した。

#### 【目標値】

評価指標		基準値 (平成25年度)	目標値 (平成34年)
がん検診受診率	胃がん	27.7%	70%以上
	大腸がん	49.9%	70%以上
	肺がん	46.8%	70%以上
	乳がん	55.3%	70%以上
	子宮がん	39.6%	70%以上
精密検査受診率	胃がん	93.9%	100%
	大腸がん	81.2%	100%
	肺がん	83.2%	100%
	乳がん	96.7%	100%
	子宮がん	90.2%	100%
がん死亡率(人口10万人対)		314.3	全国平均以下※

※平成25年度の全国平均は290.3。計画期間内で全国平均を下回る水準をめざす。

## 【達成状況】

評価指標		平成25年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
がん検診受診率	胃がん	27.7%	28.2%	28.4%	—
	大腸がん	49.9%	47.4%	45.5%	—
	肺がん	46.8%	47.5%	47.5%	—
	乳がん	55.3%	55.6%	54.3%	—
	子宮がん	39.6%	40.2%	39.6%	—
精密検査受診率	胃がん	93.9%	92.3%	88.0%	—
	大腸がん	81.2%	83.0%	81.6%	—
	肺がん	83.2%	88.7%	93.1%	—
	乳がん	96.7%	97.6%	—	—
	子宮がん	90.2%	97.0%	87.0%	—
がん死亡率(人口10万人対)		314.3	407.1	—	—

※平成28年度の全国平均は298.3。

【考察】 がん検診受診率について、平成28年度の最低受診率は胃がん検診の28.4%であり、目標値より41.6ポイント下回っている。最高受診率は乳がん検診の54.3%であり、目標値より15.7ポイント下回っている。現在、胃がん検診はバリウム検査のみで行っているため、胃カメラでも検診を受けられるようにする等、検診方法を検討する。

精密検査受診率について、平成28年度の最低受診率は大腸がん検診の81.6%であり、目標値より18.4ポイント下回っている。最高受診率は肺がん検診の93.1%であり、目標値より6.9ポイント下回っている。がんの早期発見の大切さについての講演会や広報等、がん検診の重要性について啓発に努める。

がん死亡率について、平成27年度の死亡率は407.1であり、平成25年度(基準値)より92.8ポイント上昇している。がん検診受診率、精密検査受診率を上げ、死亡率の減少に努める。

#### ④人間ドック・脳ドック助成事業

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】特定健康診査の受診率向上、異常の早期発見

【事業概要】40, 45, 50, 55, 60歳の人を対象とし、人間ドック・脳ドックの助成案内を行うとともに、特定健康診査の案内を同封し、受診率の向上をめざす。また、異常の早期発見を促す。

【実施内容】対象者に対し、助成案内通知を送付した。また、要治療、要再検となった人に対し二次検査を受けたかアンケートを行い、希望があれば個別に健康相談を行った。

#### 【目標値】

##### ①人間ドック

人間ドック対象者受診率を平成25年度比5ポイント向上(平成25年度28.9%)。

##### ②脳ドック

多くの被保険者が受診するよう、事業の周知徹底を行う。

#### 【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
人間ドック受診率(%)	30.4%	28.1%	27.0%
40歳	20.8%	22.9%	24.2%
45歳	24.3%	17.4%	18.8%
50歳	27.6%	26.7%	25.4%
55歳	31.0%	30.7%	25.7%
60歳	40.2%	37.3%	35.4%
脳ドック事業周知率(%)	100%	100%	100%
受診率(%) (参考)	26.3%	26.5%	23.1%

【考察】人間ドックの平成29年度の受診率は27.0%であり、平成27年度の30.4%から3.4ポイント減少している。また、年齢別にみると平成29年度の40歳の人受診率は24.2%であり、60歳の人受診率35.4%と比較して11.2ポイント低い。受診率が減少していること、若い世代の受診率が低いことから、健診の必要性及び費用助成等の広報、申込期間の延長等の取り組みを検討する。

脳ドックは平成26年度からの新規事業である。対象者への通知、広報等への掲載により事業の周知は行えたと考えられる。

## ⑤糖尿病性腎症重症化予防事業

【実施年度】平成28年度から平成29年度

【事業目的】糖尿病性腎症患者の病期進行阻止

【事業概要】①医療機関受診勧奨：特定健康診査の結果(HbA1c、eGFR)から、糖尿病性腎症の可能性のある人を抽出する。そのうち、医療管理のない人に対し、医療機関への受診勧奨を行う。

②保健指導：特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けられるように専門職より対象者に6か月間の面接指導と電話指導を行う。

【実施内容】①医療機関未受診者に対し、文書や専門職による電話、訪問等で医療機関への受診勧奨を行った。

②保健指導：指導対象者に対し、適切な保健指導を行った。健康診査、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認した。

【目標値】※平成29年度末達成目標

- ・指導対象者の指導実施率 15% ※1
- ・指導実施者の平成29年度末における重症化阻止率 75% ※2
- ・人工透析受診患者数の減少

※1 指導完了した人を指導実施とする。

※2 保健指導を実施することにより、人工透析へ移行しなかった人数の割合。

### 【達成状況】

	平成26年度(参考)	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (申込者数参考)
指導対象者の 指導実施率(%)	—	事業準備期間	6.4%	6.1%
指導実施者の 重症化阻止率	—		—	—
人口透析受診患者数	44人		54人	—

【考察】平成28年度の指導対象者の指導実施率は6.4%であり、目標値の15%から8.6ポイント下回っている。平成28年度からの新規事業であったため、対象者、かかりつけ医への事業の周知不足が考えられる。今後は、広報等により事業の周知徹底を行うとともに、公益社団法人宮城県塩釜医師会協力のもと、かかりつけ医との連携を強固にし、指導実施率の向上、重症化阻止に努める。

また、平成28年度の人工透析患者数は54人であり、平成26年度の44人から10人増えている。しかし、元々国保の人の病状が悪化して透析患者となったのか、国保に新たに加入した人が透析患者だったのかの分析は行っていない。今後評価方法の検討を行う。

【歯周病】糖尿病性腎症のほかに、糖尿病の重大な合併症の一つとして、歯周病があげられる。血糖コントロールの不良が歯周病を増悪させ、また、歯周病が重症であるほど血糖コントロールは不良となる。また、歯周病治療によって歯周組織の慢性炎症が改善すると、インスリン抵抗性が軽減し、血糖コントロール状態も改善することが報告されている。

歯周病の治療や口腔ケアの実施によって、歯周病を管理することが重要となるため、今後、歯周病に対する事業の拡大、取組強化を図る。

#### <HbA1cについて>

HbA1cは、患者の過去1～2か月の平均血糖値を反映し、血糖コントロールの指標として用いられる。

日本ではHbA1cの値として、これまでJDS値を用いてきたが、平成25年4月から国際標準値に合わせるようになった。JDS値と国際標準値の関係は下記のとおり。

$$\text{HbA1c(国際基準値)} = \text{HbA1c(JDS値)} + 0.4\%$$

※第7次宮城県地域医療計画より抜粋。

#### <eGFRについて>

eGFR(estimated Glomerular Filtration Rate)とは推算糸球体ろ過量(値)の略語で、血液をとって調べるクレアチニン(Cr)値と、性別・年齢の3つから計算して出すGFRのこと。

※GFRは、糸球体ろ過量と言い、腎機能を示す指標。

⑥受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

【事業概要】レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方についてパンフレットを送付し、改善されない者には専門職による指導を行う。

【実施内容】受診行動要注意者(入眠剤(睡眠導入剤等)の重複処方等)に対し、パンフレットを送付した。また、その後も行動に改善が見られない者に対しては適切な保健指導を行い、指導後に医療機関への受診行動が適正化されているか確認した。

【目標値】※平成29年度末達成目標

- ・指導対象者の指導実施率 20%
- ・指導実施完了者の受診行動適正化 50%
- ・指導実施完了者の医療費を指導実施前より 50%減少
- ・重複・頻回受診者数、重複服薬者数 20%減少

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
指導対象者の指導実施率(%)	33.3%	20%	—
指導完了者の受診行動適正化率(%)	0%	20%	—
指導完了者の医療費削減率(%) (指導後医療費/指導前医療費)	35.1%	6.1%	—
重複・頻回受診者数、 重複服薬者数減少率(%)	0%	0.7%	—

【考察】平成28年度、平成27年度の指導実施率は目標を達成しているが、受診行動適正化率、医療費削減率、重複・頻回受診者数、重複服薬者数減少率は目標を大きく下回っている。現在は、入眠剤を多量に処方されている人に着目し指導等を行っていたため、目標を達成できなかったと考えられる。今後は、指導対象者の抽出方法を変えると同時に、目標値等の見直しを行う。

## ⑦薬剤併用禁忌防止事業

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】薬剤併用禁忌の発生件数減少

【事業概要】レセプトデータから、薬剤併用禁忌の発生状況を把握する。薬剤併用禁忌の対象者リストを作成し、医療機関へ情報提供を行う。

【実施内容】広報「国民健康保険・後期高齢者医療特集号」に、お薬手帳の活用について記載した。医療機関への情報提供は行えていない。

【目標値】※平成29年度末達成目標

- ・薬剤併用禁忌割合 10%減少※
- ・併用禁忌薬剤による健康被害 0%

※初年度の基準となったレセプトデータ時における併用禁忌発生人数との比較。

### 【達成状況】

		平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
薬剤併用禁忌 割合	増減率(%)※1	—	-27.8%	-16.7%	—
	禁忌割合(%)※2	3.6%	2.6%	3.0%	—
併用禁忌薬剤による 健康被害(%)		0%	0%	0%	—

※1 特定保健指導対象者増減率＝[(平成26年度禁忌割合-当該年度禁忌割合)/平成26年度禁忌割合]×100

※2 薬剤併用禁忌割合＝(薬剤併用禁忌使用実人数/当該年度平均被保険者数)×100

【考察】平成28年度の薬剤併用禁忌割合は3.0%であり、平成26年度の基準値である3.6%より16.7%減少している。目標を達成しているが、これは主に、被保険者数の減少に伴う薬剤併用禁忌使用者の減少による影響が大きいと思われる。今後、お薬手帳の活用を促すとともに、塩釜地区薬剤師会と協働の元、事業の実施方法を見直し、薬剤併用禁忌による健康被害を防ぐ。



## ⑧ジェネリック医薬品差額通知事業

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】ジェネリック医薬品の普及率向上

【事業概要】レセプトデータから、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付し、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

【実施内容】年6回、対象者に対し通知を送付した。対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、継続を検討した。

【目標値】 ※平成29年度未達成目標

- ・対象者への通知率 100%
- ・ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 65%

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
対象者への通知率(%)	100%	100%	—
普及率(%)	64.6%	71.1%	—

※普及率は宮城県国民健康保険団体連合会「削減効果実績」数値を使用。

【考察】平成28年度の普及率は71.1%であり、目標値の65%と比べ6.1ポイント高く、目標を達成している。普及率をさらに上昇させるため、通知対象医薬品や通知対象年齢について見直しを行う。

## 2. 第2期データヘルス計画の各事業目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

事業名	事業目的	事業概要
特定健康診査事業	メタボリックシンドロームの早期発見による生活習慣予防	40歳から74歳の人を対象とし、特定健康診査を実施する。
特定保健指導事業	生活習慣病該当者及び予備群の減少	特定健康診査、人間ドックの結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職より対象者に3～6か月間の面接指導と電話指導を行う。
特定健康診査未受診者対策事業	特定健康診査の受診率向上	特定健康診査(集団健診)を受診していない者を対象者とし、特定健康診査の受診を促す。
がん検診事業(国保助成事業)	がん検診の受診率向上、二次予防の促進、がんに対する理解と検診の重症性についての普及啓発	がん検診未受診者への受診勧奨、各種がん検診の自己負担額の助成、二次予防促進のための精密検査受診の個別勧奨、がんに対する理解と検診の重要性についての普及啓発。
人間ドック・脳ドック費用助成事業	特定健康診査・がん検診受診率の向上、異常の早期発見	40, 45, 50, 55, 60歳の人を対象とし、人間ドック・脳ドック費用の助成を行う。
糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病性腎症患者の病期進行阻止	①特定健康診査の結果から糖尿病性腎症の可能性のある人を抽出する。そのうち、医療管理のない人に対し、医療機関への受診勧奨を行う。 ②特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるよう専門職より対象者に概ね6か月間の面接指導と電話指導を行う。
受診行動適正化指導、薬剤併用禁忌防止事業	重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少、薬剤併用禁忌の発生件数減少	レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また、重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。また、適正な医療のかかり方について広報を行う。
ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付し、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

※アウトカムの上段は短期目標、下段は中長期目標

実施内容 平成30年度～平成35年度	目標値	
	アウトプット	アウトカム
対象者に対し受診票を送付し、特定健康診査を行う。	対象者への通知率 100%	特定健康診査受診率 前年比3%増
		特定健康診査受診率 60%
指導対象者に対し、適切な保健指導を行う。指導後に問診項目の回答状況・検査値等を確認する。	対象者への指導実施率 25%以上	指導完了者の生活習慣改善率 50%
		積極的支援及び動機付け支援対象者割合 10%以下
集団健診未受診者を対象とし、前年のレセプト分析をもとに作成した2種類のチラシを、状況に合わせて申込書に同封し受診勧奨を行うとともに、追加健診(個別健診)を実施する。	対象者への通知率 100%	対象者の追加健診受診率 前年比4%増
		特定健康診査受診率 60%
全世帯に検診申込書を送付するとともに、自己負担額の助成を行う。胃がん検診については追加検診を行う。また、広報等ががん検診に対する受診勧奨を行う。	対象者への通知率 100%	各種がん検診受診率 70%以上 精密検査受診率 100%
		罹患率 3%未満 がん死亡率 全国平均以下
対象者に対し、助成案内通知を送付する。また、受診した人で要治療、要再検となった人に対し、受診後アンケートを行い、希望者に対しては、健康相談を行う。	対象者への通知率 100%	人間ドック(特定健康診査)・脳ドック受診率 前年比1%増
		人間ドック(特定健康診査)受診率 35% 脳ドック受診率 30%
①医療機関未受診者に対し、文書や専門職による電話、訪問等で医療機関への受診勧奨を行う。 ②指導対象者に対し、適切な保健指導を行う。健康診査、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認する。	①未受診者への勧奨率 100% ②対象者への指導実施率 15%以上	勧奨後の医療機関受診率 50% 指導完了者の生活習慣改善率 100% 指導完了者の検査値改善(維持)率 100%
		新規人工透析患者数の減少
受診行動注意者(対象者)に対し、適切な医療のかかり方についてのパンフレットを送付する。また、特に注意が必要な人に対して適切な保健指導を行う。お薬手帳の活用を促す。	対象者への通知率 100%	対象者数 前年比10%減少
		対象者の受診行動適正化率 50%
年6回対象者に対し、通知を送付する。	対象者への通知率 100%	対象者のジェネリック医薬品切替率 25%以上
		ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 85%以上

### 3. 全体スケジュール

各事業におけるスケジュールについて以下に示す。

事業名	第1期			第2期					
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度
特定健康診査事業		実施	評価	P		CA	P		CA
特定保健指導事業		実施	評価	P		CA	P		CA
特定健康診査 未受診者対策事業		実施	評価	P		CA	P		CA
がん検診事業 (国保助成事業)		実施	評価	P		CA	P		CA
人間ドック・脳ドック 助成事業		実施	評価	P		CA	P		CA
糖尿病性腎症重症化 予防事業	準備	実施	評価	P		CA	P		CA
受診行動適正化指導、 薬剤併用禁忌防止事業		実施	評価	P		CA	P		CA
ジェネリック 医薬品差額通知事業		実施	評価	P		CA	P		CA

## 4. 各事業の実施内容と評価方法

本計画(第2期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

### (1) 特定健康診査事業

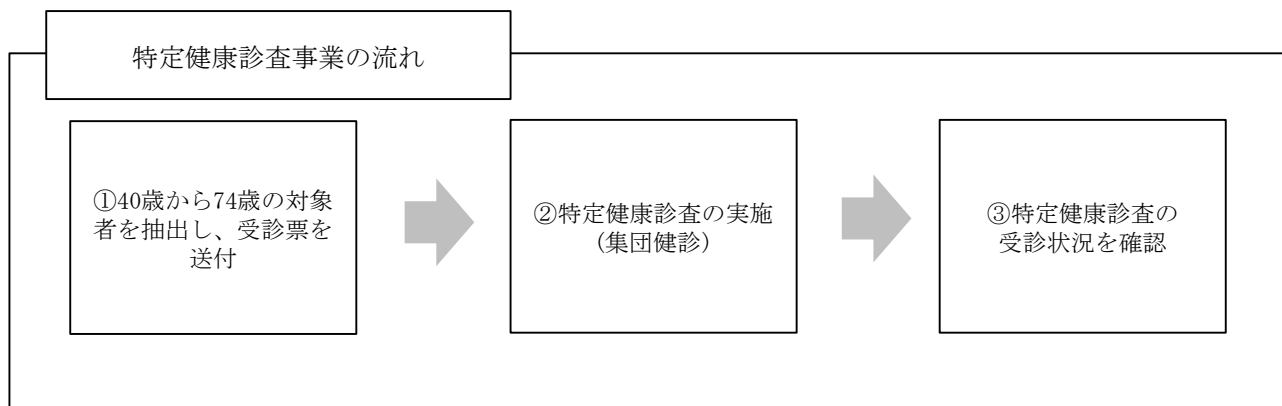
#### 【事業目的】

メタボリックシンドロームの早期発見による生活習慣病予防

#### 【事業概要】

40歳から74歳の人を対象とし特定健康診査を実施する。

#### 【実施内容】



#### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への受診票送付率 100%	短期 特定健康診査受診率 前年比 3%増	特定健康診査受診率を前年と比較し確認する。(法定報告数値)
	中長期 特定健康診査受診率 60%	特定健康診査受診率を確認する。(法定報告数値)

# 【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備	→												←
		健診実施			→										
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認						↔							
	A(改善)	改善計画									→				
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)									→					
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備	→												←
		健診実施			→										
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認							↔						
	A(改善)	改善計画									→				
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)									→					
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備	→												←
		健診実施			→										
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認							↔						
	A(改善)	改善計画									→				
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)									→					
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備	→												←
		健診実施			→										
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認							↔						
	A(改善)	改善計画									→				
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)									→					
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備	→												←
		健診実施			→										
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認							↔						
	A(改善)	改善計画									→				
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)									→					
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備	→												←
		健診実施			→										
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認							↔						
	A(改善)	改善計画									→				
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)									→					



## (2) 特定保健指導事業

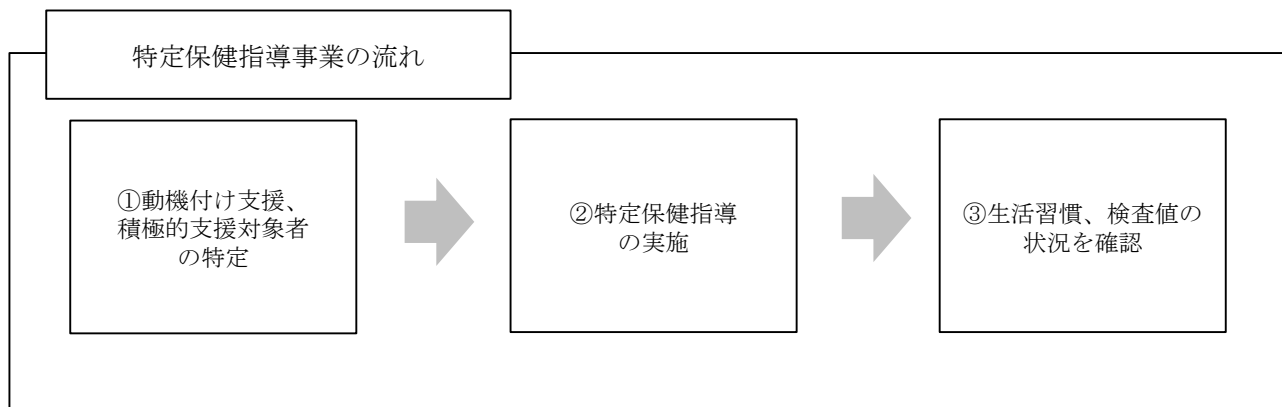
### 【事業目的】

生活習慣病該当者及び予備群の減少

### 【事業概要】

特定健康診査、人間ドックの結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職により3～6か月間の面接指導と電話指導を行う。

### 【事業内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
対象者の指導実施率※ 25% 以上	短期	指導完了者の生活習慣改善率 50%
	中長期	積極的支援及び動機付け支援 対象者割合 10%以下
		指導前後の健康診査データ、問診項目の回答状況から生活習慣の改善状況を確認する。
		特定保健指導対象者割合の推移を確認する。(法定報告数値)

※指導実施者は指導終了者とする。

# 【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備	←												
		指導実施	←												
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認												←	←
	A(改善)	改善計画												←	←
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)												←	←	
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備		←											
		指導実施		←											
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認												←	←
	A(改善)	改善計画												←	←
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)												←	←	
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備		←											
		指導実施		←											
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認												←	←
	A(改善)	改善計画												←	←
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)												←	←	
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備		←											
		指導実施		←											
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認												←	←
	A(改善)	改善計画												←	←
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)												←	←	
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備		←											
		指導実施		←											
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認												←	←
	A(改善)	改善計画												←	←
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)												←	←	
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備		←											
		指導実施		←											
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認												←	←
	A(改善)	改善計画												←	←
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)												←	←	





### (3) 特定健康診査未受診者対策事業

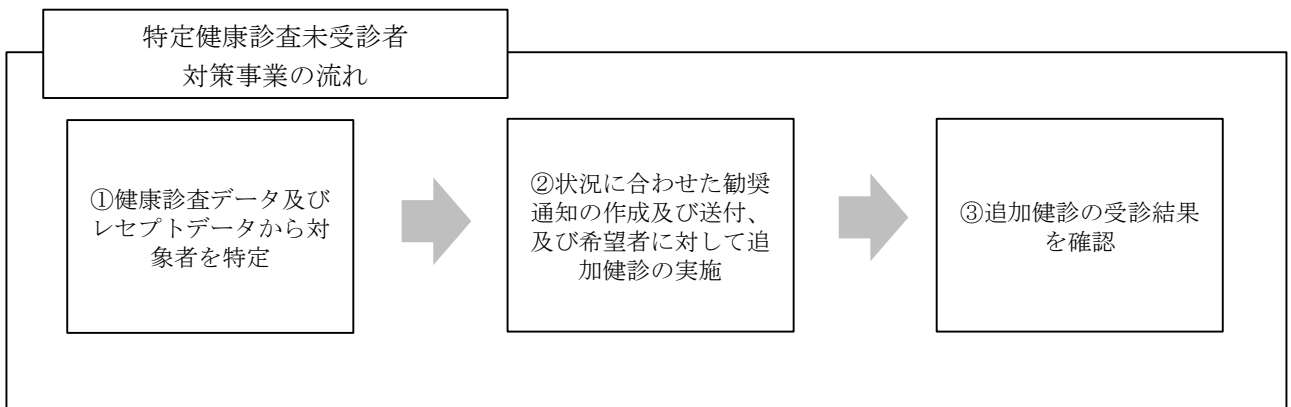
#### 【事業目的】

特定健康診査の受診率向上

#### 【実施概要】

特定健康診査(集団健診)を受診していない人を対象とし、前年のレセプト分析をもとに作成した2種類の受診勧奨チラシを、その未受診者の状況に合わせて、申込書に同封し送付するとともに、追加健診(個別健診)を行う。

#### 【実施内容】



#### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	短期 対象者の追加健診受診率 前年比 4%増	対象者のうち、追加健診を受診した人数を確認する。
	中長期 特定健康診査受診率 60%	特定健康診査受診率を確認する。 (法定報告数値)

# 【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備			←→									
		指導実施							←→					
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認										←→		
	A(改善)	改善計画										←→		
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)										←→			
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備			←→									
		指導実施							←→					
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認										←→		
	A(改善)	改善計画										←→		
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)										←→			
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備			←→									
		指導実施							←→					
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認										←→		
	A(改善)	改善計画										←→		
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)										←→			
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備			←→									
		指導実施							←→					
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認										←→		
	A(改善)	改善計画										←→		
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)										←→			
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備			←→									
		指導実施							←→					
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認										←→		
	A(改善)	改善計画										←→		
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)										←→			
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備			←→									
		指導実施							←→					
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認										←→		
	A(改善)	改善計画										←→		
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)										←→			



#### (4) がん検診事業(国保助成事業)

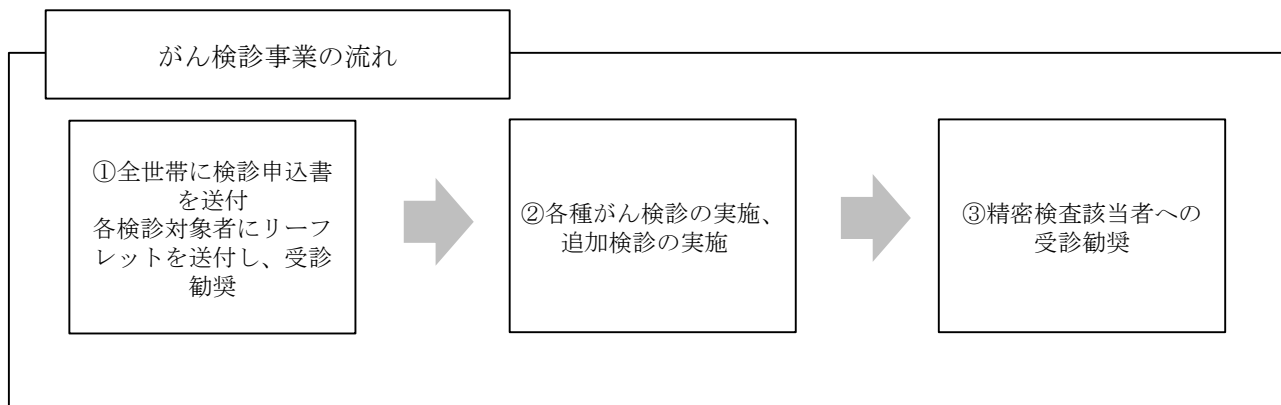
##### 【事業目的】

がん検診の受診率向上、二次予防の促進、がんに対する理解と検診の重要性についての普及啓発

##### 【実施概要】

全世帯に検診申込書を送付する。自己負担額の助成を行う。胃がん検診については追加検診を行う。また、広報等でがんの早期発見の重要性について啓発するとともに、がん検診対象者に対しリーフレットを送付し、受診勧奨を行う。また、精密検査対象者に対し、電話等で受診勧奨を行う。

##### 【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

○アウトプット

対象者への通知率 100%

○アウトカム

短期

評価指標		参考値 (平成27年)	目標値 (平成34年)
がん検診受診率	胃がん	28.2%	70%以上
	大腸がん	47.4%	70%以上
	肺がん	47.5%	70%以上
	乳がん	55.6%	70%以上
	子宮がん	40.2%	70%以上
精密検査受診率	胃がん	86.2%	100%
	大腸がん	67.8%	100%
	肺がん	88.7%	100%
	乳がん	97.6%	100%
	子宮がん	100.0%	100%

中長期

評価指標		参考値 (平成27年)	目標値 (平成34年)
がん罹患率	胃がん	4.0%	3%未満
	大腸がん	6.5%	3%未満
	肺がん	3.3%	3%未満
	乳がん	1.6%	3%未満
	子宮がん	0.9%	3%未満
がん死亡率(人口10万人対)		407.1	全国平均以下※

※平成27年度の全国平均は295.5。

# 【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備	→												←
		検診実施			→										
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													←
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)													←	
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備	→											←	
		検診実施			→										
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画												←	
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)													←	
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備	→											←	
		検診実施			→										
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画												←	
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)													←	
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備	→											←	
		検診実施			→										
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画												←	
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)													←	
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備	→											←	
		検診実施			→										
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画												←	
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)													←	
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備	→											←	
		検診実施			→										
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画												←	
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)													←	



## (5) 人間ドック・脳ドック費用助成事業

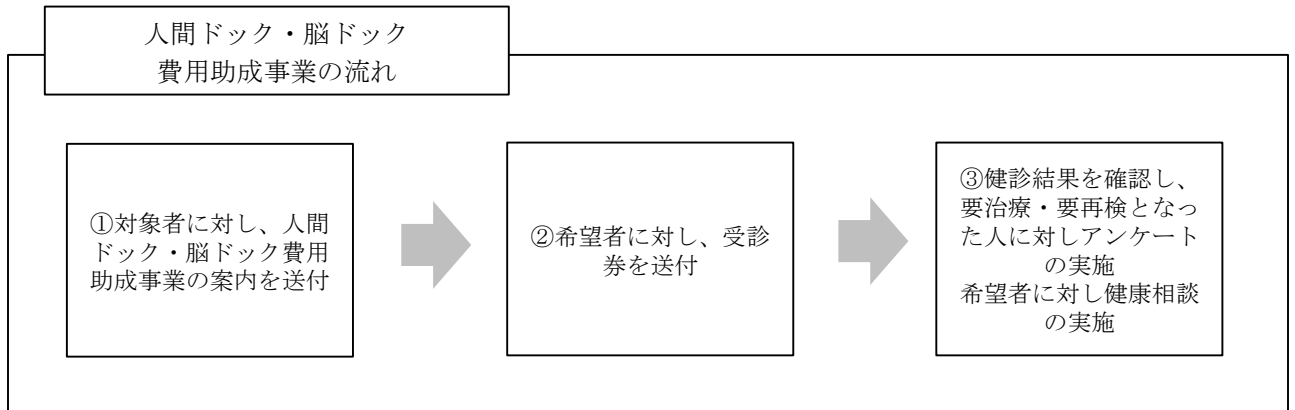
### 【事業目的】

特定健康診査・がん検診の受診率向上、異常の早期発見

### 【実施概要】

40, 45, 50, 55, 60歳の人を対象とし、人間ドック・脳ドック費用の助成を行う。要治療・要再検となった人に対しアンケートを行い、また、希望者には健康相談を実施する。

### 【実施内容】



### 【目標】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値	評価方法	
対象者への通知率 100%	短期	人間ドック(または特定健康診査)・脳ドック受診率 前年比 1%増	事業対象者のうち、人間ドック(または特定健康診査)・脳ドックを受診した人数より確認する。
	中長期	人間ドック(または特定健康診査)受診率 35% 脳ドック受診率 30%	

# 【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備												
		助成実施												
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認												
	A(改善)	改善計画												
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)													
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備												
		助成実施												
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認												
	A(改善)	改善計画												
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)													
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備												
		助成実施												
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認												
	A(改善)	改善計画												
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)													
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備												
		助成実施												
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認												
	A(改善)	改善計画												
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)													
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備												
		助成実施												
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認												
	A(改善)	改善計画												
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)													
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備												
		助成実施												
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認												
	A(改善)	改善計画												
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)													

	平成30年度事業		平成31年度事業		平成32年度事業
	平成33年度事業		平成34年度事業		平成35年度事業

## (6) 糖尿病性腎症重症化予防事業

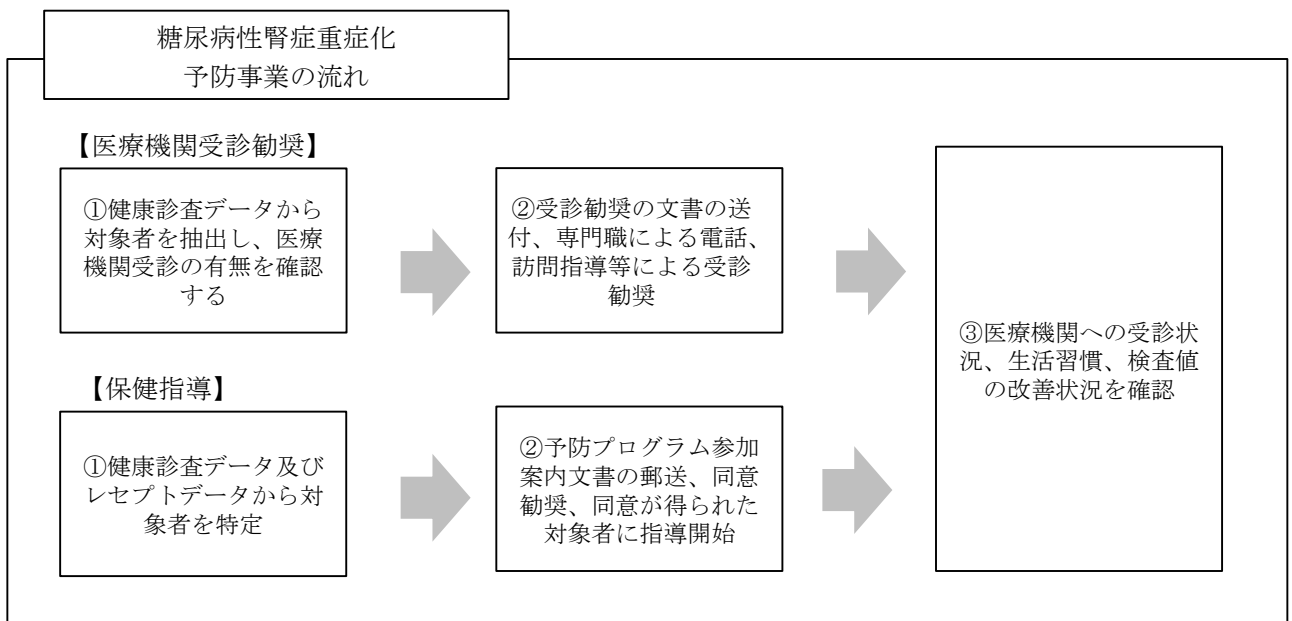
### 【事業目的】

糖尿病性腎症患者の病期進行阻止

### 【実施概要】

- ①医療機関受診勧奨：特定健康診査の結果(HbA1c、eGFR)から糖尿病性腎症の可能性がある人を抽出する。そのうち、医療管理のない人に対し、医療機関への受診勧奨を行う。
- ②保健指導：特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に概ね6か月間の面接指導と電話指導を行う。

### 【実施内容】



### 【目標】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値	評価方法	
未受診者への勧奨率 100% 対象者の指導実施率 15% 以上	短期	受診勧奨後の医療機関受診率 50%	受診勧奨後に医療機関の受診状況を確認する。
		指導完了者の生活習慣改善率 100%	指導後に生活習慣の改善状況を確認する。
	指導完了者の検査値改善(維持)率 100%	指導前後のHbA1cとeGFRの値を確認する。	
	中長期	新規人工透析患者の減少※	レセプトデータより新規人工透析患者数の推移を確認する。

※2型糖尿病を起因とするものを対象。



# 【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備	←→												
		指導実施					←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→								
		効果確認							前年度					←→	
	A(改善)	改善計画							前年度					←→	
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)													←→	
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備	←→												
		指導実施					←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→								
		効果確認							前年度					←→	
	A(改善)	改善計画							前年度					←→	
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)													←→	
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備	←→												
		指導実施					←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→								
		効果確認							前年度					←→	
	A(改善)	改善計画							前年度					←→	
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)													←→	
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備	←→												
		指導実施					←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→								
		効果確認							前年度					←→	
	A(改善)	改善計画							前年度					←→	
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)													←→	
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備	←→												
		指導実施					←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→								
		効果確認							前年度					←→	
	A(改善)	改善計画							前年度					←→	
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)													←→	
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備	←→												
		指導実施					←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→								
		効果確認							前年度					←→	
	A(改善)	改善計画							前年度					←→	
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)													←→	



## (7)受診行動適正化指導(重複・頻回受診、重複服薬)・薬剤併用禁忌防止事業

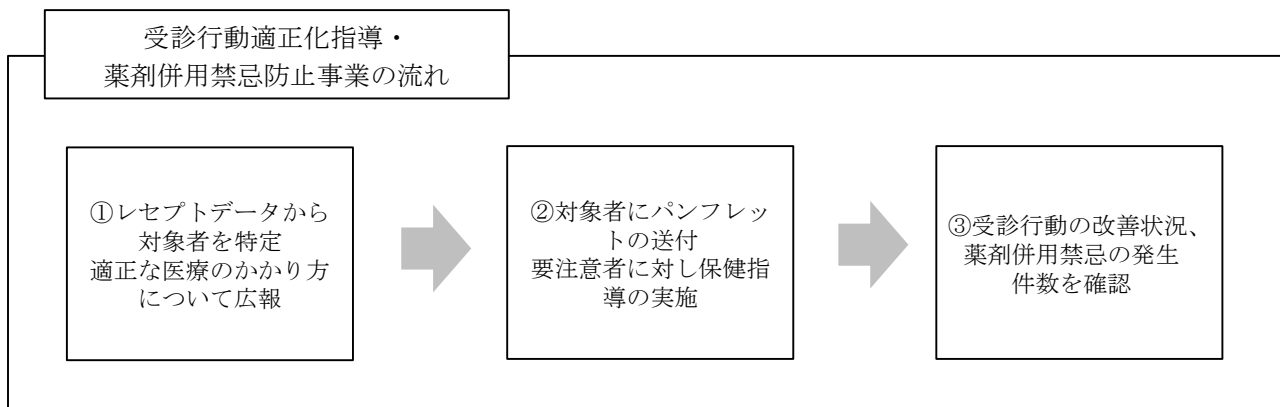
### 【事業目的】

重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少、薬剤併用禁忌の発生件数減少

### 【実施概要】

広報等で適正な医療機関へのかかり方について普及啓発を行うとともに、お薬手帳の活用を促す。レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方についてのパンフレットを送付する。特に注意する人を対象とし、専門職による指導を行う。

### 【実施内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値	評価方法	
対象者への通知送付率 100%	短期	重複・頻回受診者、重複服薬者、薬剤併用禁忌対象者数前年比 10%減少	多受診対象者数、薬剤併用禁忌対象者数の推移により確認する。
	中長期	重複・頻回受診者、重複服薬者、薬剤併用禁忌対象者の受診行動適正化率 50%	対象者の医療機関受診状況、薬剤併用禁忌使用状況を確認する。

# 【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備					⇔								
		指導実施							⇔						
	C(効果測定)	効果測定									⇔				
		効果確認													⇔
	A(改善)	改善計画													⇔
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)													⇔	
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備					⇔								
		指導実施							⇔						
	C(効果測定)	効果測定									⇔				
		効果確認													⇔
	A(改善)	改善計画													⇔
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)													⇔	
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備					⇔								
		指導実施							⇔						
	C(効果測定)	効果測定									⇔				
		効果確認													⇔
	A(改善)	改善計画													⇔
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)													⇔	
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備					⇔								
		指導実施							⇔						
	C(効果測定)	効果測定									⇔				
		効果確認													⇔
	A(改善)	改善計画													⇔
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)													⇔	
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備					⇔								
		指導実施							⇔						
	C(効果測定)	効果測定									⇔				
		効果確認													⇔
	A(改善)	改善計画													⇔
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)													⇔	
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備					⇔								
		指導実施							⇔						
	C(効果測定)	効果測定									⇔				
		効果確認													⇔
	A(改善)	改善計画													⇔
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)													⇔	



# (8) ジェネリック医薬品差額通知事業

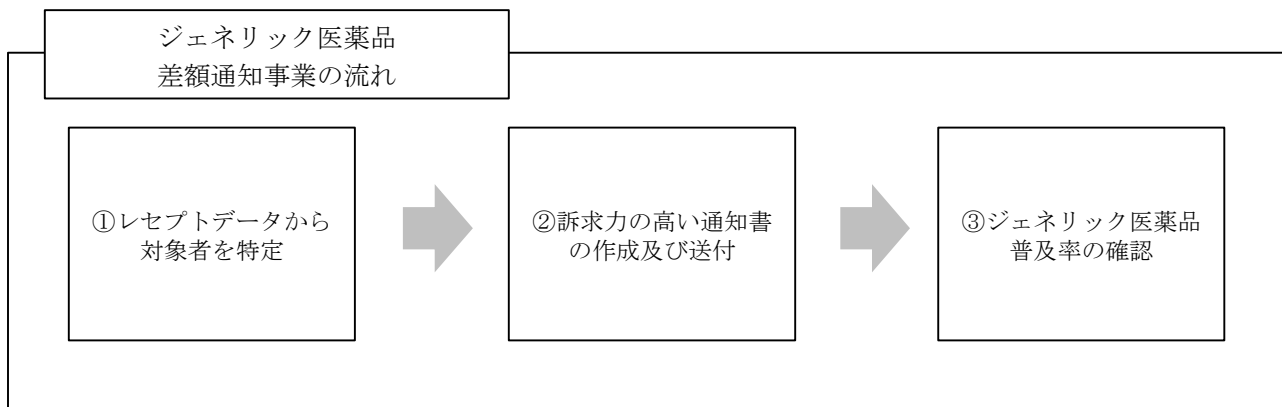
## 【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上

## 【実施概要】

レセプトデータから、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付し、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

## 【実施内容】



## 通知書デザイン

後発医薬品(ジェネリック医薬品)とは？  
先発医薬品(新薬)の特許が切れた後に販売される、先発医薬品と同じ有効成分、同じ効能・効果をもつ医薬品のことです。

■先発医薬品よりも安価で経済的です。  
自己負担額の軽減、医療保険財政の改善につながります。

■効き目や安全性は先発医薬品と同等です。  
国では、後発医薬品が先発医薬品と同レベルの品質・有効性・安全性を有するかどうかについて、厳格と同様の基準で審査を行っています。

■欧米では、幅広く使用されています。  
アメリカ、イギリス、ドイツなどでは、使用されている医療用医薬品の約半分が後発医薬品です。

ジェネリック医薬品を希望される場合は、医師・薬剤師にご相談ください。

郵便はがき

料金を納付郵便

重要 親展

ジェネリック医薬品に関するお知らせ

〒998-8501  
塩竈市旭町1番1号

塩竈市役所  
保険年金課  
給付年金係  
022-355-6603

平成 年 月 日に支払われた下記薬剤の自己負担額当額にしまして、同一成分のジェネリック医薬品に切り替えられた場合、少なくとも 1,157 円以上安くなる可能性があります。ジェネリック医薬品とは、先発医薬品(新薬)の特許が切れた後に同一成分(同一効能・効果)を持つ安価な後発医薬品のことです。

薬 品 名	自己負担額当額	ジェネリック医薬品に切り替えた場合に削減できる自己負担額
ディオバン錠 80mg	1,664 円	813 円
アタック錠 1.0 1.0mg	899 円	344 円
計	2,563 円	1,157 円

※1 お薬に際した金額のみ表示しております。実際の窓口支払金額には、後払料・管理料等の別費用が含まれております。

※2 通知書発行時点で、同一成分のジェネリック医薬品に切り替えられた場合の自己負担軽減額をご紹介しております。但し、ジェネリック医薬品は複数存在しますので、金額にも幅があります。

※3 表示されている医薬品は、ジェネリック医薬品が存在し、且つ対象疾患や削減効果などで絞り込みを行っておりますので、薬局中の全医薬品が提供されるものではありません。

※4 ジェネリック医薬品への変更方法  
該当のお薬を処方されている医師が預けられている薬剤師に「ジェネリック医薬品への切り替えを希望します。」とお伝え願います。また、お薬の内容(適応、効能や効果、副作用など)に関するお問い合わせについても、ご担当の医師・薬剤師にお問合せ下さい。

※5 本通知書に関する問合せは、コールセンター電話へおかけください。

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	短期	通知対象者のジェネリック医薬品切替率 25%以上 4月に通知した対象者の1年後のジェネリック医薬品切替率を確認する。
	中長期	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 85%以上 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)推移により確認する。

# 【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備		↔		↔		↔		↔		↔		↔
		通知送付	↔		↔		↔		↔		↔		↔	
	C(効果測定)	効果測定	↔											
		効果確認		↔		↔		↔		↔		↔		↔
	A(改善)	改善計画												
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)													↔
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備		↔		↔		↔		↔		↔		↔
		通知送付	↔		↔		↔		↔		↔		↔	
	C(効果測定)	効果測定	↔											
		効果確認		↔		↔		↔		↔		↔		↔
	A(改善)	改善計画												
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)													↔
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備		↔		↔		↔		↔		↔		↔
		通知送付	↔		↔		↔		↔		↔		↔	
	C(効果測定)	効果測定	↔											
		効果確認		↔		↔		↔		↔		↔		↔
	A(改善)	改善計画												
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)													↔
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備		↔		↔		↔		↔		↔		↔
		通知送付	↔		↔		↔		↔		↔		↔	
	C(効果測定)	効果測定	↔											
		効果確認		↔		↔		↔		↔		↔		↔
	A(改善)	改善計画												
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)													↔
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備		↔		↔		↔		↔		↔		↔
		通知送付	↔		↔		↔		↔		↔		↔	
	C(効果測定)	効果測定	↔											
		効果確認		↔		↔		↔		↔		↔		↔
	A(改善)	改善計画												
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)													↔
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備		↔		↔		↔		↔		↔		↔
		通知送付	↔		↔		↔		↔		↔		↔	
	C(効果測定)	効果測定	↔											
		効果確認		↔		↔		↔		↔		↔		↔
	A(改善)	改善計画												
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)													↔





## 第2節 第3期特定健康診査等実施計画

### 1. 過去の取り組みの考察(第2期特定健康診査等実施計画の振り返り)

#### (1) 第2期特定健康診査等実施計画の達成状況

第2期特定健康診査等実施計画に基づき実施した、特定健康診査・特定保健指導についての達成状況を以下に示す。

#### 【目標値及び達成状況】

##### ア. 特定健康診査受診率

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
塩竈市受診率(%) (目標値)	40%	45%	50%	55%	60%
塩竈市受診率(%)	36.6%	37.2%	43.5%	43.3%	—
宮城県受診率(%) (参考)	45.2%	45.9%	46.6%	47.3%	—

※法定報告数値使用。なお、宮城県受診率については、市町村のみの受診率。

【考察】平成26年度の受診率37.2%から平成27年度の受診率43.5%へ6.3ポイント上昇している。これは、平成27年度から人間ドックの結果が法定報告数値に含まれるようになったこと及び未受診者対策事業の開始によるものである。

なお、平成28年度の受診率は43.3%であり、平成25年度の受診率36.6%と比べると6.7ポイント上昇しているが、本市目標値と比べ11.7ポイント低く、さらに、宮城県の受診率と比べても4.0ポイント低い。

引き続き、健診の重要性についての広報、検査項目の充実、未受診者対策事業の周知等に努め、さらなる受診率の向上を目指す。



## イ. 特定保健指導実施率

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
塩竈市実施率(%) (目標値)	20%	30%	40%	50%	60%
塩竈市実施率(%)	11.6%	12.0%	9.6%	10.1%	—
宮城県実施率(%) (参考)	16.3%	16.7%	17.1%	18.4%	—

※法定報告数値使用。なお、宮城県受診率については、市町村のみの受診率。

【考察】平成26年度の実施率12.0%から平成27年度の実施率9.6%へ2.4ポイント減少している。これは、特定健康診査の受診率が上昇したことに伴い対象者数が増えたものの、保健指導の実施まで至っていないことを意味している。

なお、平成28年度の実施率は10.1%であり、平成25年度の実施率と比べると1.5ポイント減少しており、本市目標値と比べ39.9ポイント低く、また、宮城県の実施率と比べても8.3ポイント低い。

引き続き、広報等を活用し健康意識の向上に努めるとともに、保健指導勧奨方法の見直しを行い、さらなる実施率の向上に努める。

## ウ. 特定保健指導対象者増減率 (参考)

	平成20年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
増減率(%)※1 (H20年度比)	—	-13.5%	-15.3%	-7.4%	-6.7%	—
塩竈市※2 支援対象割合(%)	16.3%	14.1%	13.8%	15.1%	15.2%	—

※法定報告数値を使用。

※第3期特定健康診査等実施計画より、保険者が行う特定健康診査・特定保健指導の実施の成果に関する目標として、特定保健指導対象者の減少率が示されたため、平成25年度から平成28年度までの実績値を参考として示す。

※1 特定保健指導対象者増減率

$$= [(平成20年度支援対象者割合 - 当該年度支援対象者割合) / 平成20年度支援対象者割合] \times 100$$

※2 支援対象者割合 = (特定保健指導対象者数 / 特定健康診査受診者数) \times 100

## 2. 目標

### (1) 基本的指針における目標値(国)

特定健康診査等基本的指針において、平成30年度から平成35年度までの計画期間中に各医療保険者が設定すべき2つの目標(下表①、②)と、平成35年度時点における目標(下表③)を掲げており、各保険者の目標値は、その値を踏まえて設定することとしている。

項目		第2期計画	第3期計画
		平成29年度までの目標 (市町村国保)	平成35年度からの目標 (市町村国保)
実施に関する目標	①特定健康診査受診率	60%以上	60%以上
	②特定保健指導実施率	60%以上	60%以上
成果に関する目標	③メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の減少率	25%以上減少 (対平成20年度比)	—
	特定保健指導対象者の減少率	—	25%以上減少 (対平成20年度比)

※③メタボリックシンドローム該当者及び予備群(以下、メタボ該当者等)の減少率については、第2期計画では平成20年度比で25%以上の減少率を目標としている。しかし、第2期計画策定以降の分析の結果、メタボ該当者等には約50%の服薬者が含まれており、非服薬者を対象とする特定保健指導の効果をメタボ該当者等の減少率で図ることは十分とはいえないと考えられる。このため、特定健康診査・特定保健指導の成果に関する目標は、第1期計画と同様に、特定保健指導対象者数の減少を目標とする。

### (2) 本市の目標値

基本的指針における目標値は、特定健康診査受診率60%、特定保健指導実施率60%となっているが、第2期計画における実施状況を踏まえ、第3期計画期間における目標値を次のとおり設定する。

まず、特定健康診査受診率は、目標を達成していないものの、上昇傾向にあるため、国の目標値に即して60%とし、特定保健指導は10%代前半を推移しているため、達成可能な目標値として25%とする。なお、特定保健指導対象者の減少率については、保険者の特定保健指導の効果の検証等のための指標として活用することが望まれるため、平成35年度の目標値のみ設定する。

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
特定健康診査の受診率(%)	45%	48%	51%	54%	57%	60%
特定保健指導の実施率(%)	12%	14%	16%	19%	22%	25%
特定保健指導対象者の減少率(%)	—	—	—	—	—	25% (平成20年度比)

### 3. 対象者

#### (1) 特定健康診査の対象者

特定健康診査の実施年度中に40～74歳となる国民健康保険加入者(当該年度において75歳に達するものも含める)を対象者とする。ただし、法定報告対象者は、特定健康診査対象者で当該実施年度の一年間を通じて加入している人(年度途中での加入・離脱等異動のない人)のうち、妊産婦等除外規定の該当者(刑務所入所中、海外在住、長期入院等)を除いた人となる。

※法定報告とは「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、特定健康診査等の実績について国へ報告するもの。

#### (2) 特定保健指導の対象者

特定健康診査の結果、腹囲の他、血糖、血圧、脂質が所定の値を上回る人のうち、糖尿病、高血圧症又は脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している人を除く人とする。

なお、次の図表にあるように、追加リスクの多少と喫煙歴の有無により、動機付け支援の対象者となるのか積極的支援の対象者となるのかが異なる。

腹囲	追加リスク		④喫煙歴	対象者	
	①血糖	②脂質 ③血圧		40-64歳	65-74歳
≥85cm(男性) ≥90cm(女性)	2つ以上該当		/	積極的支援	動機付け支援
	1つ該当	あり			
		なし			
上記以外で BMI ≥ 25	3つ該当		/	積極的支援	動機付け支援
	2つ該当	あり			
		なし			
	1つ該当		/		

※喫煙歴の斜線欄は、階層化の判定が喫煙歴の有無に関係ないことを意味する。

#### (3) 特定健康診査・特定保健指導の対象者数及び実施予定者数

区分		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	
特定健康診査	対象者	8,627人	8,443人	8,339人	8,235人	7,960人	7,582人	
	受診者	3,882人	4,053人	4,253人	4,447人	4,537人	4,549人	
	受診率	45%	48%	51%	54%	57%	60%	
特定保健指導	動機付け支援	対象者	418人	404人	390人	373人	344人	308人
		利用者	57人	65人	72人	83人	89人	92人
	積極的支援	対象者	152人	150人	149人	147人	141人	132人
		利用者	11人	13人	14人	16人	18人	18人
	合計	対象者	570人	555人	539人	520人	485人	441人
		利用者	68人	78人	86人	99人	107人	110人
		利用率	12%	14%	16%	19%	22%	25%

※特定健診受診者数(見込)は、特定健診対象者数(推計値)に受診率(目標値)を乗じて算出。

※特定保健指導利用者数(見込)については、特定保健指導対象者数(推計値)に実施率(目標値)を乗じて算出。

## 4. 実施方法

### (1) 特定健康診査

#### ① 実施項目

健診項目は、国の指針である「標準的な健診・保健指導プログラム(平成30年度版)」に基づき、以下の内容を設定する。

なお、市が助成を行う人間ドックについても、特定健診の法定項目を含有して実施する。

#### ア. 基本的な健診項目

次の項目について、全ての受診者に実施する。

検査項目	実施内容
既往歴の調査	服薬歴、既往歴等（喫煙習慣に係る調査を含む）
自覚症状及び他覚症状の有無の検査	理学的検査（身体診察）
身長、体重及び腹囲の検査	身長
	体重
	腹囲
BMIの測定	$BMI = \text{体重 (kg)} \div \text{身長 (m)}^2$
血圧の測定	収縮期血圧
	拡張期血圧
肝機能検査	AST (GOT)
	ALT (GPT)
	$\gamma$ -GT ( $\gamma$ -GTP)
血中脂質検査	総コレステロール（non-HDLコレステロール含む）
	中性脂肪
	HDL-コレステロール
	LDL-コレステロール
血糖検査	空腹時血糖
	随時血糖
	HbA1c
尿検査	尿糖
	尿蛋白

## イ. 詳細な健診項目

厚生労働大臣が定める以下の判定基準に該当する人のうち、医師が必要と認める人については、以下の項目を実施する。

検査項目	実施内容	実施できる条件		
貧血検査	赤血球数	貧血の既往歴を有する人又は視診等で貧血が疑われる人		
	血色素			
	ヘマトクリット値			
心電図		当該年度の特定健康診査の結果等において、血圧の項目が次の基準に該当した人又は問診等で不整脈が疑われる人		
		<table border="1"> <tr> <td>血圧</td> <td>収縮期140mmHg以上または拡張期90mmHg以上</td> </tr> </table>	血圧	収縮期140mmHg以上または拡張期90mmHg以上
血圧	収縮期140mmHg以上または拡張期90mmHg以上			
眼底検査		当該年度の特定健康診査の結果等において、血圧又は血糖が次の基準に該当した人		
		<table border="1"> <tr> <td>血圧</td> <td>収縮期140mmHg以上または拡張期90mmHg以上</td> </tr> </table>	血圧	収縮期140mmHg以上または拡張期90mmHg以上
		血圧	収縮期140mmHg以上または拡張期90mmHg以上	
<table border="1"> <tr> <td>血糖</td> <td>空腹時血糖値が126mg/dl以上、HbA1c (NGSP値) 6.5%以上又は随時血糖値が126mg/dl以上</td> </tr> </table>	血糖	空腹時血糖値が126mg/dl以上、HbA1c (NGSP値) 6.5%以上又は随時血糖値が126mg/dl以上		
血糖	空腹時血糖値が126mg/dl以上、HbA1c (NGSP値) 6.5%以上又は随時血糖値が126mg/dl以上			

## ウ. 塩竈市独自の健診項目

慢性腎臓病の早期発見と重症化・人工透析への移行を防止するために、次の項目を基本的な健診項目として実施する。

検査項目	実施内容
腎機能検査	血清クレアチニン
	尿酸

※血清クレアチニンについて、実施基準では詳細な健診項目とされているが、塩竈市では独自の健診項目として全ての受診者に実施する。

## ②実施場所

集団健診：保健センター、塩釜ガス体育館、公民館、集会所 等  
(ただし、毎年度見直しを行い、変更する場合がある)  
個別健診：委託契約を結んだ医療機関等

## ③実施の基準とする期間

集団健診：6月～7月  
個別健診：10月～11月

## ④委託基準

委託に係る基準は、「標準的な健診・保健指導プログラム【平成30年度版】(厚生労働省)」第1編第1章1-5の考え方に基づくものとする。

## ⑤被保険者負担額(自己負担額)

特定健康診査の健診費用は塩竈市が負担することとし、自己負担金は徴収しない。ただし、受診者が詳細な健診の項目を希望により受診する場合には、実費負担により受診できることとする。

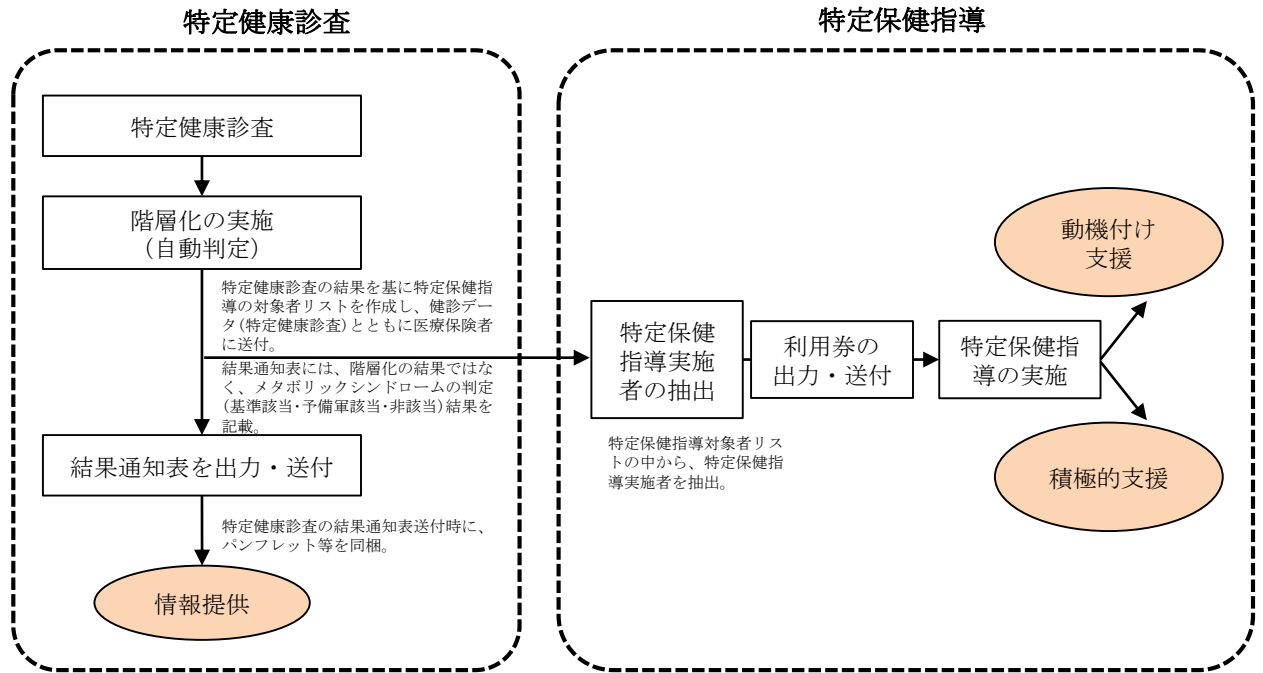
## ⑥周知や案内方法

周知の方法：市広報紙やホームページ等に関連情報を掲載  
公共施設等に特定健康診査に関するポスター等を掲示  
マスメディア(コミュニティFM、ケーブルテレビ等)の活用による周知  
町内会、健康推進委員との協働による周知 等

受診案内の方法：受診券の送付に際し、特定健診の必要性に関する情報、集団健診の場所及び個別健診の対象医療機関名、日時が記載された受診案内を同封する。

## (2) 特定保健指導

### 【特定健康診査から特定保健指導への流れ(イメージ)】



### ①対象者の選定と階層化

特定保健指導の対象者の選定と階層化は、国の基準に基づき行う。

腹囲	追加リスク		④喫煙歴	対象者	
	①血糖	②脂質 ③血圧		40-64歳	65-74歳
≥85cm(男性) ≥90cm(女性)	2つ以上該当		/	積極的支援	動機付け支援
	1つ該当		あり なし		
上記以外で BMI ≥ 25	3つ該当		/	積極的支援	動機付け支援
	2つ該当		あり なし		
	1つ該当		/		

①血糖…空腹時血糖100mg/dl以上又はHbA1c5.6以上

②脂質…中性脂肪150mg/dl以上又はHDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧…収縮期130mmHg以上又は拡張期85mmHg以上

④質問票より…喫煙歴あり(※①から③のリスクが1つ以上の場合にのみカウントする)

※喫煙歴の斜線欄は、階層化の判定が喫煙歴の有無に関係ないことを意味する。

※65~74歳の方は、追加リスクの数で積極的支援に該当する場合でも動機づけ支援となる。

※糖尿病、高血圧症、高脂血症の治療に係る薬剤を服薬している方は、対象者から除外する。

## ②特定保健指導の実施内容

支援区分	支援形態	支援内容
積極的支援	初回面接 1人当たり20分以上の個別支援、または、1グループ当たり概ね80分以上のグループ支援を行う。	特定健康診査の結果から、対象者自らが自分の身体に起こっている変化を理解し、生活習慣改善の必要性を実感できるような働きかけを行う。 また、具体的に実践可能な行動目標を対象者が選択できるように支援を行う。 支援者は、目標達成のために必要な支援計画を立て、行動が継続できるように定期的・継続的に介入する。
	3か月以上の継続支援 個別支援、グループ支援の他、電話等通信手段を利用し支援を行う。	
	支援終了後の評価 面接または通信手段を利用し評価を行う。	
動機付け支援	初回面接 1人当たり20分以上の個別支援、または、1グループ当たり概ね80分以上のグループ支援を行う。	対象者自らが、自分の生活習慣の改善すべき点を自覚することで行動目標を設定し、目標達成に向けた取り組みが継続できるように動機付け支援を行う。
	支援終了後の評価 面接または通信手段を利用し評価を行う。	

## ③実施場所

市内の公共機関とし、毎年度別に定める。

## ④実施の基準とする期間

集団健診受診者 : 9月 ～ 翌年3月

人間ドック受診者・個別健診受診者 : 翌年2月 ～ 8月

## ⑤委託基準

委託に係る基準は、「標準的な健診・保健指導プログラム【平成30年度版】(厚生労働省)」第1編第1章1-5の考え方に基づくものとする。

## ⑥被保険者負担額(自己負担額)

特定保健指導の参加費用は塩竈市が負担することとし、自己負担金は徴収しない。

## ⑦周知や案内方法

周知の方法：市広報紙やホームページ等に関連情報を掲載

公共施設等に特定健康診査に関するポスター等を掲示 等

受診案内の：特定保健指導の必要性に関する情報、日時等が記載された受診案内を  
方法 同封する。



### (3) 特定健康診査・特定保健指導の年間スケジュール

特定健康診査及び特定保健指導の年間スケジュールは以下のとおりとする。なお、実施状況により毎年度調整を行う。

	特定健康診査	特定保健指導	備考
4月	・対象者の抽出		
5月	・契約 ・受診券の発行		
6月	・集団健診実施		
7月	↓ ・医療機関で随時 健診結果を送付		
8月		・案内送付(利用券の送付)	・人間ドック実施
9月	・未受診者の抽出 ・個別健診の案内送付	・特定保健指導の開始 (開始から3～6か月間支援)	↓
10月	・個別健診実施		
11月	↓		
12月			
1月			
2月			
3月			
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			
10月	・法定報告	・法定報告	

特定健康診査受診者  
翌3月まで

評価

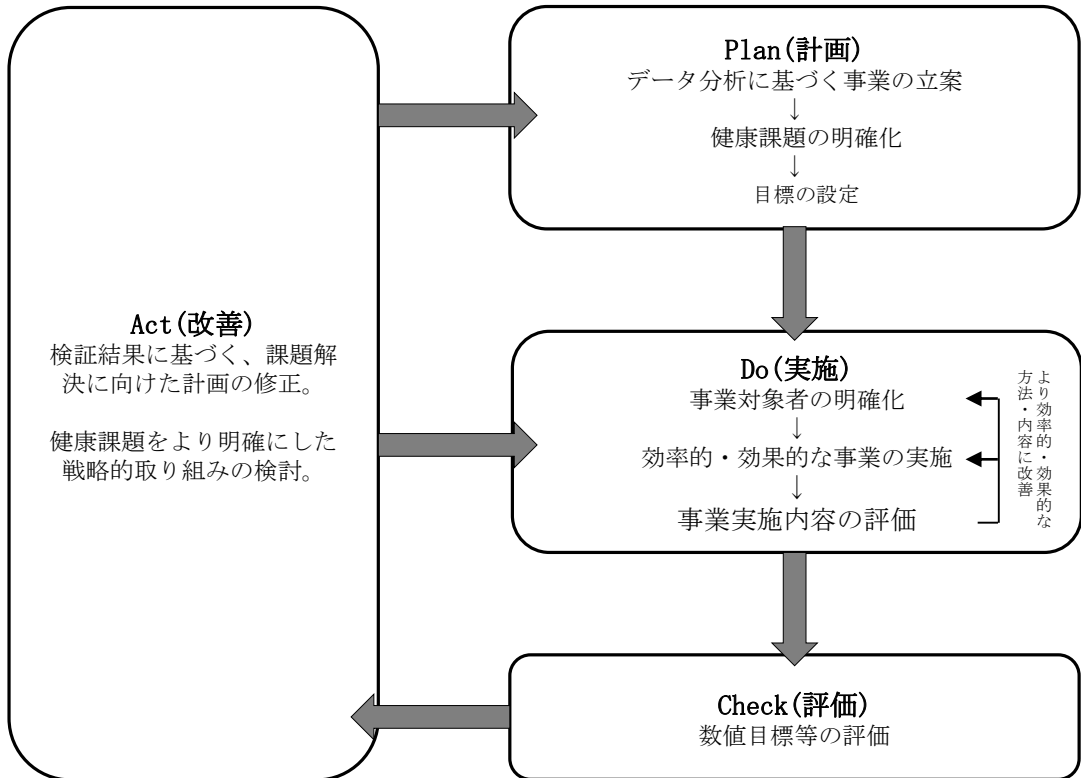
人間ドック受診者  
個別健診受診者  
8月まで

評価

## 1. 計画の見直し

### (1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととする。また、中間期間等計画期間の途中で、進捗確認・中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行う。



### (2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

## 2. 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。

### 3. 関係機関との連携

---

本計画における各事業は本市関係所管課との連携、公益社団法人宮城県塩釜医師会、塩釜地区薬剤師会、一般社団法人塩釜歯科医師会、宮城県糖尿病対策推進会議郡市医師会等の関係団体との協力により、効率的、効果的に実施する。

### 4. 個人情報の保護

---

個人情報の取り扱いについては、個人情報保護法に基づくガイドライン（「健康保険組合（国民健康保険組合）等における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」等）を遵守するとともに、「個人情報の保護に関する法律」「塩竈市個人情報保護条例」「塩竈市情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取り扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

# 地区分析

## 1. 大分類による疾病別医療費地区別統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費統計を地区別に示す。

本土地区	浦戸地区	その他
------	------	-----

### 【本土地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	141,038,394	3.2%	11	12,406	13	3,314	9	42,558	14
II. 新生物<腫瘍>	593,698,562	13.7%	2	14,767	12	3,166	10	187,523	4
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	41,521,560	1.0%	15	4,639	16	1,011	15	41,070	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	513,038,709	11.8%	3	70,872	2	5,779	2	88,776	7
V. 精神及び行動の障害	394,755,842	9.1%	4	19,889	8	1,547	14	255,175	2
VI. 神経系の疾患	196,739,202	4.5%	10	31,243	7	2,800	11	70,264	8
VII. 眼及び付属器の疾患	209,516,680	4.8%	9	33,988	6	4,463	6	46,945	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	17,530,943	0.4%	16	2,938	17	802	17	21,859	19
IX. 循環器系の疾患	676,212,622	15.6%	1	73,693	1	5,662	4	119,430	5
X. 呼吸器系の疾患	248,177,467	5.7%	8	37,893	5	5,991	1	41,425	15
X I. 消化器系の疾患 ※	305,797,087	7.0%	7	52,965	3	5,685	3	53,790	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	82,081,608	1.9%	14	16,220	10	3,541	7	23,180	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	309,472,991	7.1%	6	37,895	4	4,499	5	68,787	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	314,706,061	7.2%	5	15,934	11	2,648	12	118,847	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	14,159,284	0.3%	17	171	20	61	20	232,119	3
X VI. 周産期に発生した病態 ※	11,868,282	0.3%	18	53	21	23	21	516,012	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	11,479,989	0.3%	19	473	19	171	18	67,134	11
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	128,762,248	3.0%	12	16,580	9	3,406	8	37,805	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	124,224,920	2.9%	13	6,278	15	1,836	13	67,661	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	9,941,368	0.2%	20	7,257	14	828	16	12,006	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	1,082,231	0.0%	21	825	18	132	19	8,199	21
合計	4,345,806,050			198,967		11,191		388,330	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

本土地区	浦戸地区	その他
------	------	-----

【浦戸地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	2,233,803	3.2%	9	190	13	43	10	51,949	8
II. 新生物<腫瘍>	6,116,507	8.8%	5	217	11	56	7	109,223	4
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	318,530	0.5%	16	52	16	19	15	16,765	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	7,291,661	10.5%	4	1,259	2	99	1	73,653	5
V. 精神及び行動の障害	13,105,039	18.8%	1	252	9	21	14	624,049	1
VI. 神経系の疾患	1,296,648	1.9%	11	392	7	38	11	34,122	12
VII. 眼及び付属器の疾患	2,328,799	3.3%	8	486	6	60	6	38,813	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	434,067	0.6%	14	37	17	8	17	54,258	7
IX. 循環器系の疾患	12,612,598	18.1%	2	1,457	1	99	1	127,400	3
X. 呼吸器系の疾患	3,684,666	5.3%	7	575	5	81	4	45,490	9
X I. 消化器系の疾患 ※	5,041,330	7.2%	6	979	3	86	3	58,620	6
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	979,177	1.4%	13	318	8	49	8	19,983	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	11,135,536	16.0%	3	892	4	77	5	144,617	2
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	1,437,321	2.1%	10	206	12	34	12	42,274	10
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	2,891	0.0%	19	1	19	1	18	2,891	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,154,255	1.7%	12	251	10	47	9	24,559	13
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	341,511	0.5%	15	144	14	31	13	11,016	16
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	105,015	0.2%	17	105	15	19	15	5,527	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	6,346	0.0%	18	8	18	1	18	6,346	17
合計	69,625,700			3,079		143		486,893	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

本土地区	浦戸地区	その他
------	------	-----

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	2,279,454	1.0%	15	552	12	165	9	13,815	18
II. 新生物<腫瘍>	66,579,207	29.8%	1	724	11	117	12	569,053	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,981,977	1.3%	14	238	15	57	15	52,315	10
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	10,286,674	4.6%	7	1,600	4	215	3	47,845	11
V. 精神及び行動の障害	20,469,614	9.2%	3	1,004	6	116	13	176,462	2
VI. 神経系の疾患	18,295,585	8.2%	5	1,503	5	151	10	121,163	5
VII. 眼及び付属器の疾患	4,555,265	2.0%	13	831	8	169	7	26,954	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	462,662	0.2%	17	87	17	35	16	13,219	19
IX. 循環器系の疾患	26,656,721	11.9%	2	1,715	2	205	4	130,033	4
X. 呼吸器系の疾患	20,170,506	9.0%	4	1,642	3	309	1	65,277	8
X I. 消化器系の疾患 ※	16,692,628	7.5%	6	1,799	1	242	2	68,978	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	5,211,218	2.3%	12	743	9	190	5	27,427	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	5,422,411	2.4%	11	946	7	172	6	31,526	13
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	7,475,616	3.3%	9	533	13	124	11	60,287	9
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,798,133	0.8%	16	31	18	11	18	163,467	3
X VI. 周産期に発生した病態 ※	3,810	0.0%	21	1	21	1	21	3,810	21
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	64,445	0.0%	19	8	20	4	20	16,111	17
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,589,031	3.4%	8	731	10	168	8	45,173	12
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	6,281,167	2.8%	10	267	14	90	14	69,791	6
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	362,379	0.2%	18	144	16	22	17	16,472	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	34,087	0.0%	20	28	19	7	19	4,870	20
合計	223,672,590			6,368		592		377,825	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

## 2. 中分類による疾病別医療費地区別統計

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

本土地区	浦戸地区	その他
------	------	-----

### 【本土地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0402 糖尿病	252,142,549	5.8%	3,461
2	0901 高血圧性疾患	243,799,089	5.6%	4,361
3	1402 腎不全	215,946,625	5.0%	252
4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	212,315,688	4.9%	1,329
5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	205,908,687	4.7%	302
6	0903 その他の心疾患	186,943,848	4.3%	2,007
7	1113 その他の消化器系の疾患	168,311,599	3.9%	3,790
8	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	128,762,248	3.0%	3,406
9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	125,810,768	2.9%	3,329
10	0403 脂質異常症	125,329,356	2.9%	3,366

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【浦戸地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	10,027,060	14.4%	5
2	0901 高血圧性疾患	5,449,958	7.8%	77
3	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	4,823,612	6.9%	12
4	1302 関節症	4,226,434	6.1%	32
5	0402 糖尿病	4,191,241	6.0%	57
6	0903 その他の心疾患	4,045,701	5.8%	38
7	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	2,930,522	4.2%	6
8	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	2,885,286	4.1%	24
9	1113 その他の消化器系の疾患	2,817,237	4.0%	66
10	0403 脂質異常症	2,145,678	3.1%	55

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

本土地区	浦戸地区	その他
------	------	-----

【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	31,343,863	14.0%	58
2	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	12,275,039	5.5%	17
3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	10,837,456	4.8%	37
4	1011 その他の呼吸器系の疾患	8,196,267	3.7%	114
5	1113 その他の消化器系の疾患	7,696,535	3.4%	170
6	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,589,031	3.4%	168
7	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	7,181,290	3.2%	3
8	0606 その他の神経系の疾患	7,053,850	3.2%	122
9	0905 脳内出血	6,880,325	3.1%	19
10	0901 高血圧性疾患	5,640,837	2.5%	138

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。



疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

本土地区	浦戸地区	その他
------	------	-----

### 【本土地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	243,799,089	4,361	39.0%
2	0703 屈折及び調節の障害	16,545,414	3,899	34.8%
3	1113 その他の消化器系の疾患	168,311,599	3,790	33.9%
4	0402 糖尿病	252,142,549	3,461	30.9%
5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	128,762,248	3,406	30.4%
6	0403 脂質異常症	125,329,356	3,366	30.1%
7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	125,810,768	3,329	29.7%
8	1105 胃炎及び十二指腸炎	42,194,566	2,970	26.5%
9	1202 皮膚炎及び湿疹	37,751,191	2,659	23.8%
10	1006 アレルギー性鼻炎	36,938,482	2,582	23.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【浦戸地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	5,449,958	77	53.8%
2	1113 その他の消化器系の疾患	2,817,237	66	46.2%
3	0402 糖尿病	4,191,241	57	39.9%
4	0403 脂質異常症	2,145,678	55	38.5%
4	1105 胃炎及び十二指腸炎	839,971	55	38.5%
6	0703 屈折及び調節の障害	186,170	49	34.3%
7	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,154,255	47	32.9%
7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	973,416	47	32.9%
9	1202 皮膚炎及び湿疹	693,034	40	28.0%
10	0903 その他の心疾患	4,045,701	38	26.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

本土地区	浦戸地区	その他
------	------	-----

【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1113 その他の消化器系の疾患	7,696,535	170	28.7%
2	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,589,031	168	28.4%
3	1202 皮膚炎及び湿疹	2,501,051	140	23.6%
4	0703 屈折及び調節の障害	501,710	139	23.5%
5	0901 高血圧性疾患	5,640,837	138	23.3%
6	1003 その他の急性上気道感染症	886,569	123	20.8%
7	0606 その他の神経系の疾患	7,053,850	122	20.6%
8	1006 アレルギー性鼻炎	1,436,641	119	20.1%
8	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	1,252,281	119	20.1%
10	0402 糖尿病	5,395,500	115	19.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

# 年度別 特定健康診査結果分析

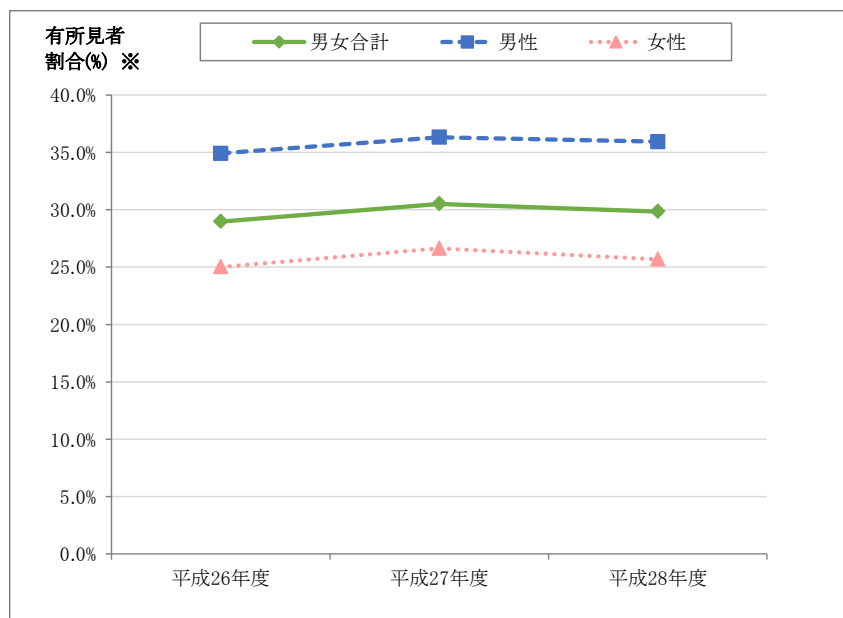
## 1. 有所見者割合

平成26年度から平成28年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合(BMI)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,638	4,116	3,914
	有所見者数(人) ※	1,054	1,256	1,168
	有所見者割合(%) ※	29.0%	30.5%	29.8%
男性	対象者数(人) ※	1,455	1,652	1,589
	有所見者数(人) ※	508	600	571
	有所見者割合(%) ※	34.9%	36.3%	35.9%
女性	対象者数(人) ※	2,183	2,464	2,325
	有所見者数(人) ※	546	656	597
	有所見者割合(%) ※	25.0%	26.6%	25.7%

年度別 有所見者割合(BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

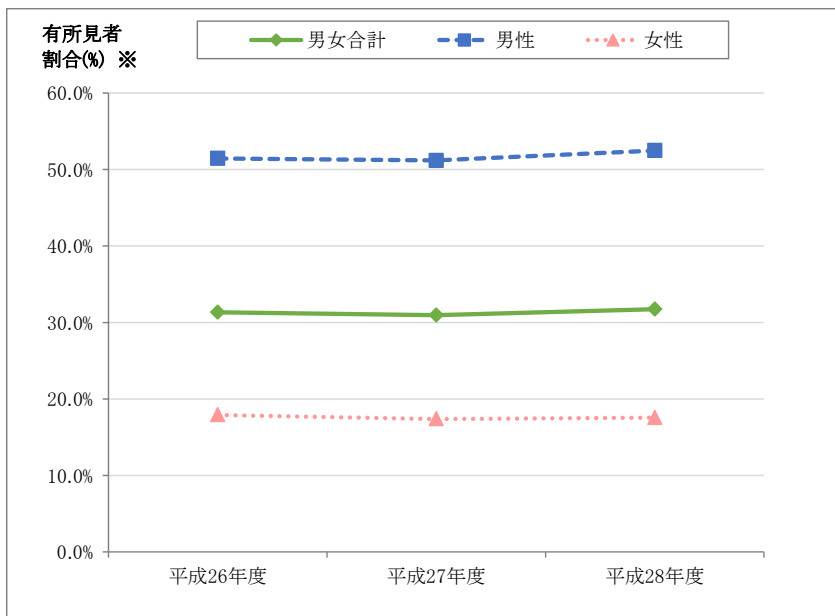
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

## 年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,637	4,117	3,915
	有所見者数(人) ※	1,139	1,274	1,242
	有所見者割合(%) ※	31.3%	30.9%	31.7%
男性	対象者数(人) ※	1,454	1,653	1,589
	有所見者数(人) ※	748	846	834
	有所見者割合(%) ※	51.4%	51.2%	52.5%
女性	対象者数(人) ※	2,183	2,464	2,326
	有所見者数(人) ※	391	428	408
	有所見者割合(%) ※	17.9%	17.4%	17.5%

## 年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

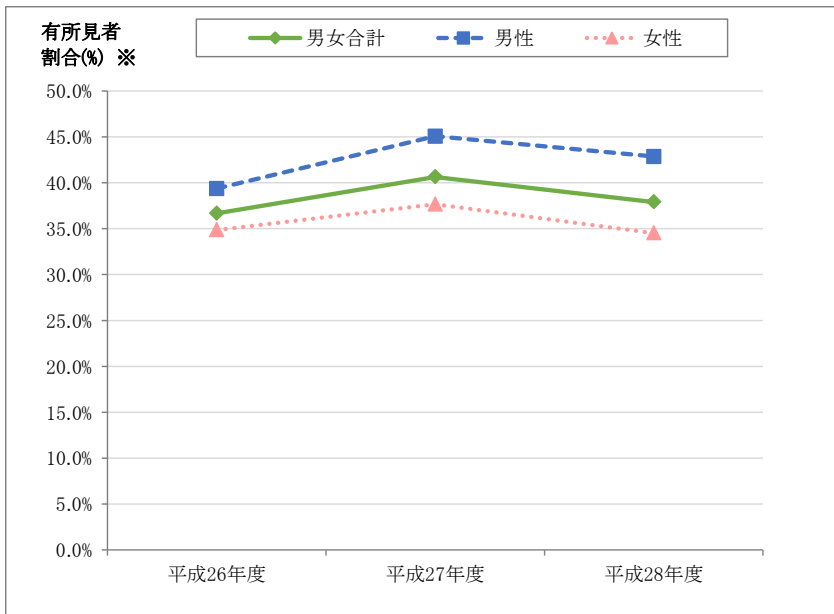
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲: 男性85cm以上、女性90cm以上

## 年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,638	4,117	3,915
	有所見者数(人) ※	1,334	1,673	1,484
	有所見者割合(%) ※	36.7%	40.6%	37.9%
男性	対象者数(人) ※	1,455	1,653	1,589
	有所見者数(人) ※	573	745	681
	有所見者割合(%) ※	39.4%	45.1%	42.9%
女性	対象者数(人) ※	2,183	2,464	2,326
	有所見者数(人) ※	761	928	803
	有所見者割合(%) ※	34.9%	37.7%	34.5%

## 年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

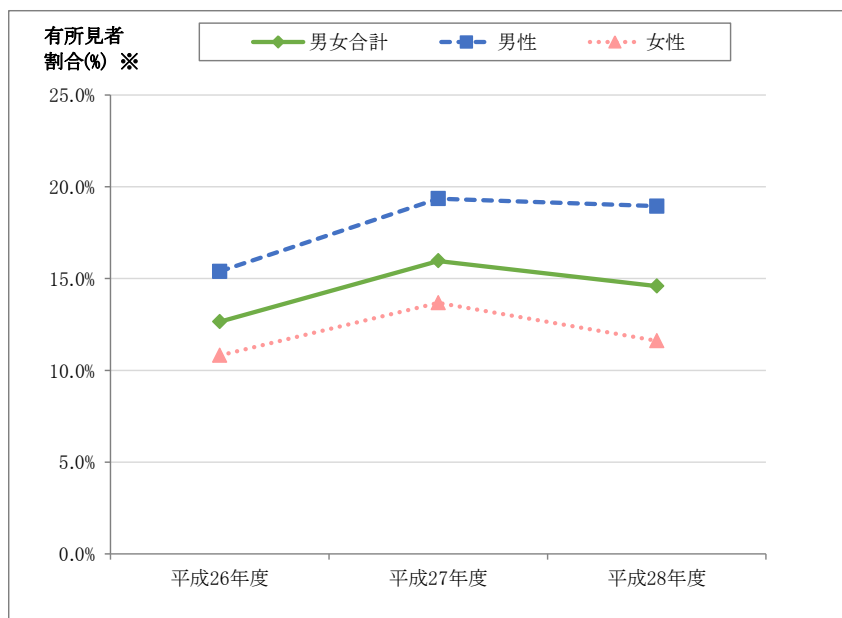
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

## 年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,638	4,117	3,915
	有所見者数(人) ※	460	657	571
	有所見者割合(%) ※	12.6%	16.0%	14.6%
男性	対象者数(人) ※	1,455	1,653	1,589
	有所見者数(人) ※	224	320	301
	有所見者割合(%) ※	15.4%	19.4%	18.9%
女性	対象者数(人) ※	2,183	2,464	2,326
	有所見者数(人) ※	236	337	270
	有所見者割合(%) ※	10.8%	13.7%	11.6%

## 年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

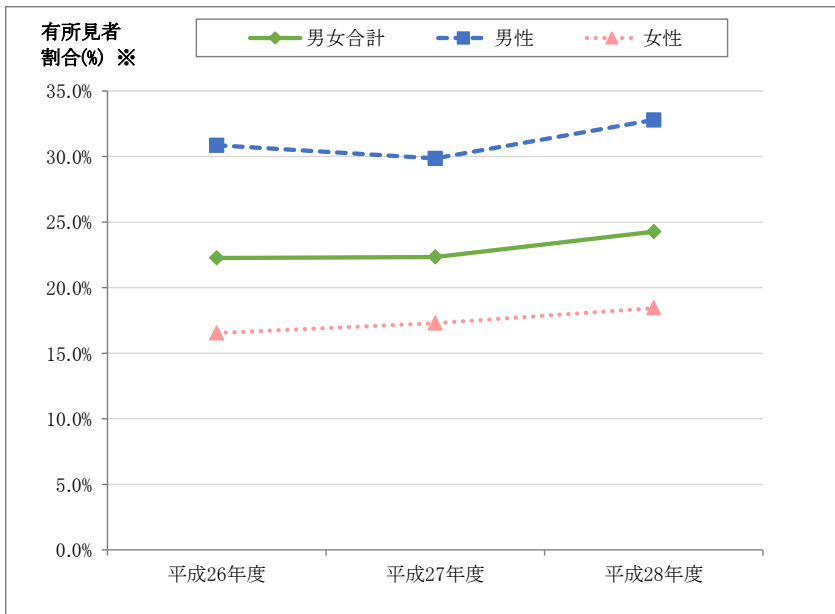
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

## 年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,638	4,115	3,915
	有所見者数(人) ※	810	919	950
	有所見者割合(%) ※	22.3%	22.3%	24.3%
男性	対象者数(人) ※	1,455	1,651	1,589
	有所見者数(人) ※	449	493	521
	有所見者割合(%) ※	30.9%	29.9%	32.8%
女性	対象者数(人) ※	2,183	2,464	2,326
	有所見者数(人) ※	361	426	429
	有所見者割合(%) ※	16.5%	17.3%	18.4%

## 年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

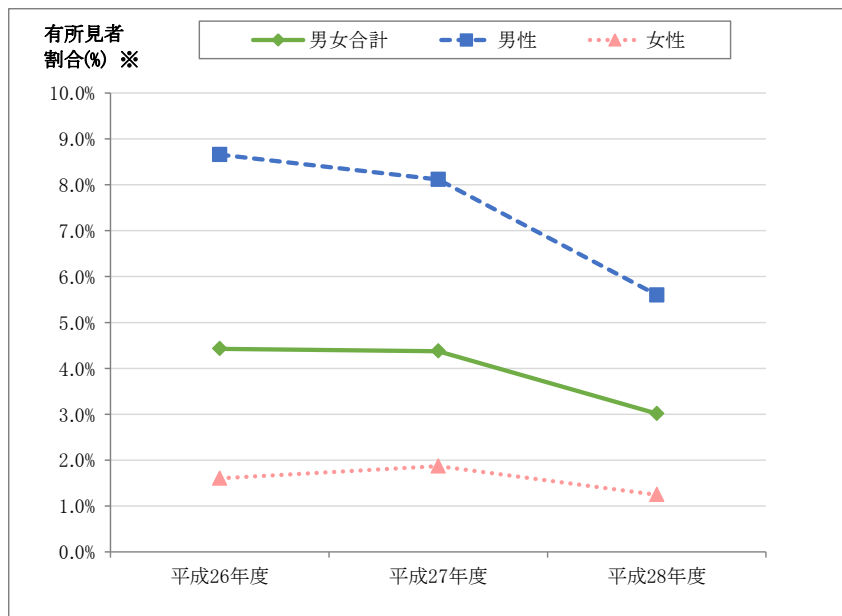
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

## 年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,638	4,115	3,915
	有所見者数(人) ※	161	180	118
	有所見者割合(%) ※	4.4%	4.4%	3.0%
男性	対象者数(人) ※	1,455	1,651	1,589
	有所見者数(人) ※	126	134	89
	有所見者割合(%) ※	8.7%	8.1%	5.6%
女性	対象者数(人) ※	2,183	2,464	2,326
	有所見者数(人) ※	35	46	29
	有所見者割合(%) ※	1.6%	1.9%	1.2%

## 年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値により有所見を判定する。

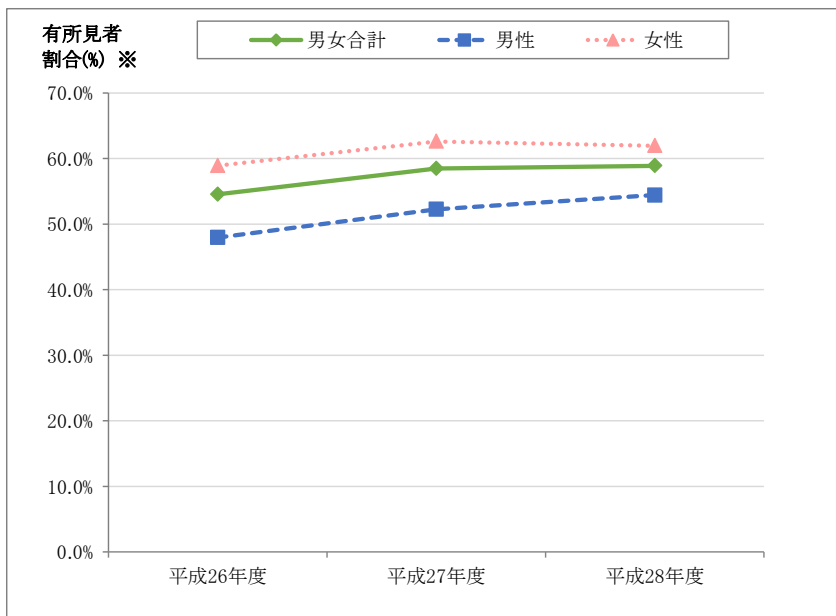
HDLコレステロール:39mg/dl以下



## 年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,638	4,115	3,915
	有所見者数(人) ※	1,984	2,406	2,306
	有所見者割合(%) ※	54.5%	58.5%	58.9%
男性	対象者数(人) ※	1,455	1,651	1,589
	有所見者数(人) ※	698	863	865
	有所見者割合(%) ※	48.0%	52.3%	54.4%
女性	対象者数(人) ※	2,183	2,464	2,326
	有所見者数(人) ※	1,286	1,543	1,441
	有所見者割合(%) ※	58.9%	62.6%	62.0%

## 年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

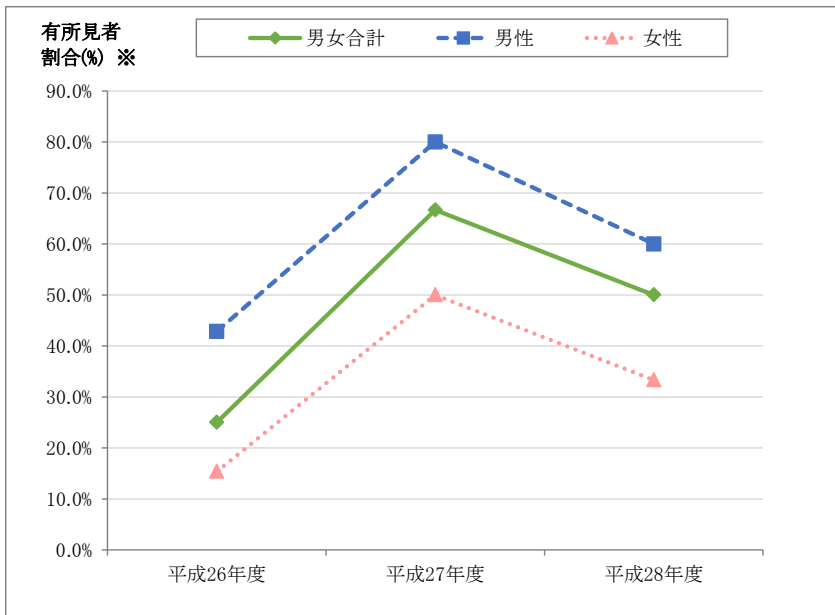
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

### 年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	20	9	8
	有所見者数(人) ※	5	6	4
	有所見者割合(%) ※	25.0%	66.7%	50.0%
男性	対象者数(人) ※	7	5	5
	有所見者数(人) ※	3	4	3
	有所見者割合(%) ※	42.9%	80.0%	60.0%
女性	対象者数(人) ※	13	4	3
	有所見者数(人) ※	2	2	1
	有所見者割合(%) ※	15.4%	50.0%	33.3%

### 年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

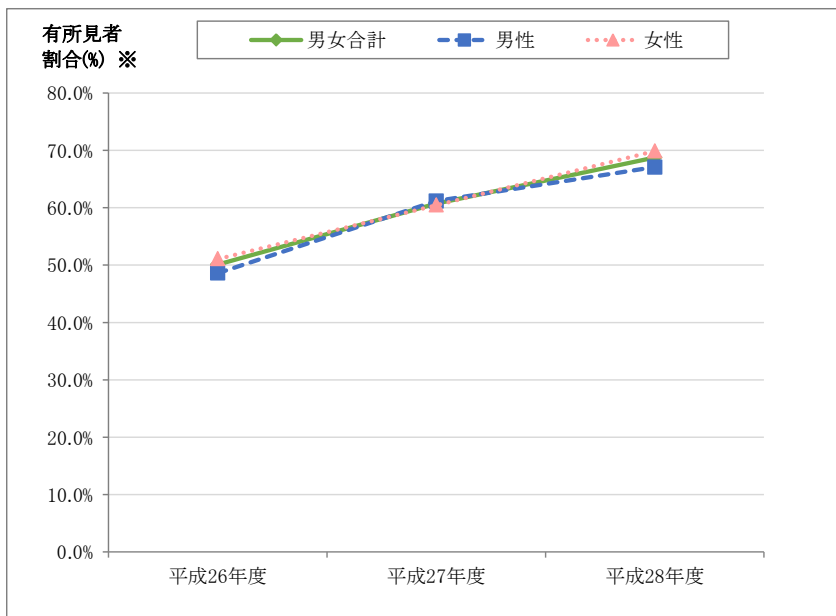
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl以上

## 年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,618	4,106	3,910
	有所見者数(人) ※	1,812	2,494	2,688
	有所見者割合(%) ※	50.1%	60.7%	68.7%
男性	対象者数(人) ※	1,448	1,646	1,586
	有所見者数(人) ※	704	1,007	1,064
	有所見者割合(%) ※	48.6%	61.2%	67.1%
女性	対象者数(人) ※	2,170	2,460	2,324
	有所見者数(人) ※	1,108	1,487	1,624
	有所見者割合(%) ※	51.1%	60.4%	69.9%

## 年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c:5.6%以上

## 2. 質問別回答状況

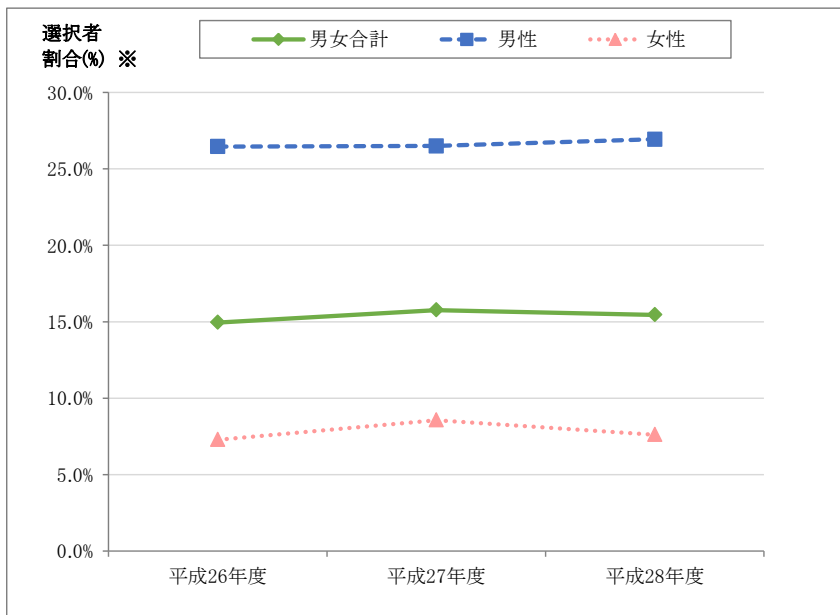
平成26年度から平成28年度までの特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣に関する集計結果を年度別に示す。

### ①喫煙習慣

#### 年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	3,638	4,117	3,915
	選択者数(人) ※	544	649	605
	選択者割合(%) ※	15.0%	15.8%	15.5%
男性	質問回答者数(人) ※	1,455	1,653	1,589
	選択者数(人) ※	385	438	428
	選択者割合(%) ※	26.5%	26.5%	26.9%
女性	質問回答者数(人) ※	2,183	2,464	2,326
	選択者数(人) ※	159	211	177
	選択者割合(%) ※	7.3%	8.6%	7.6%

#### 年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

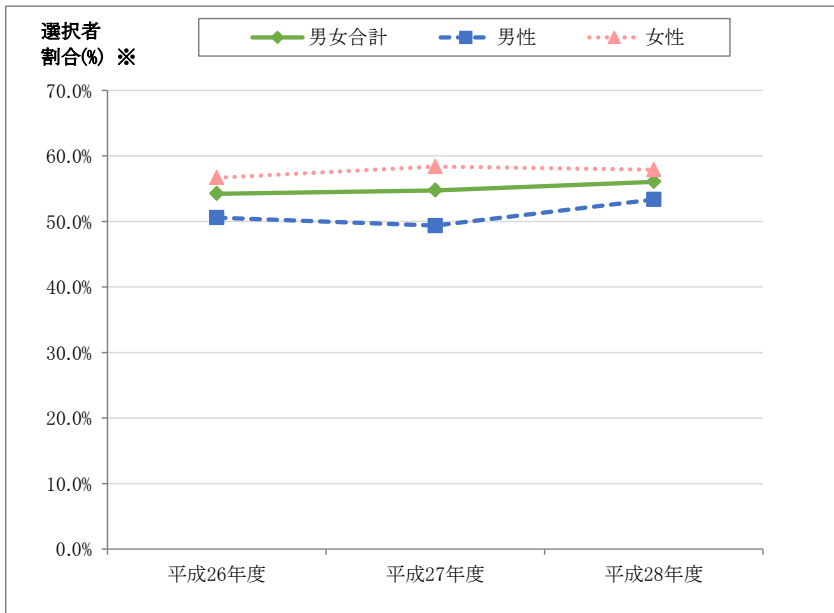
喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

## ②運動習慣

### 年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	3,638	4,115	3,914
	選択者数(人) ※	1,973	2,253	2,194
	選択者割合(%) ※	54.2%	54.8%	56.1%
男性	質問回答者数(人) ※	1,455	1,653	1,589
	選択者数(人) ※	736	816	848
	選択者割合(%) ※	50.6%	49.4%	53.4%
女性	質問回答者数(人) ※	2,183	2,462	2,325
	選択者数(人) ※	1,237	1,437	1,346
	選択者割合(%) ※	56.7%	58.4%	57.9%

### 年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

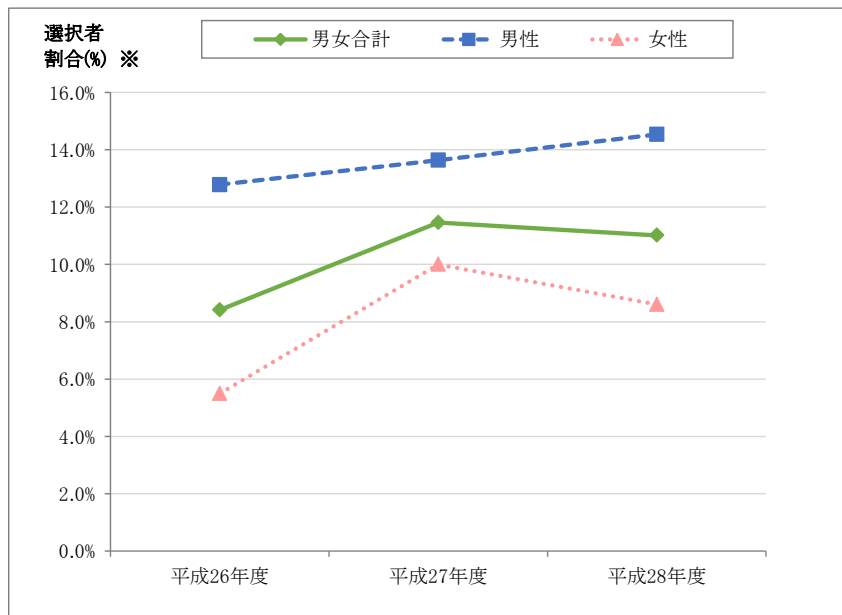
※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

## 年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	3,638	4,111	3,914
	選択者数(人) ※	306	471	431
	選択者割合(%) ※	8.4%	11.5%	11.0%
男性	質問回答者数(人) ※	1,455	1,650	1,589
	選択者数(人) ※	186	225	231
	選択者割合(%) ※	12.8%	13.6%	14.5%
女性	質問回答者数(人) ※	2,183	2,461	2,325
	選択者数(人) ※	120	246	200
	選択者割合(%) ※	5.5%	10.0%	8.6%

## 年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。

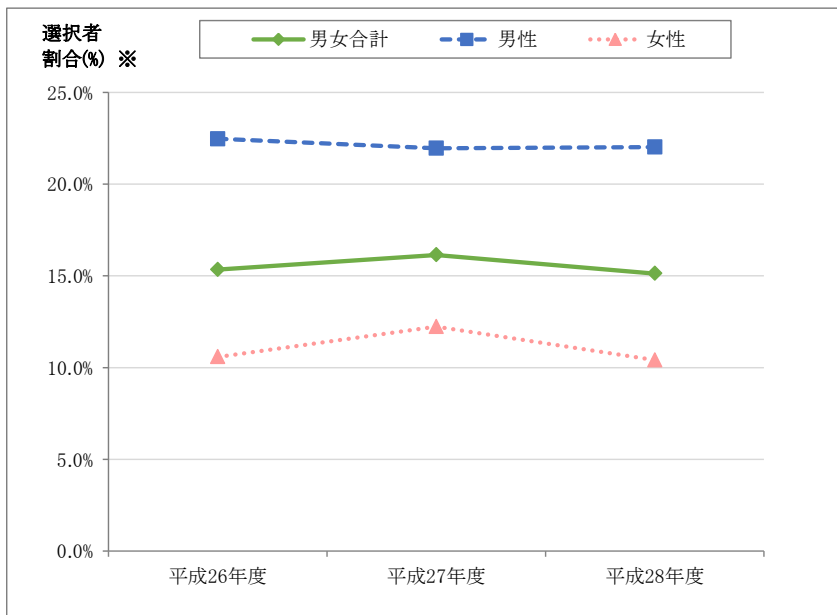
1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

### ③食習慣

#### 年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	3,638	4,114	3,914
	選択者数(人) ※	558	664	592
	選択者割合(%) ※	15.3%	16.1%	15.1%
男性	質問回答者数(人) ※	1,455	1,653	1,589
	選択者数(人) ※	327	363	350
	選択者割合(%) ※	22.5%	22.0%	22.0%
女性	質問回答者数(人) ※	2,183	2,461	2,325
	選択者数(人) ※	231	301	242
	選択者割合(%) ※	10.6%	12.2%	10.4%

#### 年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

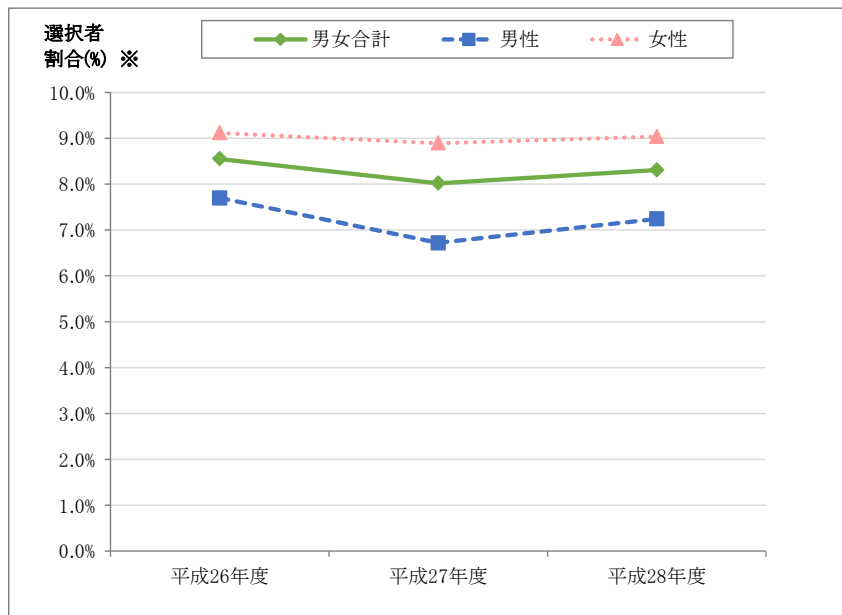
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

## 年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	3,638	4,115	3,912
	選択者数(人) ※	311	330	325
	選択者割合(%) ※	8.5%	8.0%	8.3%
男性	質問回答者数(人) ※	1,455	1,652	1,588
	選択者数(人) ※	112	111	115
	選択者割合(%) ※	7.7%	6.7%	7.2%
女性	質問回答者数(人) ※	2,183	2,463	2,324
	選択者数(人) ※	199	219	210
	選択者割合(%) ※	9.1%	8.9%	9.0%

## 年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。

週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

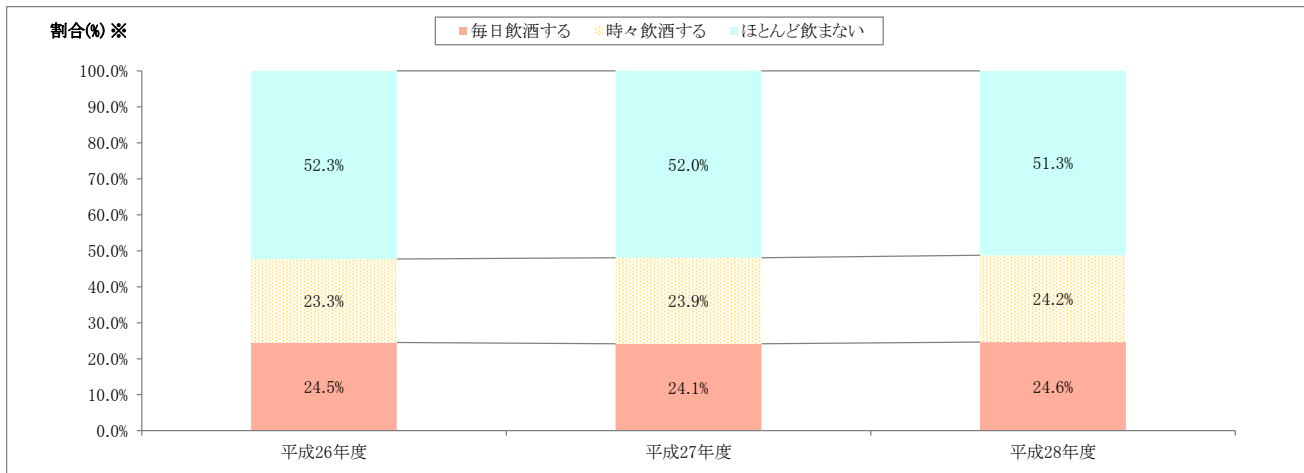


#### ④ 飲酒習慣

##### 年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	3,631	888	24.5%	845	23.3%	1,898	52.3%
平成27年度	4,113	992	24.1%	984	23.9%	2,137	52.0%
平成28年度	3,912	962	24.6%	945	24.2%	2,005	51.3%

##### 年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

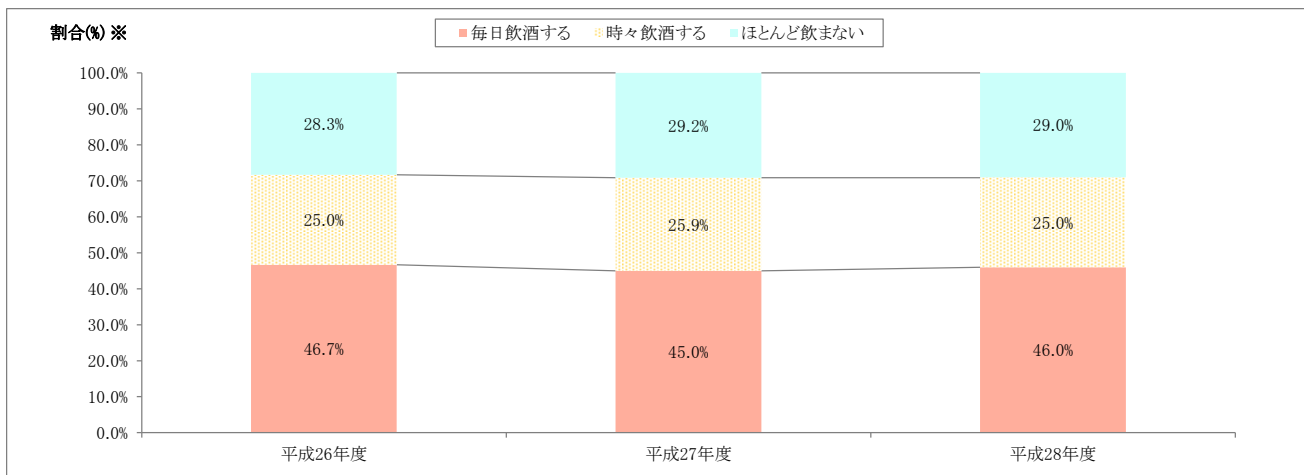
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,455	679	46.7%	364	25.0%	412	28.3%
平成27年度	1,650	742	45.0%	427	25.9%	481	29.2%
平成28年度	1,588	730	46.0%	397	25.0%	461	29.0%

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

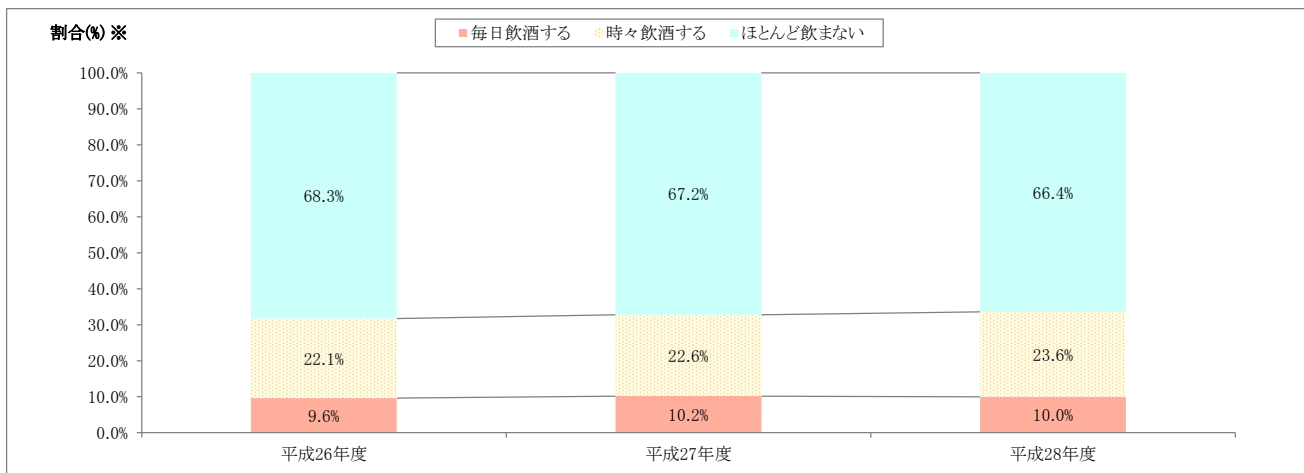
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	2,176	209	9.6%	481	22.1%	1,486	68.3%
平成27年度	2,463	250	10.2%	557	22.6%	1,656	67.2%
平成28年度	2,324	232	10.0%	548	23.6%	1,544	66.4%

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

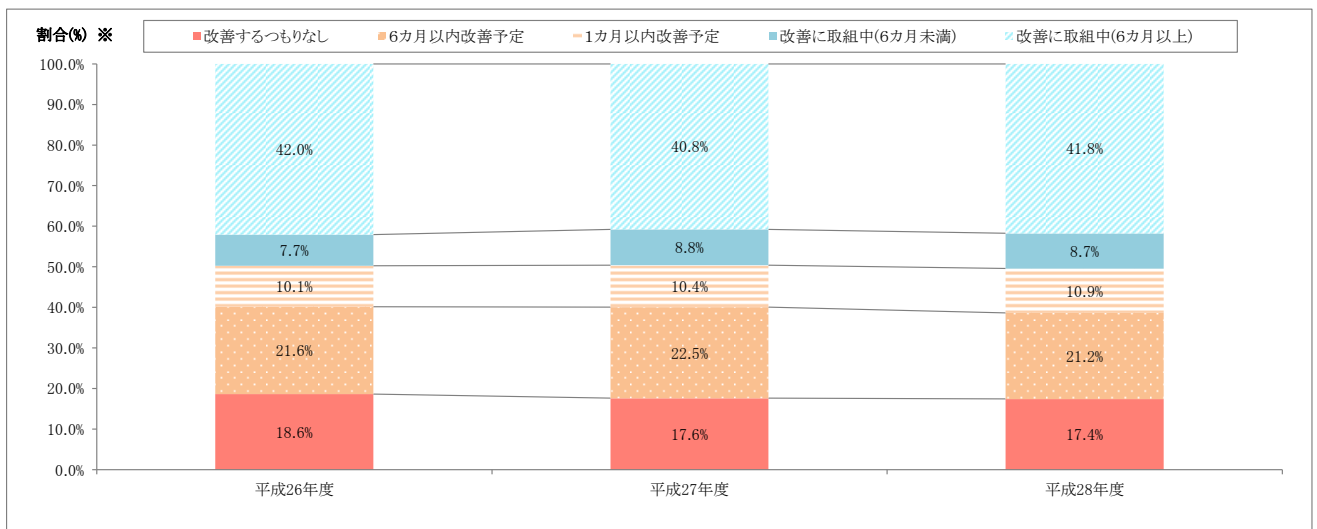
## ⑤生活習慣

### 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	3,622	674	18.6%	781	21.6%	366	10.1%
平成27年度	4,106	723	17.6%	922	22.5%	425	10.4%
平成28年度	3,910	681	17.4%	830	21.2%	427	10.9%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	3,622	278	7.7%	1,523	42.0%
平成27年度	4,106	361	8.8%	1,675	40.8%
平成28年度	3,910	339	8.7%	1,633	41.8%

### 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

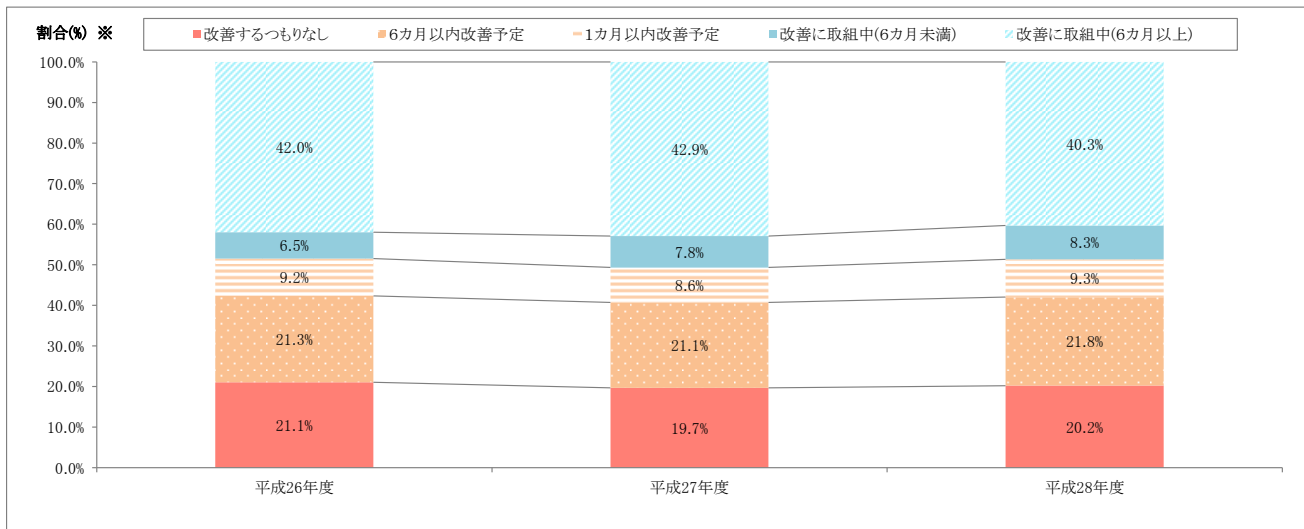
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,453	306	21.1%	309	21.3%	134	9.2%
平成27年度	1,648	324	19.7%	347	21.1%	142	8.6%
平成28年度	1,587	321	20.2%	346	21.8%	148	9.3%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,453	94	6.5%	610	42.0%
平成27年度	1,648	128	7.8%	707	42.9%
平成28年度	1,587	132	8.3%	640	40.3%

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

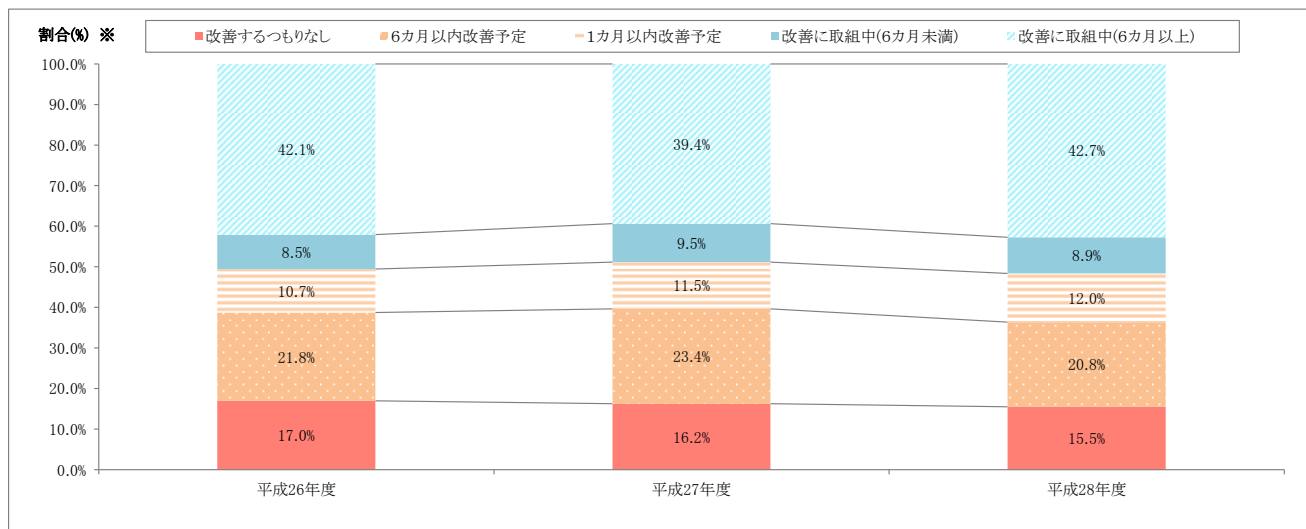
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	2,169	368	17.0%	472	21.8%	232	10.7%
平成27年度	2,458	399	16.2%	575	23.4%	283	11.5%
平成28年度	2,323	360	15.5%	484	20.8%	279	12.0%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	2,169	184	8.5%	913	42.1%
平成27年度	2,458	233	9.5%	968	39.4%
平成28年度	2,323	207	8.9%	993	42.7%

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

# 特定健康診査未受診者理由分析

## 1. 回答状況

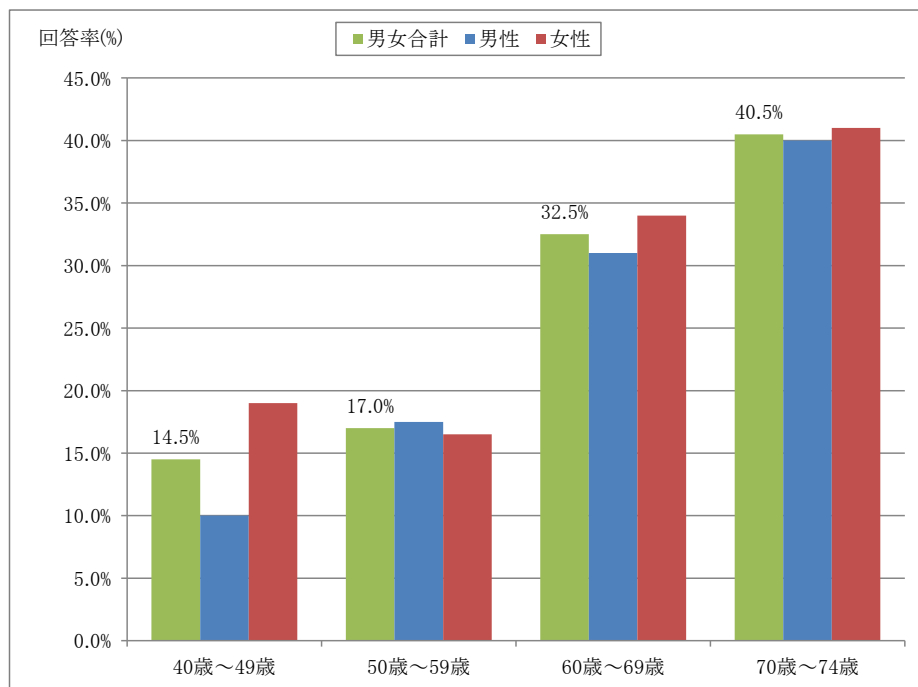
平成28年度に実施した、平成28年度の特定健康診査(集団健診・個別健診)未受診者を対象としたアンケートについて、回答状況を示す。未受診者のうち、ランダムに抽出した40歳から74歳の男女各20名、計1,400名を対象者とし、アンケートを実施した。

### 男女・年齢別 アンケート回答率

		40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～74歳	合計
男女合計	対象者数(人)	400	400	400	200	1,400
	回答者数(人)	58	68	130	81	337
	回答率(%)	14.5%	17.0%	32.5%	40.5%	24.1%
男性	対象者数(人)	200	200	200	100	700
	回答者数(人)	20	35	62	40	157
	回答率(%)	10.0%	17.5%	31.0%	40.0%	22.4%
女性	対象者数(人)	200	200	200	100	700
	回答者数(人)	38	33	68	41	180
	回答率(%)	19.0%	16.5%	34.0%	41.0%	25.7%

※年齢・性別未回答者数は除く。

### 年齢、男女別 アンケート回答率



※年齢・性別未回答者数は除く。

## 2. 質問別回答状況

平成28年度に実施した未受診者アンケートにおける質問回答集計結果を年齢別に示す。

### 問1. 特定健康診査を受診しなかった理由

#### 年齢別 特定健康診査未受診理由の回答状況

		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳	
		選択者数(人)※	割合(%)※	選択者数(人)※	割合(%)※	選択者数(人)※	割合(%)※
回答項目	①個人的に健診を受けた	10	17.2%	12	17.6%	38	28.8%
	②勤め先で健診を受けた	11	19.0%	7	10.3%	13	9.8%
	③病気にて通院治療中	5	8.6%	22	32.4%	44	33.3%
	④入院、妊娠していた	1	1.7%	2	2.9%	3	2.3%
	⑤時間がなかった	23	39.7%	15	22.1%	21	15.9%
	⑥その他	8	13.8%	9	13.2%	11	8.3%
	未回答	0	0.0%	1	1.5%	2	1.5%

		70歳～74歳		合計	
		選択者数(人)※	割合(%)※	選択者数(人)※	割合(%)※
回答項目	①個人的に健診を受けた	32	39.0%	92	26.8%
	②勤め先で健診を受けた	4	4.9%	35	10.2%
	③病気にて通院治療中	34	41.5%	106	30.9%
	④入院、妊娠していた	2	2.4%	9	2.6%
	⑤時間がなかった	2	2.4%	62	18.1%
	⑥その他	5	6.1%	33	9.6%
	未回答	3	3.7%	6	1.7%

#### ⑥その他の主な理由

- ・介護があるため
- ・健康なので特定健康診査は必要ないから
- ・特定健康診査を受けるのが面倒なため
- ・忘れていた・健診を知らなかったため

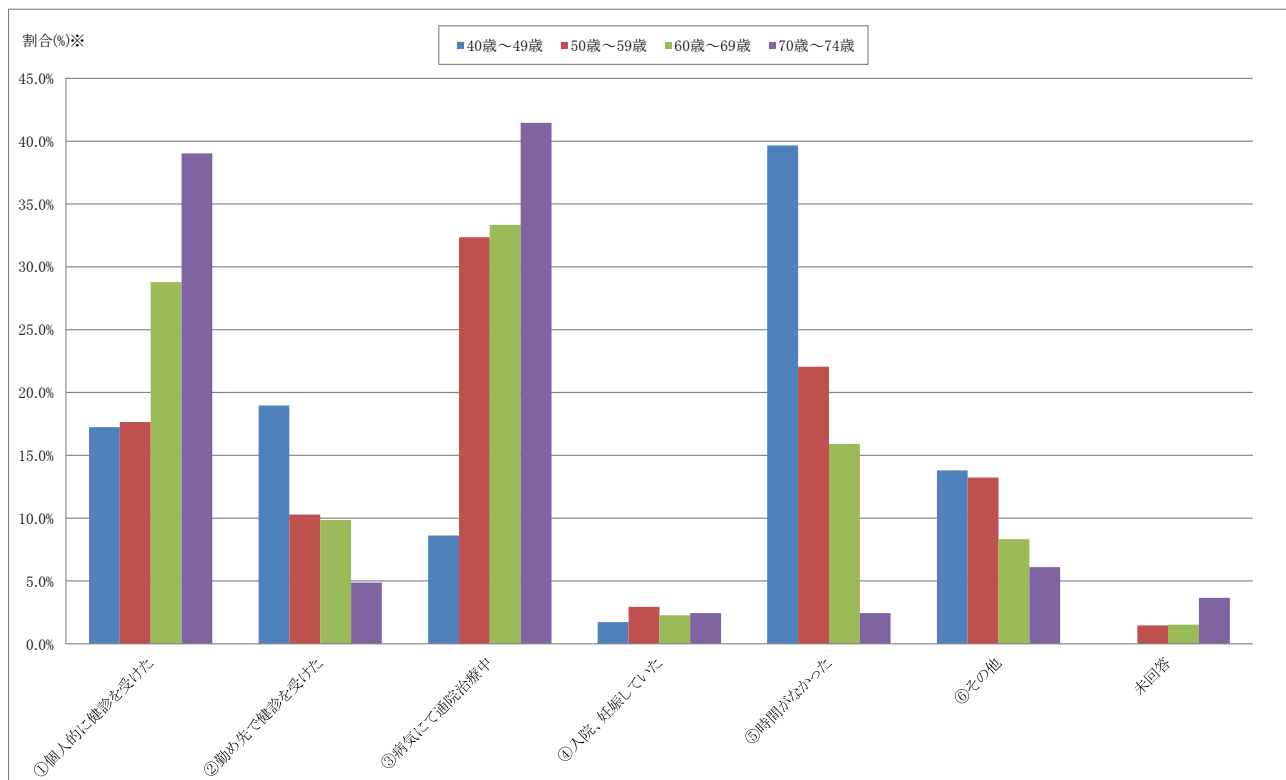
※年齢・性別未回答者数は除く。

※選択者数 …質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合 …質問に回答した人のうち、各項目を選択した人の割合。(年齢ごとに算出)



## 年齢別 特定健康診査未受診理由の回答状況



※年齢・性別未回答者数は除く。

※選択者割合 …質問に回答した人のうち、各項目を選択した人の割合。(年齢ごとに算出)

問2. 特定健康診査の自己負担額が無料であることを知っているか

自己負担額無料についての回答状況

		合計 (40歳～74歳)	
		選択者数(人)※	割合(%)※
回答項目	①知っていた	273	79.6%
	②知らなかった	64	18.7%
	未回答	6	1.7%

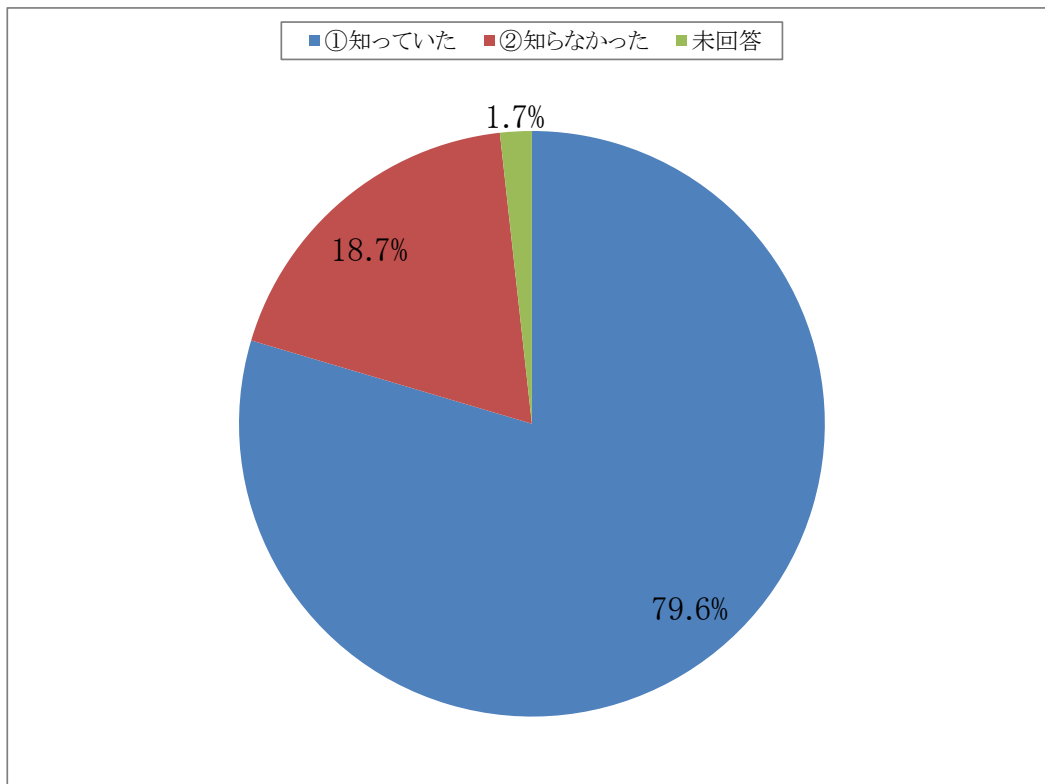
※年齢・性別未回答者数は除く。

※選択者数 ……質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合 ……質問に回答した人のうち、各項目を選択した人の割合。(年齢ごとに算出)

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、割合合計は必ずしも100にならない。

自己負担額無料についての回答状況



※年齢・性別未回答者数は除く。

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、割合合計は必ずしも100にならない。

### 問3. 追加健診を実施していることを知っているか

#### 追加健診実施についての回答状況

		合計 (40歳～74歳)	
		選択者数(人)※	割合(%)※
回答項目	①知っていた	206	60.1%
	②知らなかった	132	38.5%
	未回答	5	1.5%

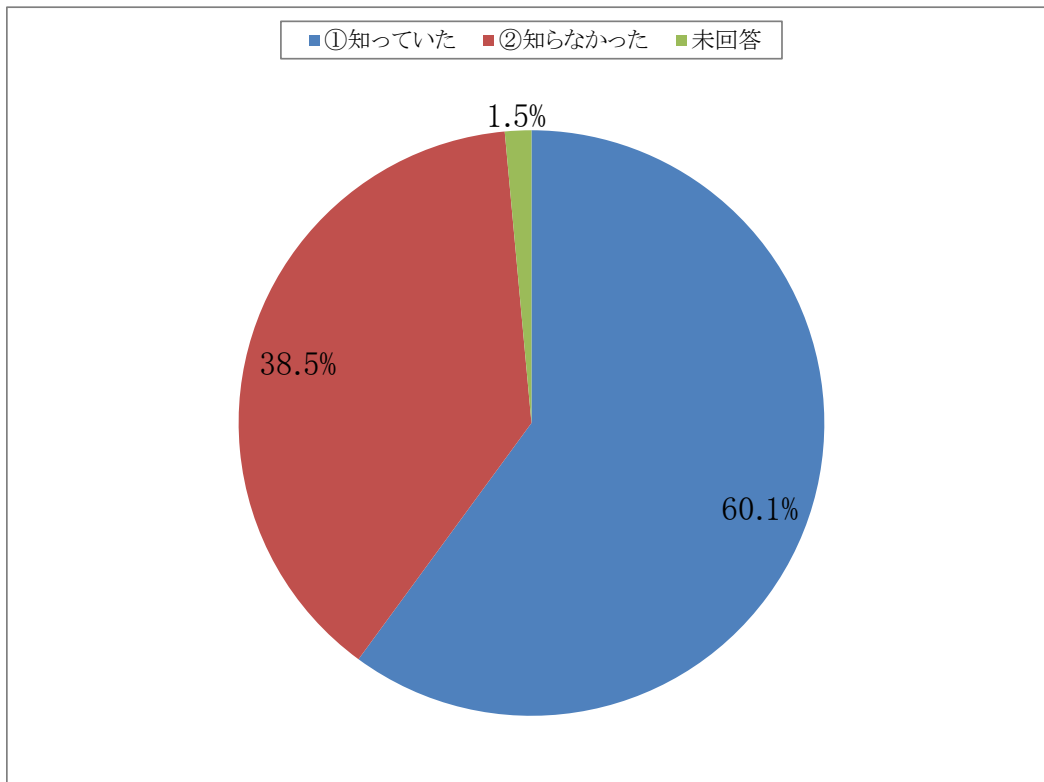
※年齢・性別未回答者数は除く。

※選択者数 … 質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合 … 質問に回答した人のうち、各項目を選択した人の割合。(年齢ごとに算出)

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、割合合計は必ずしも100にならない。

#### 追加健診実施についての回答状況



※年齢・性別未回答者数は除く。

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、割合合計は必ずしも100にならない。

#### 問4. 特定健康診査について見直して欲しいところ

#### 年齢別 特定健康診査見直しについての回答状況

		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳	
		選択者数(人)※	割合(%)※	選択者数(人)※	割合(%)※	選択者数(人)※	割合(%)※
回答項目	①かかりつけの病院での健診	33	42.3%	34	43.0%	85	54.8%
	②休日、夜間の健診を増やす	25	32.1%	23	29.1%	20	12.9%
	③受付時間を早くする	2	2.6%	5	6.3%	4	2.6%
	④その他	10	12.8%	7	8.9%	24	15.5%
	未回答	8	10.3%	10	12.7%	22	14.2%

		70歳～74歳		合計	
		選択者数(人)※	割合(%)※	選択者数(人)※	割合(%)※
回答項目	①かかりつけの病院での健診	54	62.8%	92	26.8%
	②休日、夜間の健診を増やす	3	3.5%	35	10.2%
	③受付時間を早くする	1	1.2%	106	30.9%
	④その他	14	16.3%	9	2.6%
	未回答	14	16.3%	62	18.1%

#### ⑥その他の主な回答

- ・待ち時間が長い
- ・特定健康診査の会場について
- ・特定健康診査の日程について
- ・特になし

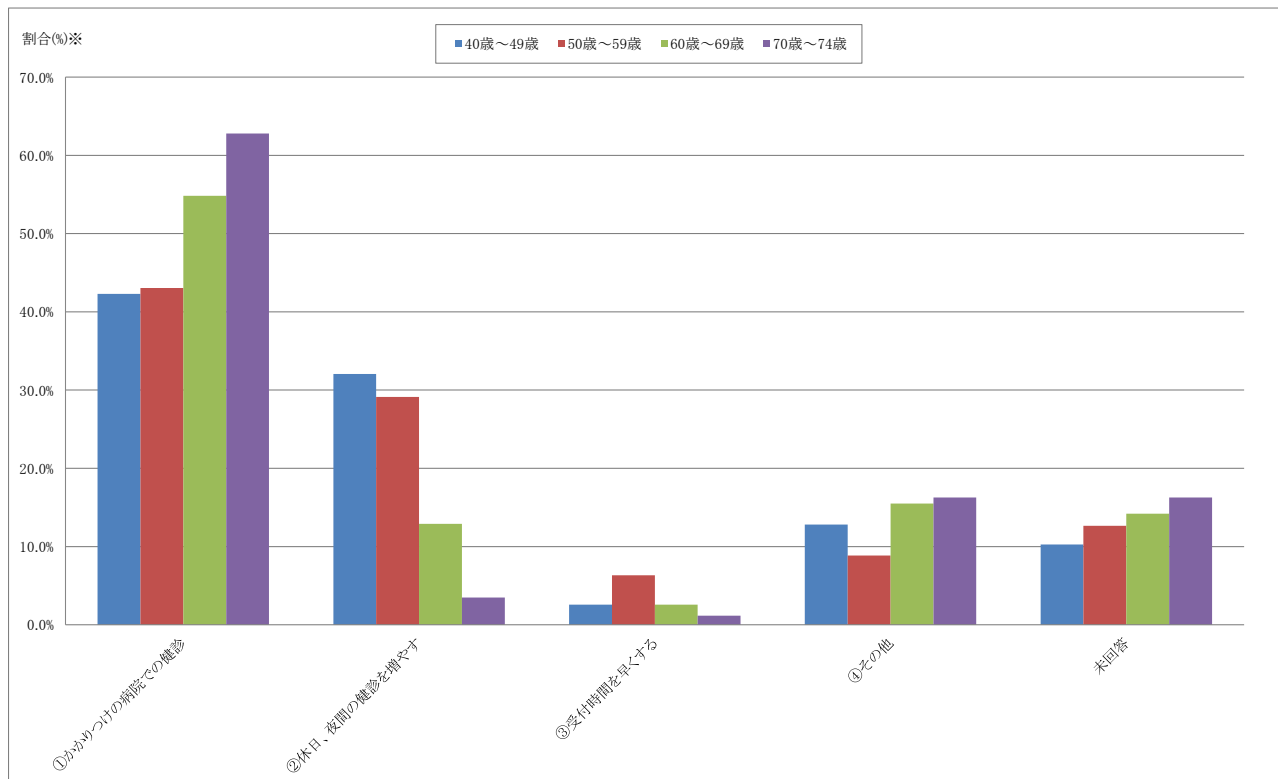
※年齢・性別未回答者数は除く。

※選択者数 …質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合 …質問に回答した人のうち、各項目を選択した人の割合。(年齢ごとに算出)

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、割合合計は必ずしも100にならない。

## 年齢別 特定健康診査見直しについての回答状況



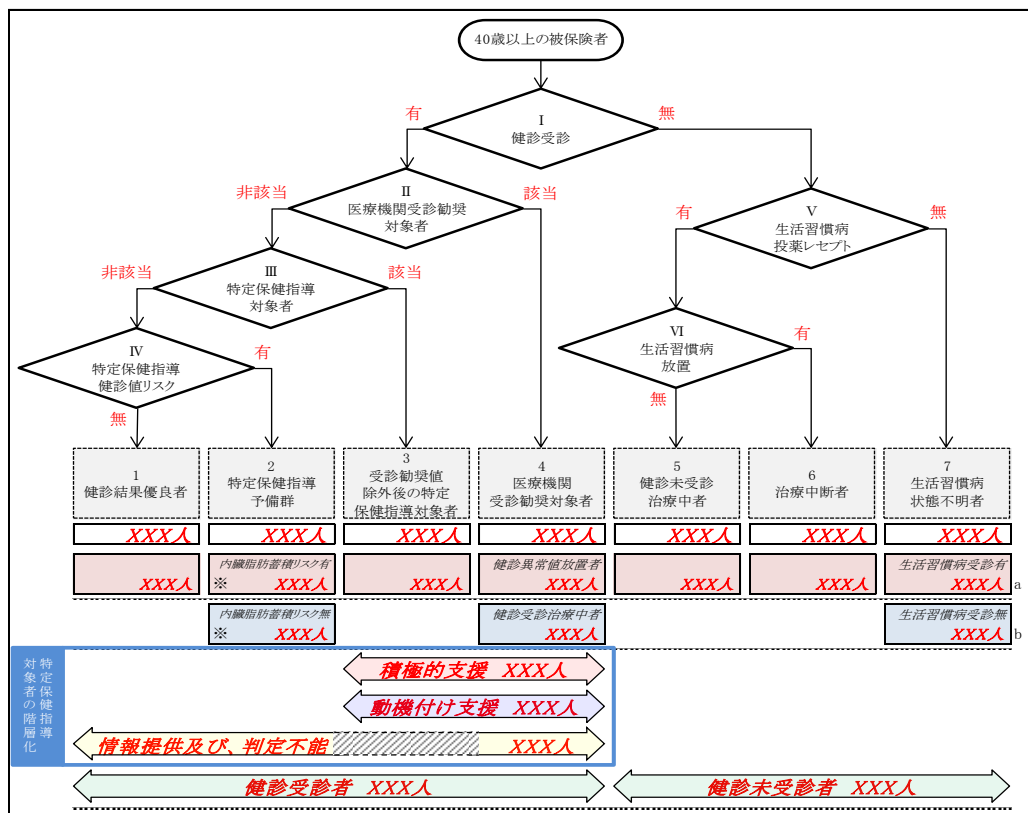
※年齢・性別未回答者数は除く。

※選択者割合 …質問に回答した人のうち、各項目を選択した人の割合。(年齢ごとに算出)

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、割合合計は必ずしも100にならない。

## 1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

### 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



#### 【フロー説明】

- I 健診受診 …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク…厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

#### 【グループ別説明】

- 健診受診あり
- 1. 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
  - 2. 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
    - 内臓脂肪蓄積リスク有 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
    - 内臓脂肪蓄積リスク無 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
  - 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者…受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
  - 4. 医療機関受診勧奨対象者
    - 健診異常値放置者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
    - 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
- 5. 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
  - 6. 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
  - 7. 生活習慣病投薬レセプト…生活習慣病の投薬治療をしていない者。
    - 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
    - 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

## 2. 用語解説集

用語		説明
ア 行	eGFR	eGFR(estimated Glomerular Filtration Rate)とは推算糸球体ろ過量(値)の略語で、血液をとって調べるクレアチニン(Cr)値と、性別・年齢の3つから計算して出すGFRのこと。 ※GFRは、糸球体ろ過量と言い、腎機能を示す指標。
	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3か月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かさずエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3か月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c (ヘモグロビンエーワンシー)	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2か月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

### 3. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻疹後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄



コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		

塩竈市国民健康保険  
第2期データヘルス計画・  
第3期特定健康診査等実施計画

平成30年4月  
塩竈市健康福祉部保険年金課

〒985-8501  
塩竈市旭町1番1号  
電 話 022-355-6497  
F A X 022-367-3124